



# 朝陽



*No. 69*  
*2020 Nov*

東京都立新宿高等学校〔府立六中〕朝陽同窓会

# 新宿 丸港水産

北海道各地の新鮮魚貝  
産地直送厳選素材を集めました

御予約の際に『新宿高校OBです!』とお伝え頂ければお得なサービスをご用意させていただきます!



新鮮食材  
いっぱい



TEL.03-5367-2377  
東京都新宿区新宿3-12-12 吉田ビル1・2F 年中無休

ご宴会承ります!!  
人数・ご予算ご相談ください!

北海道直送の天然帆立の浜焼きや根室産花咲ガニ・厚岸産の生牡蠣など厳選素材を漁師街の海の家の様な活気あふれる店内で思う存分ご堪能下さい。



最高級食パン専門店  
東京ノアレザン

安心・安全な素材にこだわり、しっとり  
耳まで柔らかくスイーツのような最高級  
食パンをお楽しみください



お土産としても  
どうぞ...



【西瑞江店】 03-5636-4220 東京都江戸川区西瑞江3丁目7-11  
◆◆◆予約サービス開始しました◆◆◆

【船堀販売所】 東京都江戸川区船堀1丁目6-21

今春OPEN予定!

【人形町店】 東京都中央区日本橋人形町2丁目3

自然薯料理  
さんやん  
山薬

## 清流庵

万能の山の薬。滋養あふれる  
自然薯を様々な料理でどうぞ

ランチも  
ございます



山芋の中で唯一の日本原産種である希少な自然薯。滋養強壮・美肌効果などに役立つ「山の薬」と呼ばれる自然薯の専門店です。

【自然薯麦とろと田舎蕎麦 山薬清流庵 新橋汐留店】  
03-5537-5308 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンターB1

【自然薯麦とろ御膳 山薬清流庵 イオンモール幕張新都心店】  
043-213-5300 千葉県千葉市美浜区豊砂1-1  
イオンモール幕張新都心グランドモール2F

【自然薯麦とろおぼんざい 山薬清流庵 新百合ヶ丘エルミロード店】  
044-965-3163 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-4-1  
新百合ヶ丘エルミロード5F

【自然薯麦とろおぼんざい 山薬清流庵 ココリア多摩センター店】  
042-313-7587 東京都多摩市落合1-46-1 ココリア多摩センター6F

鳥 からあげ  
とり多津

元祖

東京醤油からあげ

純粋はちみつと淡口醤油に数種類のスパイスを  
絶妙にブレンド。豊かな風味をお楽しみあれ。

《金賞》トリプル受賞

とり多津はさらに(紅生姜からあげ)と(チキン南蛮)もトリプル受賞しています。



株式会社エフアンドビー・プロジェクト  
東京都大田区東蒲田2-30-17(サンユー東蒲田ビル2階)

代表取締役社長 織岡 陽一郎(24回卒)

# 朝陽六九号 目次

会長ご挨拶……………17  
田中俊郎……………2

周年記念特集記事

卒業二十周年……………52  
二回生……………3

卒業三十周年……………42  
二回生……………9

卒業四十周年……………32  
二回生……………15

卒業六十周年……………12  
二回生……………23

## 会員随筆

「プライムミニスターナカソネ」  
と言うバラが新宿高校にあります。

夜が冷たい新宿の男―新宿徘徊……………27  
梶村正彦……………25

府立六中園芸場その後……………21  
木谷東男……………28

支部便り

朝陽USA支部便り……………44  
寺尾裕子……………32

北海道朝陽会……………34  
小野瑞成……………33

宮城朝陽会支部便り……………38  
小田島肇……………33

群馬朝陽会支部便り……………25  
浅原寛人……………34

第十七回多摩朝陽会総会……………33  
大内 哲……………35

東海朝陽会便り……………15  
古川秀昭……………35

関西支部便り……………44  
西島健太郎……………36

九州朝陽会総会……………25  
小山春美……………37

サークル活動・同期会便り・ニュース

「六新会」(二回生)

米寿祝い開幕……………2  
二回生幹事……………38

六回生、六五周年に集う……………6  
山岸哲男……………38

八回生同期会(新八会)の懇親会……………6  
山岸哲男……………38

十回生「新樹会」……………8  
小林暁生……………39

傘寿の新樹会女子会……………10  
藤岡庄衛……………40

第四十回「ミニいちご会」開催……………10  
坂梨成子……………40

卒業四五周年同期会……………26  
金杉一朗……………42

十七回 同期会……………17  
亀岡康雄……………43

二一回生卒業五十周年同期会……………21  
花沢紀子……………44

三一回生卒業四十周年同期会……………31  
荒木正直……………45

朝陽硬式テニス部会……………25  
吉安俊介……………46

第四回総会懇親会……………27  
東京校歌祭……………47

第二七回東京校歌祭……………27  
東京校歌祭……………47

母校便り

学校長ご挨拶……………加藤隆校長……………50

母校便り……………内海秀一副校長……………50

創立百周年記念事業特集

朝陽合唱団であなたとハーモニ……………44  
朝陽合唱団指揮者 小峰和則……………54

管弦楽でも引き継がれる大家族主義……………44  
管弦楽部顧問 毛利哲……………54

伝統と新しい世代……………44  
管弦楽部顧問 毛利哲……………54

青春に刻まれたラグビー……………15  
竹内光介……………55

柔道部OB・OG会統合へ……………15  
椎名孝雄……………56

我がクラブ、体操部の想い出……………31  
吉澤剛士……………56

新研時代は青春の始まりだった……………12  
仲倉重郎……………57

## 事務局便り

平成三十一年度総会報告……………15  
西出紀久……………60

母校支援活動……………15  
西出紀久……………60

寄贈図書一覧……………15  
西出紀久……………60

二〇一九年度総会講演……………21  
小池洋次……………62

会費納入状況と納入のお願い……………21  
小池洋次……………62

二〇二〇年度総会案内……………21  
事務局……………63

議案1 規約改正……………21  
事務局……………65

議案2 役員改選案……………21  
事務局……………66

議案3 事業報告と決算……………21  
事務局……………67

議案4 事業計画と予算……………21  
事務局……………69

財団朝陽会財務諸表……………21  
事務局……………72

戸山交流戦報告……………21  
事務局……………74

追悼文・訃報

追悼…二木順先生……………11  
高山(尾鍋)真知子……………79

訃報……………11  
高山(尾鍋)真知子……………79

告知記事

0会案内……………11  
事務局……………80

六声会合唱団募集……………11  
事務局……………80

広告目次

エフアンドビー・プロジェクト……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

名刺広告……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

京王プラザホテル……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

竹内書籍広告……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

焼肉酒家李苑……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

カフェ・ジェルボー東京……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

株式会社ゼンショーHD……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

表……………22  
クルーズ・クルーズ新宿……………22

会長ご挨拶

## 次の百年に向けて

—「チーム新宿」で危機を乗り越えよう—  
朝陽同窓会会長 田中俊郎（一七回）



人知を超えた自然の猛威にさらされた一年でした。普段当たり前ですが、当たり前前できない辛い経験でした。昨秋には、第一五号とその後の台風で日本各地が被災しました。年が明けると、新型コロナウイルスの世界的パンデミックで、多くの感染者と死者も発生し、都市封鎖や外出自粛を余儀なくされました。

母校もこのような災いに巻き込まれ、館山寮は男子棟屋根を吹き飛ばされ、卒業式には保護者も参列できず、入学式は延期され、休校が五月末まで続きました。同窓会でも『朝陽』の発送が遅れ、五月末の総会も延期になりました。

新宿高校は二〇二二年に創立百周年を迎えます。この間、様々な困難と幾多の試練がありました。今回の危機も「チーム新宿」で乗り越えましょう。新たに館山寮再建募金（目標五〇〇万円）をお願いしたところ、既に約二二〇〇万円の浄財をいただきました。

た。誠に有難うございます。男子寮再建には保険金（約八六〇〇万円）もありましたが、維持補修費用や今後予想される女子寮改築に備えるためにも募金は継続させていただきます。

他方、二〇一五年から始めた百周年記念事業募金（目標一億円）も、総額約六七四〇万円、個人・有志・卒業年等延べ二九〇〇件にのびりました。記念事業は、「朝陽奨学金新設」、「館山寮改修」、「集いの場確保」の三本柱から成っています。今後の募金の重点を給付型朝陽奨学金に移し、百周年後も継続支給できるように基金として確保する。さらに、百年誌編集、記念名簿発行、記念祝賀会、記念音楽会、芳名録銘板設置などにも、使途を拡げさせていただきます。

さらに、同窓会規約を改正し、一般会計の収支改善を目指すため、誠に申し訳ありませんが「寿会員」制度を廃止するとともに、副会長の定員数を増やすなど、若い世代の同窓会への参加と協力も得られるようにしたいと考えています。

次の百年に向けて新宿高校をさらに発展させるため、同窓会会員皆様のご理解、一層のご協力とご支援をお願いします。次第であります。

（二〇二〇年五月）

## 2020年「第26回0の会展」のご案内

故 吉江新二先生を囲み、絵画部OBらを中心に結成された0の会は、四半世紀の歴史を重ね、メンバー一同、ますます意欲的に制作に取り組んでいます。

今年の展覧会をご案内します。どうぞ高覧くださいませ。

0の会会長 澤登丈夫（14回）

会期：2020年11月30日（月）～12月6日（日）

時間：午前11時～午後6時30分（但し最終日は午後3時まで）

場所：ギャラリーくぼた 4階

中央区京橋2-7-11 03-3563-0005（代表）

# 卒業二十周年

52回

今も新宿高校に生きる、

六中大家族主義

新宿高校保健体育科 田久保 裕之

「本校初代校長、阿部宗孝先生は教育方針として知育・徳育・体育のうち特に徳育・体育に重きを置き、『質実剛健なる精神の涵養と、健全強壯なる身体の育成を生徒教育上の二大方針とする』と提唱した。また、『学校、家庭、同窓、生徒が一体となった大家族主義』という理念を示した」（学校HPより）

私が新宿高校を目指した一番の理由は当時受験が可能であった2学区の中で、唯一勉強と野球を高いレベルで両立している学校であったからである。新宿という名前に反してポロポロの校舎、町の喧騒とは一線を画す新宿御苑の緑と静けさ、試合が可能な広いグラウンド、五時下校なのに強い野球部、そのすべてのギャップがカッコ良く映った。多様性を極める先生方と生徒たち、懐の広さはそれに止まらず、校内では

へびもカエルもでた。いわゆるホームレスの方からも応援された。  
一見、放任とも映った先生方のご指導は、生徒を一人の大人として対等に見て、その時がくるのを信じて待つ、最も根気と愛情を必要とするスタイルであったと気づいたのは後になってからである。



ちのたの間仲間の野球硬式部  
翌日7月9日、5回戦敗退

恩師である鈴木裕太先生（二五回）、化学科の木藤章雄先生、長井正徳先輩（四七回）のご指導の元、大都会で野球を追った三年間は人生の礎となっている。半面、知育の修得に欠けた日々は、初代阿部校長の教えを忠実に？守った結果とも言えず、現在の新宿生や先生方を見ると、恥ずかしい限りだ。硬式野球部の十六人の仲間との交流は今も続く。それぞれに家族も増え、年末恒例のスポーツ大会と忘年会は賑わいを増している。

新宿高校に魅せられて、教員を目指した。大学在学中の四年間、講師時代の二年間、母校硬式野球部の監督を務めた。念願叶って教員となり、はじめの園芸高校では純粹な生徒たちと大自然に囲まれて、夢中で戦った。先輩先生方からは、教員としての土台を叩き込んでいただいた。次の小山台高校の夜間定時制では、一転して生徒たちから教育とは何かを教えてもらった。尊敬すべき生徒がたくさんいた。全日制野球班では七年間で二〇〇名以上の選手と出会った。名将福嶋正信先生の元、助監督を務めさせていただいた。真の文武両道。二〇一四年には甲子園の土を踏ませていただいた。昨年、一昨年

は二年連続の準優勝：本当に私はあのユニフォームを着ていたのだろうか。

二〇一七年、まさか：私は七二回生と一緒に、二十年ぶり二回目の入学式に臨んでいた。日本一幸せな教員とは私のことだろう。

新宿高校の体育科の教員になるということは、臨海教室を無事故で継承していく重たい責務を担うことを意味する。二十年ぶりに館山寮に足を踏み入れたとき、寮の変わらぬ姿に感動すると同時に、そのプレッシャーに体がブルツと震え、直立不動で動けなくなつた。

コロナウイルスの脅威が迫る中、二十年ぶりの卒業式で七二回生を送り出した。部活、行事、そして勉学に全力投球だった彼らから、改めて新宿高校の素晴らしさを教えてもらった。

幸運なことに、続けて七五回生の担任となったが、運動会も臨海教室も中止になった。大遠泳も出来ず、六中健児の歌もまだ知らない彼らが三年生になる時、母校は創立一〇〇周年を迎える。まだ分散登校ではあるが、体育の授業で伝統の新宿体操を伝授しながら、真の新宿生への道をスタートさせたところだ。

第二次世界大戦、東日本大震災に次ぐピンチかもしれない。しかし、職員の合言葉は「TEAM新宿」、保護者の皆様のサポートは勢いを増すばかり壊れた館山寮の再建に動いてくださっている朝陽同窓会の皆様と朝陽水泳会の皆様、何よりも生徒は全員が私の後輩、隣を見たら体育科主任は前述の長井正徳先輩であった。これが大家族主義か。初代阿部校長の理念は今も生きていたのである。府立六中、新宿高校という館山の海よりも広い大海に抱かれ、大家族の一員となれたことに誇りと感謝を持って職務にあたる覚悟である。



## ホーム新宿と仲間たち

女子バレーボール部 小川晶子

最近、巷で人気の「しいたけ占い」というのがあって、私のおうし座はしいたけによると、「目の中に入れても痛くない大好きなもの」を12星座の中でも特に強く持っている人たちで、「私が好きな猫ちゃん」がいたとして、人に「えー、私、猫は可愛いと思わない」とかむげに言われたら、コイツは絶対に許さん」と一〇〇%の軽蔑と敵意の炎を燃やします。「人が愛しているものに対しては敬意を払えよ」と思う、というのです。この点、うんうんと大いに頷くところであるのですが、猫ちゃんが私にとって新宿高校と仲間たちにあたります。

新宿高校は生まれ変わり、窓いっぱい御苑の借景が眺められた教室や舞台のない体育館、部活にも使ったピロティなど思い出のつまった古い校舎はなくなり、周辺の新南口あたりは当時の面影が少なくなりました。しかし、大学卒業後、東京を出て以来様々な場所に居を移してきた私は、新宿に戻る度、ホームに帰ってきたという安心感を覚えたもので、新宿高校への想いは

人一倍強く持っています。

二十年前、新宿高校での思い出といえば、誰かがどこかに書いていたのを真似ると、

「バレーバレーバレーバレーバレー勉強」

といった生活でした。あの時ほど、がむしゃらにひとつのことに打ち込んだことはありません。今あの頃に戻れと言われても、決して同じことはできないのと同時に、私の人生の中で最大後悔のない、非常に幸せで密度の濃い高校時代でした。その時間が人生のバロメーターとなり、あの時の自分に恥じないような大人にならないといけないと現在も奮闘中です。

高校、大学卒業後は岐阜県と長野県で家具職人の修業をし、青年海外協力隊に応募。二〇一二―二〇一三の二年間中米のホンジュラスで過ごしました。木工、金工、陶芸といった手工芸の工房がある職業訓練校で、中高生くらいの年齢がメインの生徒たちに、ものづくりの基礎となる美術やデザイン、簡単な作図などを教えていました。日本で教壇に立ったことはありませんでしたが、母校新宿でお世話になった教育実習の経験がとても役に立ちました。

赴任先は、職業訓練校といっても日本でのイメージとはかけ離れ、卒業後に仕事に結び付くことはまれで、就職の意識を持った生徒も少ない状況でした。初等教育の重要性を痛感しながら、普通学校に通えずやってくる貧しい家庭の子どもたちに対し何を残せるのか、自問しながら悪戦苦闘の二年間でした。

そうした経験を経て現在は、「シャプラインール」という国際協力のNGOで働いています。国際協力の分野で働ける喜びに加え、市民活動として志を共にし協働する同僚や、ボランティアなど多くの仲間がいる職場は非常に居心地が良く、やりがいがあります。高校時代のように迷いなく、仲間がいる頼もしさを感じながら仕事をしています。

十六年前に教育実習をした際にも伝えたのですが、ぜひ今の高校生たちにも新宿校生としてのスピリットを持って、かけがえのない仲間と「今しかできないこと」にまい進してほしいと心から思っています。

## 多様性許容力

橘 翔士

「キイツ、キキキキキキキキキキ」

代々木上原を発車した直後、急カーブを進む車輪の摩擦音が車内に響く。曲がりながら高架を下る各駅停車、聳えるビル群が車窓に姿を現した。

本校へは、生徒会やクラブでの活動が評価され、推薦入試で合格した。部活や行事への取り組みは自己評価できるものであった。一方、文武両道を掲げる校風に反し、勉学に関しては愚劣を極めた。そんな高校生活を通じて何を得たのか。

卒業を控えた冬の日、緊張感漂う試験会場で、ただ茫然と問題用紙を見つめ終了の合図を待った。浪人生となり、心改め勉学に勤しんだ。30台だった偏差値は60近辺になったものの、夢叶わず2浪目へ。2002年、20歳の春、晴れて酪農学園大学獣医学部へ入学した。寮生活では役員になり、体育会バレーボール部主将、長期休暇はバックパッカーとして一人旅。またしても学問には身が入らず、6年制の学科を7年かけて卒業することになった。卒業後、青年海外協力隊員としてアフリ

カ南東部ザンビアへ赴任。帰国後、山口県にある米陸軍岩国基地獣医診療所へ就職し、アメリカ文化の中で働いた。

丸8年勤めた後、昨年7月で退職、3年前に立ち上げた法人の運営に専念することを決めた。社名を『ガルーダ』という。『ガルーダ』とはインド神話に登場する神鳥であり、アジア各国で信仰される。某航空会社から連想されるインドネシアでは、国章に描かれており、足で掴んだ巻物には『Bhinneka Tunggal Ika (ビネカトゥンガライカ)』すなわち『多様性の中の統一』と書かれている。争いの絶えなかつた過去から脱却し、言語、宗教、政治、何事においても違いを認め合つて一つになろうというスローガン。この精神こそが新宿高校を通じて得たものだ気が付いた。

クラス内には、どんな性格も認められる雰囲気か漂っていた。人を貶めるような発言を聞いたことがなかつた。部活では、先輩後輩考えを自由に言い合える環境が確立していた。お互い兄弟のように笑いぶつかり練習に打ち込んだ。北海道朝陽会では、不安定な大学生生活が脱線しないよう、大先輩方に応援頂いた。溢れる寛容さが身近に

あつたことで、多様性許容力が備わつた。

4期目を迎えた同法人にて、伯父伯母が経営する鹿児島県霧島市の湯治宿『妙見館』を再興すべく、試行錯誤の日々を過ごしている。百年以上の歴史を持ちながら、時代の波にかき消されそうな灯。変化が加速する世の中で、『抗う』のではなく『受け入れる』ことにこそ、後世に灯を繋ぐエネルギーが秘められているのではなからうか。万人に対して心を開き、人に寄り添い、人に尽くす。新宿高校を通じて培つた能力を存分に発揮することで、愚か者を支えて下さつた方々への恩返しをしたい。



## 歴史と伝統の誕生

### 〈朝陽茶道会二十年史〉

長谷川 啓介

玄関ホールを突っ切ると、そこに茶道部の活動する和室がある。旧い校舎の時は、正門脇に佇む朝陽会館の二階、夏暑く冬寒い和室が活動場所だった。当時と違って冷暖房完備、水屋も用意されている快適な茶室に変わった。懐かしいお道具類は当時のままである。引越しの時に五七〇五九回生が多く荷物と担いで朝陽会館と新校舎を何往復もしてくれたお蔭だ。その甲斐あつて六十回生は、十名も入部してくれ、男子も五年ぶりに在籍した。それから三年後に部員ゼロの代があつて存亡の危機を迎え、干支が一周するまで男子が一人も入部しなくなるなどとは、思いもよらなかつた。

茶道部は合宿も試合もなく、最大のイベントは朝陽会のお茶会である。周囲からすれば、ひたすら正座して、きまり通りにお茶を点てて飲む、物静かなイメージだろう。この二十年間の茶道部員のキャッチコピーを、先輩に叱られるのを覚悟で勝手につけるなら

「コミュニケーションが止まらない」となる。「静かで大人しい」代よりも、「うるさくない賑やかさで明るく和気藹々」というイメージの代の方が多いからだ。この二十一年間に卒業した部員九十名の半数ほどは、未だに緩い繋がりをもっていて、卒業生会も続けてくれている。自分の年齢の半分の後輩たちと関わり続ける最大の理由は師匠のことばにある。

茶道部は、外部から教授の先生をお呼びしている。私が三年生のとき、一九九九年の初夏のこと、当時の先生が体調を崩されてお辞めになった。後任の先生を紹介いただきたいとお願いしたのが、私の中学時代の茶道教授で、師である飯田宗幸先生だ。その時飯田先生はお忙しい中、こう仰って自ら指導を買って出て頂いた。

「人の縁を繋ぐこと、それが茶道」

現役時代、私は剣道部でも主将を務めていた。剣道部は本当に多くの卒業生に来ていただき、稽古に限らず懇切な指導をしていただいていた。茶道部もそういう関係があつていいと思ったのは、そのことばを教えて頂いてからだ。今泉先生から長美先生・椎名先生まで歴代の顧問の先生方のご理解も



あつて、現役時代に一緒だった弟分である五三・五四回生、その後卒業してから出会ひ、和室や茶会よりも居酒屋やカラオケボックスで多くの時間を過ごした後輩たちに支えられて、どんなに緩くても「繋がる」ことが続けられたと感謝している。

飯田先生が入院されたのは学園祭を約一か月後に控えた二〇一六年の梅雨明け時だった。それから八か月余り、力不足ながら同窓生が入れ替わり指導に伺い、翌年には、飯田先生の一番弟子ともいえる武重宗縁先生に教授をお引き受けいただくに至って、稽古のやり方も、少しずつ変わってきた。そうした大きな変革期とも、第二の創業とも言うべき時に、六九〇七一回生、特に二〇一九年卒業の六人に出会ひ、部を任せられたことは、恵まれたことだ

と感じる。

先生方、剣道部・茶道部の先輩たち、そして師匠に教わった「歴史と伝統を大切にすること」とは、「歴史と伝統が生まれる瞬間を見つめていくこと、その瞬間に大きな興味を寄せること」だと、後輩たちが教えてくれた。今も新宿高校では、卒業生が見つめている様々な場で、新しい歴史と伝統が生まれていることだろう。

それに気づいて、千駄ヶ谷に眠る師匠にまた一つ、いい報告ができる気がした。

「未来は明るい」と。



## 二十年間を振り返って

森本 孝高

高校に入学してから二十年が経ってしまった。出来たばかりの高島屋がキラキラまぶしかったことしか覚えていない。これからの自分はどのようなのだろうという不安が勝っていたように思う。

高くジャンプするためにはしゃがんでいる時代だったといえなかったのだから。しかし努力が結実しないもどかしさを、次に向かうエネルギーへうまく変化させることができず鬱屈としていたというのが本当のところだ。

囲碁と将棋をテーマにして社会学を勉強してみたいと思っていたが、どんな学部に行けばいいのか分からず途方に暮れていた。大学でも思ったような勉強は出来なかった、というよりしなかった。これが自分の弱いところだ。志したことができない無念さだけが残った。

就職は大阪へ。ゲームの好きな大学の学長に誘われ、遊びを学問するといふちょっとあやしいな研究所で事務員をしていた。

せっかくの機会だから、一生懸命や

ることだけを決めた。チャンスは一回と思い、どんな場所にも顔を出し、囲碁や将棋の関係者に会う機会を得た。それだけで単純にうれしかった。

三年ほど経ったとき、東京で囲碁の専門紙で記者をやらないかと声をかけられた。正社員からアルバイトになるけど、やってみたいという自分の気持ちを大切にしたい。

東京に戻っても、全力を尽くすことだけは続けようと思った。いつ辞めても悔いなくいこうと思っていたら十年以上が過ぎていた。

いままで十年間、何かを続けたことがなかったの、継続できるものが自分にもあったんだなあと思うと感慨深い。周りの記者と比べれば劣っていることばかり。でも今ある能力を出すことだけを考え、遠い先のことを悩みすぎなかったのが良かったようだ。

この仕事を通して、考え抜くことの大切さを痛感した。自分は、学ぶという行為をずっと心得違いをしていた。

十代のころ、記憶力だったり、試験問題に答える能力があることであったりが頭の良さだったと思っていた。でも本当の学びは、自分で考え抜かないと得ることができないものであると実感

できるようになった。

ある棋士が小学生のときに勉強していたという詰碁の本を見せてもらったことがある。

ボロボロになっていたその本からは、その棋士がこども時代にどのようなように勉強してきたか痛いほど伝わってきた。それを見た瞬間、驚愕し自己のこれまでの取り組み方を反省するしかなかった。でもそれに気がついてからは、うんと心が楽になった。

A Iが棋士を負かすといった歴史的瞬間にも立ち会えた。韓国の大学で講演することもできた。実力以上の機会をもたらされたのだから、一歩一歩続けるしかない。

いまは囲碁、将棋の専門記者として働いている。これまで二回、退職届を出すことになったが、いずれも前向きな変化だった。二十年前の自分にそつと教えてあげたい変化である。



卒業三十周年 …… 「人生一〇〇年時代」折り返し  
を迎えた42回生、それぞれの半生を振り返る  
42回

東京オリンピックが開催される二〇

二〇年、42回生は卒業三十周年を迎える。昭和に入学、平成で卒業と改元を跨いだ。そして再び改元を跨いだ令和で卒業三十周年を迎えた。

多感な青春時代を新宿で過ごした我々も、気づけば「人生一〇〇年時代」のまさに折り返し地点のアラフィフ世代となっていた。

今回、三十周年に際し四人の同級生が寄稿。高校時代にまだスポーツ栄養士というジャンルがなかった時から将来自分が活躍するフィールドとして歩みだした轍を半生とともにふりかえった松田さん。今はない水上寮の思い出とともに夏の青春とともに振りかえった千葉さん。

卒業二五周年同期会開催をきっかけに毎年開催されるクラス会で、当時の体験を語る生徒会長経験者の椎橋さん。

高校時代の恩師の姿を胸に公教育の場で理想の教師像を探求する岡庭さん。

我々42回生が卒業二五周年同期会を開催するまでの紆余曲折を齊藤が振り

返った。

高校だからこそ、さまざまなジャンルに進んだ同期生の近況報告は、普段仕事では絡むことがない話を聞くことができ、いつも楽しみにしている。

人生に「たら・れば、はない」が、同期生が高校卒業後に多方面に歩んでいた轍に感心するばかりだ。こんな生き方もあったのだなあなどと尽きない妄想や高校時代描いていた夢を思い出している、後半の人生をどうしたいか、思案する第二の青春真つただ中である。

写真は二〇一五年六月に京王プラザホテルで開催した二五周年同期会。恩師七名、卒業生八十名出席。



## 未来を決めた高校生活

松田 幸子

スポーツを頑張る子どもやアスリートの食事指導をするスポーツ栄養士、それが現在の私の仕事です。そこに繋がるヒントをいただいたのが高校在学中の体育の先生方でした。

私は中学生の頃、合宿の食事が原因でケガをして競泳選手を断念し、なんとなく高校生活を過ごしていました。

高校一年の夏、小学生の水泳指導の補助をすることがあり、子どもたちが楽しくスポーツが出来る仕事に就きたいと将来を考えるようになりました。ですが、誰に相談してよいかわからず、たどり着いたのが体育の先生方。体育会部活に入っていなかったのですが居心地がよかったこと、そして将来やりたいことについて何も情報がなく、一番近いところにいるだろう先生方に、「自分がやりたいことは仕事として成り立つのか？」と話を聴いていただきたかったのだと思います。進学に関しても【自分の経験に答えがあること】をお話いただき、栄養士養成校に進学することを決めました。進学・就職した頃はスポーツ栄養士という職業が

確立されていない時代です。フィットネス企業に就職してからも、高校に顔を出し、自分の進みたい道を先生方に話すことで、【未来の自分を現実化】するようにしていった気がします。

十年程前の話になりますが、硬式野球部卒業生有志が甲子園で試合をしたことがあります。どうしても先生方にお会いしたく、日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の受験中ではありませんが、現地に飛び、観戦をしました。懐かしい先生方にお会いでき、現状をお伝えできたことが何よりも嬉しかったです。

日本代表から地域の子どもたちまで携わっている中で、試合には時折、新宿高校現役生が出場しています。彼らの頑張りを目にする、先生方と話した【あの時代】を懐かしく思います。彼らの高校生活が明るい未来に繋がりますようお祈りすると共に、卒業三十周年の言葉とさせていただきます。



## 水上寮 夏の思い出

千葉 由香

新宿高校卒業生の中でも、群馬県水上市にあつた新宿高校水上寮へ行つたことのある人は数少ないと思います。館山寮へは臨海学校で全員行つているのではないのでしょうか。しかも、私の場合水上寮へは希望者参加による林間学校ではなく、別の行事で行つたのです。そんな水上寮の夏の思い出を綴ってみます。

私が高校三年間通じて続けた部活は軽音楽部でしたが、実は入学当初「物理部」に所属していました。物理には全く興味がなく、後に成績が悪くて夏休みに補講を受ける位でしたが、一体どうして入部したのか、当時同様に物理とはあまり関係がなく入部した一年生が何名もおり、毎日放課後に物理室に集まってはとりとめのないおしゃべりをしたり、トランプなどして楽しく遊んでいました。実際物理部は無線の資格を取って一般の人と交信することを主目的としており、電話級・電信級という無線の資格取得を目指し物理の内容も学ぶという部でしたが、結局先述の通り物理の内容がさっぱりわからないので、半年くらいで退部してしま

いました。しかし、物理部の先輩は本当に温かく心優しい方々ばかりで、一年生の半分でさっさと退部したにもかかわらず、その後も親交があり、高校卒業後もお花見や新年会に参加させていただいたり、大学が一緒のK先輩や、一つ上のS先輩とは長い周年賀状のやりとりもあり本当によくしてくださいました。

さて、物理部には入学当初十名以上？ は同級生がいましたが、次々やめ、それでも夏には七名ほど在籍していました。そこで夏に物理部毎年恒例という「水上合宿」が行われることになり、喜々として参加しました。目的は無線電話級の試験勉強を合宿で行うということ、大学で物理を学んでいるOBの先輩も参加し、男女混合で大勢で行きました。

水上寮は温泉街から少し離れた小さい住宅地の山際にありました。すぐ後ろに小さい裏山があり、建物は木造で、四十畳のこれまで見たこともないようなだっ広い部屋と、引率の先生用と言われる小さい八畳間が隅に二つあり、私たち一年生女子三名と二年生先輩女子一名で狭い八畳間に泊まり、OBを含む男子は四十畳の部屋を広々と使っ

ていました。天井裏にムササビが棲みついていてという噂もありましたが、見かけませんでした。その他、ポットン便所がいくつも並ぶくさいトイレと、大量の食器や塗り箸、大きな鍋のある台所があつて皆で夕食にカレーを作りました。お風呂はなかったように思いますが、女子四名は先輩に連れられて近所の喫茶店に行き、自宅の小さいお風呂を貸していただいて入浴しました。合宿では、午前中はOBの先輩ご指導のもと、大広間に机を並べて無線のテキストを勉強し、インピーダンスや抵抗などの用語で頭が痛くなつてくると午後から遊びに繰り出しました。

水上寮から少し歩いていくと、自然の川があり、皆で水着を着て行つて川遊びをしました。川の水は冷たく、皮下脂肪の厚い女子はさっさと入っていましたが、男子はくるぶしまで浸かるとあまりの冷たさに皆一様に立ち尽くしていました。しかし水は青くきれいにみえても深いところへ行くと、何故か水の下半分に暖かい水の層があり、明らかに上流の温泉宿から水が流れてきているものと思われました。慣れてくると男子も元氣よく遊び始め、K君やOさんは大きな岩によじ登つて川に

飛び込んだり、先輩がズボンのポケットに財布を入れたまま川に入り、財布を水浸しにしたりしました。

夜には河原に石を積んでBBQやスイカ割りをやつたり、真つ暗な中三人一組で水上寮の裏山に次々と登つて肝試しをしました。本当に絵に描いたような楽しい夏休みを緑あふれる自然の中で満喫し、水上寮でのキラキラとした夏の思い出は今も思い出すとわくわくするくらいに残っています。

数年前でしたか、水上寮が閉寮になつてお別れ会が行われたという記事を読み、確かに当時から木造で古かつたから仕方がないと思いつつ、あの素敵な夏の思い出の場所がなくなつてしまふことにとても寂しさを感じました。お別れ会を事前に知つていればぜひ行つたのですが、今はもう水上寮の姿を見ることはできないのです。

昨夏は台風一五号、一九号が未曾有の被害をもたらし、一五号では館山寮の屋根が半棟分強風で飛んでしまったとのこと。写真も拝見しましたが、赤いトタン屋根が紙くずのようになくしゃつと地面に落ちていて、今も復旧のめどが立っていないと聞きます。現役新宿高校生にとつて、日常外にある

臨海学校などの経験や思い出は、一生の宝物になるはず。水上寮もなくなくなってしまった今、館山寮も早く再建され、多くの人の夏の思い出がまた生まれたいなあと願ってやみません。



## 記憶の更新

椎橋 孝

新宿高校を平成二年に卒業して以来、数名の友人と細々と連絡を取りあう程度の付き合い。担任の中藤先生には年賀状も出さず、不義理を働いていた。

ここ十年は唯一の親友と年賀状と年に何度かメールのやり取りをする程度のつながりとなっていました。いつの間にか母校の校舎は建て替えられ、当時の記憶もほとんど薄れ、高校時代を振り返ることはほとんどなくなっていました。

そんなある日、その友人から年に一度中藤先生を囲んで三年B組のクラス会をしているから来い、と誘われた。クラス会？ 誰がいたっけ？ 慌てて卒業アルバムを引っ張り出し、同級生の名前と当時の顔を思い出す。そんな

情けない状況のまま当日を迎えた。頼りの親友はなんと欠席。旧友たちは音信不通だった同級生を受け入れてくれるだろうか？ 話にはついていけるのか？ などなど不安もあったが、全くの杞憂であった。見た目はそれぞれ年相応に大人になり、それでもアルバムの面影はすっかり残り、声を聞く



と高校生時代の懐かしい雰囲気そのま。あつという間に当時の教室にタイムスリップしたような不思議な感覚を楽しみながら、少々飲み過ぎでしまった。それでも多くの仲間たちの顔が卒業アルバムの写真から更新された。それから一年、二度目のクラス会でま

た新たな顔と出会い、私の脳内アルバムを再び更新することができた。また、近くにいるメンバーで新橋のガード下で飲んだ。主な話題は家族の話、仕事の話、そして健康の話。大人になったなあ、と改めて感じた。高校生の頃は一体どんな話をしていったっけ？ 次に会ったときに聞いてみよう。

さて、今年で卒業三十年。盛大な同期会も開かれると聞いた。また卒業アルバムで予習して懐かしい顔との再会に臨もう。どんな記憶の更新があるのか、今から楽しみである。

## 先生方の力

亀山（岡庭）里美



自由な校風に憧れ、入学した新宿高校。そこで出会った先生方は、個性豊かで情熱的で、そして温かかった。

憧れだった高校に入学したことで、かなり満足していた私は、あまり勉強をしない、おそらく担任の先生方から見たら厄介な生徒だったはずだ。

受験が視野に入ってくる高二の頃。勉強もせず、アルバイトや遊びに夢中

だった私は、当然成績も振るわなかった。大学へ行くのが当たり前、といった雰囲気の中、進路調査に「専門学校に行く」と書き、中藤先生に呼ばれたことがあった。先生は、言い訳ばかりの支離滅裂な私の話をじつと聞き、「俺は、専門学校にあまり詳しくないから、これから色々調べてみるよ。自分がやりたいことをやるのが一番いいよ。応援するよ」とおっしゃった。

本当は勉強や受験から逃げたくて、目をそらしたかっただけの私に、やりたいことをやりなさいと言ってくださった先生。多感な高校時代に、そう言ってくださる先生に出会えたことが、私にとって宝物のようだ、振り返ってみてしみじみと思う。

そんな私は、一番やりたいことを見つけ、今、小学校の教壇に立っている。中藤先生の家で行われている同級会に参加し、中藤先生に教員になったことを報告すると、先生は目を細めて喜んでくださった。高校時代に先生にかけていただいた言葉のお蔭で今がある、と伝えると、「俺、そんなこと言ったかあ？ そうか、そうか」と、笑っていらした。

これまで出会ってきた先生方の影響

は、本当に大きいと感じる。担任の先生方には、特にお世話になった。当時の私の夢を、真剣に聞いてくださった玉上先生。一浪が決まった時に、予備校の特待生に推薦してくださった太田先生。いろいろな形で、最後まで見捨てずに面倒を見てくださった先生方には、今でも感謝しかない。先生方の力がなかったら、今の私はいない。

これからの私ができることは、先生方にしていただいたことを、子供たちに返していくことだと思う。責任は重大だが、頑張っていきたい。先生方に少しでも近づけるように。



### 卒業以来の先生方、同期との再会

齊藤 毅人

「おい、齊藤！」

ある年の春、館山の穏やかな海を眺めていた時のことである。所用で一緒に館山寮に来ていた38回生、水泳部OBのニルス（鈴木）先輩に声をかけられた。先輩は続けて「お前らの代の同窓会代表幹事が誰なのかわからず、秋山先生が困っている」と言うのだ。当

時、秋山先生は同窓会の幹事事務局局長をされていた。先輩は最後に私にこう命じた。「いいか、代表幹事はお前がやれ！」

断れるはずがない。

代表幹事になった以上、同期会を開かねばなるまい。しかしどうしたものか。高校時代の私は水泳部に所属しており、同期生よりも部の先輩・後輩と長い時間を共にしていた。そのため、いざ同期生と連絡を取ろうとしても、同期会を大々的に開けるほどの「横のつながり」がなかったのだ。

困り果て、もうこれまでか？と諦めかけたタイミングで手を差し伸べてくれたのが、ひよんなことから連絡の取れた宮森君と原田君だった。

さっそく打ち合わせを兼ねて三人で酒を飲む運びとなった。我々三人の再会は、卒業以来、実に四半世紀ぶりである。卒業してからの進路や生活をお互い報告したあと、私は本題を切り出した。卒業二五周年の同期会の様子と同窓会の機関誌に載せる必要があること、そのためには同期会を開催する必要があること、更には幹事を募らなければならぬこと――。

幸い二人は「齊藤が同期会をやると

「いうなら手伝う」と申し出てくれたので、その日は安心して解散した。  
が――。

大変だったのはその後である。宮森君の推薦により、男性の幹事は山本君にお願いすることができたが、女性の幹事が見つからないのだ。できれば女性にも幹事役をお願いした方が、スムーズに情報が行き渡るだろう。しかし私はあいにく頼めるような仲の良い女性の同期生がいない。嗚呼あの頃もつと…と後悔しても後の祭りである。またしても、もはやこれまでか…と諦めかけた。

その時である。白根さんが幹事を快く引き受けてくれたのだ。在学中、一言も言葉を交わしたことのなかった彼女が、光り輝く存在に思えた瞬間だ。かくして我々42回生の卒業二五周年を祝う同期会幹事が決定した。

当日の準備には、同窓会支援会社に依頼することになった。家事をはじめ「自分でやるのが当たり前」と思っていた様々な仕事を外部に委託できるようになった時代。つくづくありがたい。外部に委託したといっても、こちら側でも作業が発生するため、仕事の合間を縫って、当日に向け準備を進めた。



そしていよいよ同期会当日。会場には七名の恩師を含め、約八十名の卒業生が姿を見せてくれた。東京周辺からだけではなく、秋田県や富山県、アメリカからも、この日のために足を運んでくれた同期生もいる。運営者としては大変に感慨深い。  
我々42回生は、この四半世紀の空白の時間を埋めるかのように、



二次会、三次会と時を共にし、同期会は大盛況のうちに幕を閉じた。  
このイベントを機に、同期生との距離がぐつと縮まった。在学中に交流のなかった同期生、

卒業以来で顔を合わせた同期生。当時同じ「高校生」だった我々はそれぞれの歩みをすすめて、四半世紀の時を超え、新しい気持ちで、友人関係をリスタートさせることができたのではないか。

今回の同期会開催にあたりご協力いただいた宮森君、山本君、白根さん、出席した42回生一同に感謝したい。都合で参加できなかった同窓生と、次回会えることを心から楽しみにしている。



# 卒業四十周年

32回

十年前 卒業三十周年で特集を組んで頂いてからあつと言う間の十年でした。

今回四十周年で皆五八歳になり会社勤めの人は定年を目前に控えてセカンドステージに向けての転職活動に忙しい時期ですが、それにも増して同窓会活動はあちらこちらで非常に活発になつてきたようです。まだまだクラブ単位のような少ない人数の活動が主ですが、皆が還暦を迎えようとしている今こそ学年単位の大人数の活動に盛り上げていきたいと思ひます。

一方、昨年は台風や大雨で自然災害の多かった一年でしたが新宿高校館山寮も男子寮の屋根がすべて吹き飛ばされるほどの大きな被害に遭いました。新三二回生としても四十周年で集う機会になるべく多くの募金を呼び掛けたと思ひますので皆様よろしくお願ひ致します。

(代表幹事 仙石裕次郎)



「2020年1月25日 六本木 DORAにて細谷先生と32回生51名」

※今回連絡が来なかった方で、今後同窓会の連絡を欲しい方は、[sengoku.yujiro@gmail.com](mailto:sengoku.yujiro@gmail.com)までお名前、携帯番号、メール or Line を連絡願ひます。

## 母校の今、外から中から

H組 中井 啓之

新宿ハーフマラソンに毎年参加している。神宮外苑から、四谷・新宿あたりを走る。コースは、陸上部の練習で走った御苑の周回コースと重なるところもあり、とても懐かしい。最近のコースでは、四谷四丁目の交差点から地下トンネルに入り、明治通りと甲州街道が交差する新宿四丁目の交差点の手前で地上に出てくるのだが、その左手に校舎が現れる。

息が上がりに、足が前に出ないが、大袈裟に言えば、母校に恥じない生き方をしていくかを確認し、母校の卒業生であることに感謝する瞬間だ。無様な格好は見せられない。力を振り絞って地上への坂道を這い上がっていく。

もし、トンネルの中で六中健児の歌(うめき声)が聞こえたら私だろうか。声をかけて欲しい。

そうやって、外から眺めていた母校の生徒たちを前に教壇に立つ機会を得た。

社会人の後半は、地元で税理士事務所を開業している。近年、税理士会は、租税教育に力を入れていて、地域の学

校で、税とおして「民主主義の大切さ」みたいな話をしている。

教壇に立つと、あまり綺麗とは言えない教室に、雑然と並ぶ机。微かに弁当のかおり。標準服、私服、ジャージと様々な格好で、姿勢よく前を向く者、突っ伏している者、隣の席の友人と談笑する者。同じじゃないか！

気分よく自己紹介で卒業生であることを話したけれど、ほぼ無反応。歓迎ムード溢れる対応を期待していたが、妄想に反して冷ややかな雰囲気でのスタートとなった。

しかし、話はすっかり聞いてくれていたようだ。授業中のやり取りや、その後のアンケートでも、多くの生徒が理解し興味を持っていていたことがわかった。よのなかのことを、傍観せず自分ごととして捉えてほしいというメッセージは、伝わったと思っている。彼らが、四十年前の我々と同じように、新宿高校で得たものを大切に、充実した人生を送ることができるよう、祈るばかりだ。

## 『天気の子』から

よみがえった記憶

A組 渋谷(方波見) 明子

二〇一八年に公開された映画『天気の子』の冒頭で、主人公の青年が「D. サリンジャーの『The Catcher in the Rye』(ライ麦畑でつかまえて)」を読んでいた。映画がきっかけになり、高校時代にサリンジャー作品を愛読していたこと、あの頃の自分を思い出した。

私は一年のときは音楽部(合唱部)でピアノを弾いていた。二年次は映画研究部で脚本を書いたり、クラスで演劇の台本を作ったり、演じたり、軽音楽部でキーボードもたいたりした。

その後、燃え尽きたかのように興味を失い、図書館で本を読み、高校に行かない日々もあった。今、振り返ると、ライ麦畑でさまよっていたのだろう。

そんなとき「方波見さんは大丈夫ですよ」と当時担任だった津田先生(英語科)が言っていたと父母会に参加した母から聞いた。津田先生とは当時もその後も話らしい話をした記憶はない。ただそれでも「大丈夫ですよ」と言ってくれたことがうれしかった。

その後も振り返ると、迷いながらの

四十年だった。小暮先生の物理が面白かったので理系に進み、カンボジア難民のために何かしたいと看護短大に進学したものの三ヶ月で辞めた。浪人生となり大学受験をし、哲学を専攻した。その後も出版社の編集部にて年間勤めた後で、アメリカの大学院でジャーナリズムを学び、帰国後は四十歳で博士課程に進んだ。今は大学でゲーム研究などをしている。思い返しても一貫性がなくメチャクチャだ。

ただ、人生は不思議なものである。まれに面白がって応援してくれる人に出会えた。その何人かは新宿高校の先輩だった。あまり語らずとも「大丈夫ですよ」と言ってくれた津田先生のように、より広い視点から自分の研究や視点を認めてくれた。

私自身も若い人たちにアドバイスをする立場になったが、あまり役立てない場合も多い。「迷いながらも道はどこかにつながっている。大丈夫ですよ」。そう伝えられるようになりたい。



## ピロティの床

G組 森本 信二

「放課後ピロティに集合！」

硬式テニス部はコートが使用できないときは、ピロティでトレニングとなる。ある日、背筋Ⅱうつ伏せになり手を頭の後ろで組んで体を反らせるⅡを行い、苦しくなってきたので歯を食いしばり目をつぶると、いきなり目の前に友人がニタツと笑い現れた。おかしくて力が抜け、前歯からタイルに顔を打ち付けてしまい、歯の角が欠けた。今でも丸みを帯びているが少し欠けている。

その日も同様にピロティでトレニングをしていた。今度は腹筋だ。ピロティの天井より空を見るほうが気持ちが良いくて、仰向けになってピロティから上半身を外に出して腹筋を繰り返していた。青空に向かって見える校舎が何か変だ、歪んでいる。そんな訳はないと頭では思うのだが、やはり校舎が揺れている。それは宮城沖地震の揺れによるもので、急いでピロティを抜け出し校庭に避難した。

ピロティという言葉は、卒業後一度も聞いたことはないが、焦げ茶色の夕

イルは目に焼き付いている。旧校舎はすでになく、そして地面に顔をつけることも、もうなくなった。

中学時代はテニス一筋に過ごし、高校もテニスが出来ることが第一条件だった。無事に新宿高校に入学しすぐに硬式テニス部に入学した。一年生の最初の都大会で、確か五回戦まで運良く勝ち進むことができた。あと一回勝てば次回の出場選手枠を増やせるところまで来た。しかし、何とその日は学園祭の当日で、私は目黒公会堂でのクラス演劇のロミオとジュリエットのロミオ役であった。開演までの時間はわずかとなり、人生初の運命の選択となつてしまった。六回戦は勝ち、七回戦を棄権し走って公会堂へ向かった。残念ながら間に合わず、ロミオを演じることができなかった。代役の友人、テニス部の皆様には迷惑をかけてしまった。二兎を追つてはいけなかったのだ。その後も引退まで同程度の戦績であり成長はなかった。しかし先生、先輩、同期、後輩に恵まれ、楽しい高校生活を送ることができた。大学からはテニスをやめてサーフィンにのめりこんだが、ピロティで鍛えたおかげで、こちらは今でも続いている。

テニスに明け暮れながらも友人達とよく遊んだ。入学と同時にある男子と女子と同じクラスになり仲良くなった。部活は違うながらも海やスキーに行ったり、楽しい高校生活を送ることができた。二人はやがて結婚したが、結婚した年も、二人ずつの子供が誕生した年もウチと同じであった。そのため家を行き来するだけでなく、海に山にでかけ、家族ぐるみで付き合ってきた。このご夫妻と共に人生を歩むことができたのは、新宿高校で出会えたおかげである。まさに一生の友となったわけで、これから家族構成が変わってきてもお付き合いを願いたい。二人だけでなく多くの友人もできた。ここ数年は集う機会が増え、高校時代以上に交流する友人が増えている。SNSのおかげといえようが海外で活躍する友人も含め毎日の動向もわかるので、より身近に感じられるようになった。



## 「新宿高校管弦楽部」の思い出

D組 井戸沼（大槻） 博子

実はいささか残念な気分だった新宿高校合格。当時の学校群制度で、新宿高校に割り振られてしまった私であったが、先入観なしに学校生活を送ることができたように思う。

教室から一番近かった音楽室から聞こえてくる音に惹かれるまま、音楽室に足を踏み入れた私は、そのまま管弦楽部入部を選んだ。

ここでも、希望通りではなく、バイオリンになったのではあるが。今となっては、この出会いがなければ、自分の学生生活が暗いまま終わってしまったのではないかと、感謝の一言である。

バイオリンを手にした私は、夢中になった。

もともと音楽は好きであったが、オーケストラという経験したことのない響きは、何物にも代えがたいものになった。与えられた曲は、ベートーベンの「運命」交響曲全楽章。四月に初めて楽器を持った初心者たちが、半年後の学園祭で、三十分あまりの全曲を弾きこなすのである。楽譜は真っ黒に

書き込みがなされ、新しい指示を書き込む余裕もないほど。なのに、本番前日、当時の三年生のこわい先輩から、「書き込みを全部消すように」と言われた。まだ純真だった私は、書き込みを消して本番の演奏に臨んだのだ。今でも「運命」は暗譜状態で弾くことができるのも、この時の経験が役に立っているからであろう。

その後、同期の青田氏等の発案で、外部会場での演奏会を開くことになり、ますます管弦熱がヒートアップした。こうして開催したメイコンサート（五月に行ったので）が、昨年四十回を迎えた。奇しくも、第一回で取り上げたドボルザークの交響曲八番を、現役高校生に交じって再び弾くことができたのも何かの縁であったかと思う。

高校で始めたオーケストラ活動、大学社会人と年齢を重ねた今でも、細々と続けることができるのも、あの高校時代の頑張りがあったからに違いない。そう思うと、心のふるさととして、いつまでも管弦楽部が発展していったほしいと願うのである。

## エンジニアを

### 目指す若い皆さんへ

B組 窪田 賢雄

四十周年を記念しての寄稿ですが、私からはエンジニアを目指す若い皆さんにちょっとしたお話を。

新宿高校を卒業後、国立大学の工学部に進学した私は、大学の研究室でビットのパソコンを使って画像処理の研究をしていました。大学卒業後は、松下電器産業（現在のパナソニック）に入社。システムエンジニアとして業務用システムの開発を担当、株価表示システムや警察向け、空港向けのシステム、デジタルサイネージシステムなどを開発してきました。直近では、空港での出入国手続きに使われる、顔認証ゲートを開発しました。皆さんも海外旅行に行く時などに、利用された方も多いかと思えます。あれは、新宿高校OBが開発責任者だったのですよ。さて話は変わりますが、この四十年間に、世の中の技術はどのように変わってきたのでしょうか。

四十年前の旅客機、ジャンボジェット（ボーイング747型）は五百人乗り、時速約九百キロで飛行できました。

四十年後にこれがどうなったかと言えば、二階建ての大型機エアバスA380でも搭乗人数は最大で八百席程度、飛行速度は、ほとんど変わりません。最近では燃費が改善され航続距離が延びましたが、2倍にはなっていません。

四十年前の自動車はどうでしょうか。有名なカローラではエンジンサイズは変わらず。エンジン性能が上がったとは言え、馬力は2倍にもなっていません。燃費は3倍くらいは改善したでしょうか。

これらは、四十年で2倍とか3倍になったという話ですね。(飛行機や自動車に進化が無かったわけではありません。それぞれに技術革新が重ねられています。)

ところが、この四十年で激変したものがありません。それは、コンピュータの世界。

四十年前16ビットだったコンピュータ(マイコン)は、今では64ビットになり、駆動周波数は五百倍に。1つのチップの中に32個のコンピュータが入っていたりします。このような計算をすると、四十年前とくらべて一千万倍くらいの能力を持つていることになります。この四十年の間に、コン

ピュータの世界は、他の業界とは大きく違って、その性能が急激に上がり、それと共に、コンピュータを利用した新しい技術がどんどん生まれてきたわけです。こんなに激しく変化したものは他には無いでしょう。

私などは幸いにも、この四十年間の変化を四十年かけてキャッチアップすることができたわけですが、今の若い世代の皆さんは、これまでに蓄積された技術を一気に勉強しなければならぬのですから大変だろうと思います。

IT技術の世界はこれからも激変の連続でしょう。しかし、新しい技術が次々と生まれてくるこの世界は、大変な苦労もありますが、常に新しいので、その面白みも格別と言えるでしょう。

私は定年が見えてきた年ごろになつてしまいましたが、激変し続けるIT技術を追い続け、システムエンジニアとして、社会に貢献するシステムや装置を開発することができたことは、実に幸せなことだったと思っています。

新宿高校で学んだこと、そしてラグビー部で鍛えた体力と根性で、この四十年間を生き抜いてこれだと思っています。エンジニアを目指す若い皆さん、ぜひともこの世界にチャレンジして、

そして楽しんでください。これからの皆さんの人生がより充実したものでありますように。

### サンタマリアの夏

H組 村山(畑中) みゆき



雨上がり 放課後 駆け上った坂道  
笑い転げた先に 時計台と黒猫  
図書館の帰り道 あのバーガー  
ショップで 競い合うようにいつも違  
えた

魅惑のラインナップ 帰り来ぬ日々  
君との距離がほんの少しだけ近づいた  
気がした

トロピカルパラソル 青春は虹色  
思い出の中のサンタマリアの夏  
チーズバーガー wwバーガー テ  
リヤキバーガー とり天バーガー  
フィッシュバーガー アポカドバー  
ガー 塩チキンバーガー ベーコンオ  
ムレツバーガー

そして最後は回りまわって やっぱ  
り好きさ チーズバーガー  
帰り来ぬ日々 君との距離が ほん  
の少しだけ 近づいた気がした

トロピカルパラソル 青春は虹色  
思い出の中のサンタマリアの夏  
トロピカルパラソル 青春は虹色  
思い出の中のサンタマリアの夏  
サンタマリアの夏

(2019年夏 作詞作曲ヴォーカル) ※思い切り青春時代を懐かしんで、「坂道のアポロン」を意識して作った曲。

高校時代、教科書や黒板よりも窓の外ばかりを眺め暮らし、季節の移ろいと当たり前の日常に、何者でもない自分を嵌め込もうともがいていた。

当時の夢は、隠遁生活者。なりたかった姿には遠いが、今、ほどほどの自由と充足を得て、人生の晩年に差し掛かっている。

仕事以外に得たものは、芸事のいくつかとキャリア、友人、はみ肉、寛容さ、鉄の心臓。

失ったものは、あまりにも多くとても書ききれないが、何かを諦め、忘れるために老化があるのだとしたら、それはそれで神様の恩寵と言えるのかもしれない。

たまさかの逢瀬で旧友と飲むとき、自分のことだけ考えればよく、一番輝

いていたあの頃の時間がよみがえってくる。そうした記憶にいつでも立ち返れるのは幸せなことで、そのおかげで今の自分があるのだと思っている。



### 新宿高校サッカー部の思い出

B組 小沢 明夫

正直に言って、高校時代の思い出といえはサッカー部のことしか思い当たりません。

中学時代から西ドイツW杯の西ドイツチームにあこがれてサッカー少年だった私は、入学してすぐに、グラウンドに行き、当時コーチだった土屋先生に入部したいと申し出ました。これが、私の本当の意味のサッカーの原点かもしれない。

最初は、部活の厳しさも知らずに、ただ好きなだけでサッカー部に入部したのですが、徐々にその厳しさを思い知らされることになりました。その内容を書き出すとキリが無いので省略しますが、少なくとも数回は本当にやめようと思ったレベルです。

私たちの代は、サッカー部冬の時代で、二年間を約十五人程度で活動していました。

ちなみに、二つ上、二つ下は十人以上だったので、二学年で二十人以上になります。

その中で私は、足が遅い・背が低い・目が悪いの三重苦に悩まされながら、必死に練習してました。特に秋も深まり暗くなると、ひとりブラインドサッカー状態で大変苦労しました。

そんな私も、最後までやめることなく続けられたのが、非常に大きな財産となりました。

その後、都立大でも体育会サッカー部(といっても当時、都の三部ですが……)にも入部し就職先のセイコーインスツルでもサッカー仲間ができ、先週も会社サッカー部のOB会で楽しんできました。

ここ数年は、フェースブックでつながった新宿高校時代のサッカー部以外の同期と飲む機会ができて、新たな楽しみとなっけています。特に、館山寮に集まっていたのが大変楽しかったので、今回台風被害を受けたのにショックを受けました。

復活を祈り、この文の締めとします。

## 農業は先行き不安

G組 古澤（松本） 知子

縁があつて静岡市清水のミカンとお茶の専業農家に嫁三年。鶏の声で目覚め畑仕事に精を出し、夕焼けの空に明日の天気と段取りを考えながらあつたかい我が家に帰る…とゆつたりとはいかず365日自然と向き合う仕事です。

一番茶、お茶ならし、田植え、二番茶、夏は草刈りを四回、ミカンの摘果、収穫、袋詰め、発送等々今年は十月にも夏日があり気温が下がらず、ミカンの色づきが遅れ、お歳暮に青島ミカンが間に合うか、気象状況の変化に一喜一憂する毎日。しかし育ててきた旬の初物を頂くとき、家族の笑顔が広がり、おいしいねーよかつたねー！うれしい瞬間です！

新茶、新米、温州ミカン、太田ポカン、清美、デコポン、駿河甘夏、抜き柿、筍等々、食べ物が豊かだと自然と心が温かくなりますね。

三人の子供も、じいじ、ばあばのトウモロコシの種まきを手伝ったりお茶刈の生葉詰めや摘果をたまに手伝ったり助かりました。末っ子長男が興津果

樹試験場を卒業し、後継者として就農し、父母子の三人でうちの畑を耕せるのは、うれしく幸せです。九年前に亡くなった両親にも畑で剪定作業する息子をみてもらいたかったです。

地区では若手農家の一番下が息子25歳と30代が3人いて、50代の方一人が引退です。四十年後、ミカン栽培に携わる人が何人いるでしょうか？

我が家は息子の代までできればよいですが、温暖化に加え販売の生き残りは大変です。今2歳の孫の時代は露地栽培は出来なくなっているかもしれません。食事の時、食料を作る人を書いてください。

作る人がいて、今、食べ物があるのです。



## 奇跡は続く

G組 秋山 知隆

今日は、新宿高校時代に始まり、卒業後四十年以上経ってもまだ続いている奇跡的な出来事についてお話しします。それはある同級生の『趣味』から始まりました。彼の名前は齊藤信（さいとう・まこと）。軽音楽同好会所属でキーボードを弾いていた彼には、音楽の演奏や作曲以外にドラマ鑑賞という趣味がありました。私たちの高校時代は、宇宙戦艦ヤマトの再放送、スターウォーズ第一作の発表、機動戦士ガンダムの放映などSFが花盛りの時代でした。音のドラマなら手間や費用もかからないとの判断から、彼は同級生の蛭原均（えびはら・ひとし）と、ラジオドラマの制作にかかります。第一作のタイトルは「スペースアドベンチャー」。在校生のみでキャスティングを行ない、放課後の視聴覚室等で録音をし、自分自身で音楽や効果音を作りダビングを重ね作品を作って行きました。

…そしてそれから四十年以上。高校の同窓生を核として、それ以外のメンバーも加えながら、驚くべきこと

にほぼ毎年彼はドラマ作りを続け、今年で何と76作品を完成させたのです！（さらに2作品を制作中）作品のジャンルはSFだけでなく、海外が舞台の現代警察ものや、ファンタジー系のもの、近未来のハードSFなど多くに渡っています。

そして、一般企業を早期退職した彼は、高画質の動画の撮影、編集が気軽にできるようになったために映像作品制作も始め、こちらにも既に7作品を完成させました。

私は製作面というよりは、ほとんどが出演者として協力をさせていただいています。ラジオドラマでの役柄はサイボーグの殺人鬼からエロい医者、犬の遠吠えに至るまでバラエティーに富んでいます（笑）。

これだけの長きに渡って続いたドラマ制作、この話を人にするると誰もがそれは奇跡だと声を揃えます。出演料などは一切出ませんし、交通費、打ち上げ代も自腹です。しかしだからこそ、つまり利害関係のない者同士が「好奇心」と「好き」で集まった仲間だからこそ成り立ってきた活動だとも思えます。

どうでしょう？ こんな風に四十年

以上続いたドラマ作りに興味のある方はいらっしやいませんか？ 個人のプライベートの問題などもあり、作品は一切公開していませんが、個人的にお聞かせしたりお見せすることはできませんので、興味があればご連絡下さい。出演、制作に関わりたくいという方には私がお話をおつなぎします。連絡はtomotaka\_aki@me.comまで。よろしくお願ひ致します。



新宿三丁目駅E4出口直結  
新宿高校から徒歩5分

CRUISE  
CRUISE  
SHINJUKU

# レストランクルーズ・クルーズ新宿

TEL 03-5485-3900

パーティ  
チーム新宿 同窓会プラン ¥6,000 (税別) ※フリードリンク付き / 6名様〜 / 3時間制  
スペシャル特典  
こちらのプランご利用の場合「100周年記念事業委員会」募金PJにお一人様100円が募金されます

ランチ  
朝陽ランチプラン ¥4,300 (税別) ※フリードリンク付き / 2名様〜(6名様〜個室利用可) / 3時間制

パーティ  
最大  
200名まで



詳しくはこちら  
<http://www.ginza-cruise.co.jp/fair/shinjyuk>

# 卒業六十周年……まだまだ現役・頑張るぞ

12回

熟年青春真只中 田中（村原）京子

卒業六十周年？ 遠い昔の新宿高校 & 十二回七夕会の同志に感謝！ 幹事から何か書け！ とメール。何で私？ 確か五十周年でも書かされたよ。儘よ、そろそろ終活に向けて人生を振り返り紆余曲折の道程・現状を記しておこうか。

十五の春、入学早々秀才集団に圧倒されヤケツパチ、趣味の音楽に嵌り日夜ピアノ三昧。音大ピアノ科受験、新宿とは余りにも異なる華やかな受験生仲間に、合格するも入学拒否。予備校通いで鞭打ち法学部へ。それなり学問するうちに、自分が真に向かいたいの

は矢張り音楽―実技ではなく文字で書き語り伝えたい、「音楽学だ」と東京藝大楽理科へ。水を得た魚は迷う事無く一心不乱。既に院生時代から雑誌・レコード・cdライナーノート、コンサート解説等、ライター仕事に恵まれ「これで生きていける」と親に感謝。

ている七夕会夫婦です。  
(鹿児島国際大学音楽科)

## 叙勲

下田 達郎

令和元年五月二七、二八日の二日間、春の叙勲の勲章伝達式と令和天皇陛下拝謁に夫婦揃って出席し、旭日单光章を受章しました。喜寿の年に思いもよらず叙勲の栄に浴し身に余る光栄であると共に中小企業の経営者にとって大変励みになる事と喜んでおります。

早稲田大学の政経学部を出て、商学の大学院で商学修士を頂き亡父の創業した栄通信工業（株）に入社、二代目経営者として現在も働いております。高度な産業用電子部品の開発・製造・販売を創業以来約七十年一貫して経営しています。従業員約二百八十名は全て正社員です。

グローバルニッチ市場向に輸出比率約七十%で、直貿で世界四十数か国に販売をしており、この業界に限定すれば世界五指に入る会社と言われております。パテントの数も亡父と小生合わせて累計二二〇件になり、国産技術による量よりも質を目指す物づくりに励んでおります。

製品は、精密ポテンシヨメータ(通常

の可変抵抗器の数十倍以上の高精度のもの」とこれを使用したジョイスティックコントロールの專業メーカーです。用途は精密計測器、検査機器、医療機器、工作機械、産業用車両、特殊車両、建設機械、船舶機器、各種ロボット機器等々にキーパーツとして幅広く使用されていますが、電子部品なので各製品の内部に使用されているため残念ながら、一般には目立ちません。また日本の最先端技術品、例えばわが国最初の人工衛星「おおすみ」、深海用潜水調査船「しんかく2000/6500」、人間型ロボット「アシモフ」、最近では、二〇二〇年の東京オリンピックで使用されるトヨタの自動運転の大型電気自動車「eパレット」等々にも使用されています。以上のようなことを勘案して、今回、経済産業省より「中小企業振興」として、叙勲に至ったようです。奇しくも丁度三〇年前、昭和六十三年秋の叙勲で亡父も同じ勲章を受章しており、同一私企業で親子二代叙勲は珍しいと言われました。

高校時代は一年から部活の軟式テニス（現在はソフトテニス）に熱中し、勉強はそこそこでしたが、幸い浪人せず早稲田大学に入学でき、ほんとにか元

気で、大病することもなく馬齢を重ねて七十七年間を過ごしてきました。人生一〇〇年時代にもうひと踏ん張り出来れば良いかなと思う今日この頃です。（栄通信工業（株）代表取締役社長）

## チャレンジ

小畑 輝海

明治神宮の緑の森に接して大正六年設立の定員二〇名の女子の更生保護施設両全会有る。ここは民間が運営し、帰るべき場所のない刑務所出所者・少年院退院者等を国から委託を受けて預かり、就労支援・生活指導・教育指導・薬物等の依存症からの離脱指導などの再犯防止と社会復帰のための支援を実施している。私は、法務省退職後も更生保護施設の運営、保護司、篤志面接委員（矯正施設被收容者の相談員）等を「何とかならないか」との思いで引き受けのめりこんできた。一般の方々を知ることに余りない分野に現職時代含め通算半世紀も携わったことになる。思いどおりにいかないケースも多々ある中で途切れず情熱を燃やし続けてきたことに我ながら驚いている。「反省は一人でもできるが更生は一人ではできない、多くの人々、社会の支えが必要」といわれている。お世話し

ている寮生は、幼少期に親等から十分な愛情が受けられず、貧困等の劣悪な環境の中で社会に適応するための情操が育つ文化的な環境に恵まれなかった者、切れやすく人と協調することが苦手といった負因を持った者も多い。このため情操面からの「人間性の回復」教育が重要である。人間性にとんだ素晴らしい四〇数名の民間協力者が職員と連携して活動している。各種カウンセリングと相談・パソコン教室・習字・美容教室・合唱等の教育的、文化的活動を通じて寮生の人間性に働きかけている。一〇年来、新宿高校の数名の同級生にもパソコンの指導、クリスマス会の料理の指導、行事での手品の披露等で応援していただいている。感謝である。

現在の夢は、施設を出てから後の社会での道が十分でないので、数年前から就労・住居・ケアの出来る中間施設の設立をソーシャル・ファーム（社会的事業）として進めている。昨年、人生で初めて入院・手術を受けたが、発見が早かったので命拾いをした。天から与えられたこの貴重な時間を有効に使いたい。

（更生保護法人全両会 理事長）

## 同窓会員寄稿随筆

「プライムミニスターナカソネ」と言うバラが新宿高校にあります。

梶村 正彦（二七回）



「プライムミニスターナカソネ」と言う品種のバラがあります。昨年十一月に亡くなった中曽根康

弘元総理に由来するのは言うまでもありません。大きくて白い花が咲き、背が高く何と言ってもバラ特有のトゲがあります。このバラは育種家の石橋五夫さんと言う方が二〇〇三年に作出



し当時は「Kokoro」と命名されました。二〇〇八年に財団法人・日本ばら会の会長である中曽根康弘元総理に献上されるため「プライムミニスターナカソネ」と言う名前に変えロンヤス会談で有名な日の出山荘に植えられました。実はこのバラ、都内に四か所あります。一か所目は最初に植えられた日の出山荘。次は日比谷公園と新宿御苑そしてもう一か所が我々が母校新宿高校です。何故この「プライムミニスターナカソネ」が新宿高校にあるのでしょうか。

話しは昭和五二年に遡ります。バラの由来と話しが大きくそれますが、しばらく私の戯言にお付き合い下さい。

早稲田大学に入学した私はご縁があり中曽根事務所です生をやる事になりました。当時、三角大福中と言われ自民党内で激しい権力闘争が行われていた時代です。前年に田中角栄元総理がロッキード事件で逮捕されるといふ波乱の時代でした。その頃先生は福田赳夫内閣で総務会長をしておりました。最初、私は議員会館で後援会向けのハガキを出したり電話番号をしたりして

ました。大学三年になり先生のプライベートルームである平河町の砂防会館に移り先生の食事を運んだり書を書かれる時には墨を磨ったりしておりました。しかし何と言っても私が事務所にいた四年間で一番の思い出は昭和五年の総選挙です。

総理大臣は福田総理から大平総理に代ったものの党内の争いは益々激化していました。そんな中、五月に大平内閣に対して野党が出した不信任案に何と一部の自民党議員が本会議を欠席し不信任案が可決するというハプニングがありました。先生は反主流派ではあったのですが「野党の出した不信任案に同調する訳にはいかない。」と本会議直前に議場に戻りましたが不信任案は可決され衆議院は解散されました。総選挙は五月三十日に公示され大平総理は第一声を新宿で上げたのですがストレスによる過労と不整脈で緊急入院する事になりました。一時回復の兆しはあったのですが六月十二日、容態が急変し亡くなりました。大平総理が急死した事で次はいよいよ中曽根だとの声が上がりました。確かに三角大福中の「中」以外は皆総理になっている訳ですから順当にいけば先生の番です。

しかしそんな喧噪をよそに先生は「今は喪中である」と言って若い秘書と私の二人を連れて日の出山荘に引っ込んだのです。実は、そこで仲間を集めて総理になるための謀議をするのかと思いきや本当に付いて行ったのは私達だけで先生は昼間悠然と芝刈りをしていました。

「梶村君その枝を切ってくれ」と言われたので「先生枝より先に幹(三本)を切った方がいいのではないでしょうか」と言うと「確かに！」と大爆笑されました。そして夜は囲炉裏を囲んで管理人さんと我々が作った食事を一緒に食べました。

「この魚は美味しいね。何と言う魚だい？」

「イワシでございます」と私。

「高いのかい？」と先生。

「三匹百円でございます」と私。

「いやあ、日本人はこう言う美味しくて安くて栄養のある物を食べるべきだね」といたく感動されたのを今でも良く覚えております。まるで目黒のサンマです。

しかし翌日になると突然鈴木善幸氏の名前が急浮上して次の自民党総裁になると言う噂が飛び込んで来ました。

先生は直ぐに山を下りて行きました。その辺の状況を当時の中曽根番であった日経新聞の岡崎守恭氏が二〇一八年に上梓された「自民党秘史」(講談社現代新書)に書かれているので引用してみたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・

中曽根氏は一貫して「今は喪中である」として政局に関する発言や行動を封印した。これは中曽根氏の偽らざる姿勢であったかも知れないが、ものほしげなところをおくびにも出さない、それが同時に戦略だったとも言える。ところが中曽根氏が「喪中」と言っている間に、大平氏側近の田中六助氏が奔走し、どんどん外堀は埋まり、後継は同じ宏池会の代貸しだった鈴木善幸氏にと言う流れが加速していく。(中略)中曽根氏は何もしないうちにあれよあれよという間に政権をさらわれた。土俵にも上がらないうちの完全な不戦敗である。両院総会の会場で中曽根氏は六助氏に声をかけた。

「喪中、喪中といっているうちに六さんにやられたなあ」澄ました顔で六助氏は答えた。

「中曽根先生、遺産相続は通夜の晩にやるもんですよ」

・・・・・・・・・・・・・・・・  
「遺産相続は通夜の晩にやるもんですよ」とは凄いい言葉です。当時の政界の凄みを感じます。

そんな経験をさせて頂き私は昭和五年に就職をし、書生生活に終わりを告げました。就職をしてからも選挙、先生の誕生日など事務所との交流は続きました。そして昭和五七年十一月に先生は第七一代内閣総理大臣になりました。総理時代の話は本テーマと異なりますのでここでは割愛いたします。

さていよいよプライムミニスターカソネが移植される話です。平成二三年の六月頃、震災のあった年です。事務所から電話がありました。

「先生がプライムミニスターカソネを都心に植え替えたいからよろしく」と……。私がプライムミニスターカソネの存在を知ったのはその時が初めてでした。都内のどこにバラ園があるのか全く知らなかったのですが手っ取り早く日比谷公園からあたる事にしました。日比谷公園を管理している都庁の公園緑地部管理課に連絡を試みる事にしました。こう言った事はお役所仕事で中々に進まないものと勝手に考えていましたが担当の方が非

常に親切ですんなりと進み許可もあつさりとお出ました。そして後は日本ばら会の人達が実際の移植を引き受けてくれる事になり、その年の十二月に日比谷公園第一花壇に無事移植されました。翌年五月に見事に開花したため先生に報告に行くと「早速見に行こう！」と言う事で、数日後に一緒に見に行きました。先生は「きれいに咲いたね」と喜んでいらつしやいました。先生とバラを見ている時にそう言えば新宿高校にも朝陽バラ会があつてPTAの方も熱心に参加されていると言う話を思い出しました。

早速、朝陽バラ会の事を教えてくれた同期の宮坂雅子さんに連絡を取ると「是非進めましょう！」と言う事になり私も先生に承諾を貰い、またまた日本ばら会の方の力を借りて移植する事にいたしました。その年の十二月八日にプライムミニスターナカソネは新宿高校の花壇にやつて来ました。朝陽バラ会の方のご尽力により翌年の五月に開花いたしました。やはり同じ様に先生に報告に行くと「見に行こう！」と言う事になったのですが予定されていた日が小雨で寒くやむなく中止になりました。それならと、こちらから写真



を持って行つて見てもらおうと六月二五日に訪ねる事になりました。当日は朝陽バラ会前会長の塩田澄夫氏（平成二九年ご逝去）、事務局長の手島幹雄氏、PTAバラ会の嶋希三子さん、長谷川祐子さん、山口真里さん、朝陽同窓会の西出紀久事務局長、宮坂雅子さんの七人の方にも同行して頂きました。先生は皆がここまで大切に育ててくれた事を大変感謝されていました。途中で、私に「これは日比谷公園だっけ」と何回か尋ねられその都度私が「いや



左から西出事務局長、手島事務局長、塩田前会長、嶋希美三子さん、中曽根元総理、長谷川祐子さん、宮坂雅子さん、山口真里さん

新宿高校です」と訂正した事はお愛嬌としてありました。最後に先生が「お嬢さん方と一緒に写真を撮りましょう！」と言われ和やかなうちに報告会は終了いたしました。

そのプライムミニスターナカソネは昨年新宿高校の花壇で見事に花を咲かせました。考え方は色々あるかと思いますが中曽根康弘と言う政治家はやはり偉大な政治家であつたと思います。中曽根政権時代、日本は前向きに輝いていた時代であつたと思います。先生

は残念ながら昨年亡くなれましたが最後まで国を思う気持ちを持ち続けていらっしやいました。その意思が多少なりともこのプライムミニスターナカソネを通じて感じ取って頂ければ新宿高校に移植した事が報われます。暮れてなお 命の限り 蝉しぐれ最後に先生のお気に入りの詩を付け加えて筆を置きたいと思えます。

(株)電通



## 夜が冷たい新宿の男

―新宿徘徊

木谷 東男 (二一回)

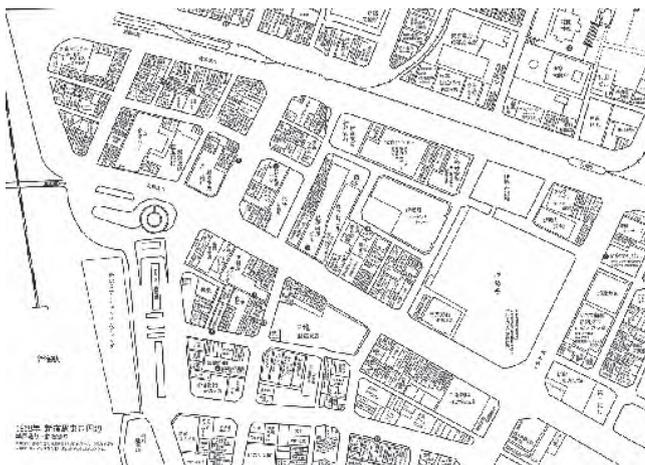


長年、書籍編集者をつとめているが、先日自ら企画編集して『新宿・渋谷・原宿 盛り場の歴史散歩』

『歩地図』(タイトルがいやに長いが)という本を刊行した。作今の「プラタモリ」ブームを当て込んだところもあるが、新宿高校出身者として新宿には大いに関心があるので、仕事は楽しかった。実は私の父親も教師として奉職していたし、姉も同校出身者である。

大学卒業後、通った出版社は原宿千駄ヶ谷、市ヶ谷とこの周辺であり、いまも四谷大木戸前に老身ながら毎日通っている。中学を出て受験でここを訪れて以来、五十年以上新宿を見てきたわけである。せっかく作った本なのにたいして売れていないので、少し宣伝をかねて新宿の地誌的な思い出などを記しておきたい。

この本は住宅地図や各種地図などを使って、新宿渋谷の明治以来の変遷をたどったもので、店名などの具体名が入っていることが特徴である。専門家にはやや物足りないところもあるかもしれないが、二、三自慢したい箇所もある。その一つは本書84〜85ページに載っている一九六八年当時の新宿駅東口前の地図である。当時の住宅地図をトレースして作った。一九六八年は私の卒業した年で、新宿騒乱事件やヒッ

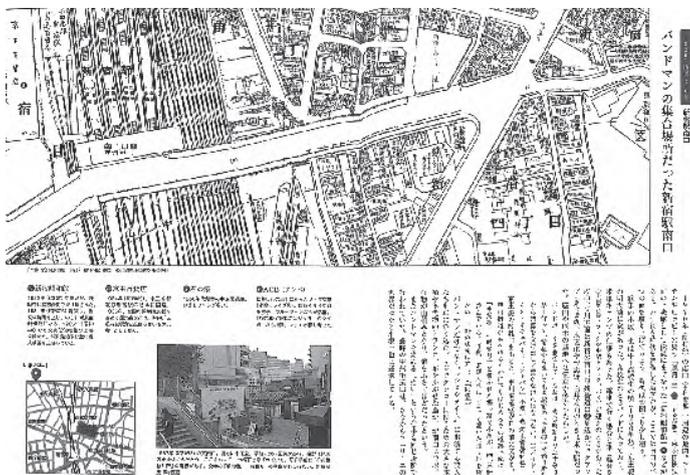


ピー・フーテンの出没やらで、最も新宿がうるさかった年である。私自身はそんな世相とは関係なく、催涙ガスの残り香をかきながら、けっこう楽しく学校に通っていたが、この時東口駅前にはどんな店が並んでいたのかがよくわかる。よく行った新宿ローヤル劇場(日本一安い映画館というふれこみで50円だった)や新東地下、シネマ新宿などの映画館、その後仕事の打ち合わせでよく使った喫茶店「しみづ」、いまでもあるがジャズバーの「CAT」

など、地図を見ると鮮明に思い出される。

この地図のもとになった住宅地図を先年の同窓会でコピーして皆に配ったが、あまり関心をひかなかったのは、私ほど誰も回顧的にはなっていないからだろうか。

もう一つは同書の81〜82ページに載っている一九七〇年当時の住宅地図である。これはトレースしていないので汚れて不鮮明な箇所もある。ただし



新宿南口から新宿高校までの町並みがここではよくわかるので、その頃の卒業生には興味深いのではないか。

餃子「石の家」、ウナギの登亭、ジャズ喫茶「ACB(アシベ)」、反対側に場外馬券売り場など、南口からの通学路はだいぶ様変わりしたとはいえ、登亭などは今でも健在である。

この地図に鮮明に残っているのは旭町のドヤ街、木賃宿の名前である。天龍寺周辺は明治末以来の貧民窟(細民街)、いわゆるスラムであり、長屋は残っていないものの、木賃宿(簡易宿泊所というらしい)が並んでいた。

高校の第二グラウンドを走らされたり、新宿御苑の回りをマラソンしたりすると、なぜこんな近くに汚い木賃宿が学校に隣接してたくさん並んでいるのかといぶかしく思ったものだが、むしろ府立六中のほうがあとから出来たので、この天龍寺裏の場所は東京でも有数のスラムだったのだ。横山源之助が『東京之下層社会』で取り上げた三大スラム、下谷万年町、芝新網町、四谷鮫が橋などが、東京の中心部にあって外国に対して見栄えが悪いということ、日清戦争後、さらに場末に引越させられてきた町が新宿南町であり、の

ちの四谷旭町(あさひちよう、と呼んでいるが角川地名辞典では、あさひまち)だ。鮫が橋スラムとの関係が深い。

新宿高校(府立六中)は大正十年(一九二一年)にできたが、ここはもともと新宿御苑の一部だった。新宿御苑は信州高遠藩内藤家の下屋敷跡であり、この周辺はまず天龍寺門前町、甲州街道と青梅街道の分岐点追分を中心とした宿場町内藤新宿があり、隣接して玉川上水が流れていた(暗渠化されている)。

内藤新宿にはご多分にもれず宿場女郎・飯盛り女がいる遊郭が併設されており、いまの新宿二丁目の裏のあたりが昔からのその手の中心地である。(成覚寺という裏の寺に女郎衆の墓がある)。その後新宿御苑のちかくにそんな場所があるのはよくないということ、立ち退きさせられたり、火事があったり空襲があったり、いろいろあったのち、またその手の店が盛んになり、昭和三十二年に売春防止法が施行されてもなお命脈を保って今日の二丁目ゲイタウンになっている。

一九六〇年代後半、私が高校生だったころでも勇を鼓してそのあたりに入り込んでみるとヌードスタジオ(どう

いう店かは不明)が並び、立ちんぼのお姉さんなどがいて、すさんだような感じが漂っていた。今、私は新宿一丁目の会社に通っているが、新宿三丁目駅や新宿御苑前駅から歩くとおしゃれな店が多く、昔日の面影はない。新宿御苑沿いの道もイタリアンレストランやカフェなどが並んでいて、あの寂しい裏通りの面影もなくなった。残っているのは画材屋の世界堂や追分団子であり、明治銃砲店や三光白衣の大看板もなくなった。

私が比較的に興味を持っているのは、終戦直後アメリカ占領時代の新宿である。尾津組や和田組のマーケットの話はよく語られるが、伊勢丹が接収されていてその中で日本の地図が刷られていた話などは堀内誠一の自伝『父の時代、私の時代』(高名なグラフィックデザイナー、私も頼んだことがある)で初めて知った。中卒で伊勢丹に小僧として入って昭和二十年代初めにそこで働いていたらしい。また新宿南口は進駐軍のキャンプに稼ぎに行くバンドマンの集合地だったらしく、朝、迎えるバスを待つジャズマンやシンガー、大道芸人が集まってフェリーニの映画のようだったと小坂一也が書いている

(『メイド・イン・オキユバイド・ジャパン』)。また昭和二十二年、帝都座で日本初のストリップショウ(額縁ショウ)がはじまっている。帝都座は伊勢丹の向かい側、のちの新宿日活で、いまはマルイのあるところである。帝都座の五階にあった帝都座五階劇場が初演である。ここはのちに日活名画座という名画座となり、和田誠さんのポスターで一世を風靡した。

後年、日活名画座でビートルズの『ヤア!ヤア!ヤア!』を高校生の私が観ていたら、ワアワアキヤアキヤア騒然としてスクリーンに突進した女子によって画面が破られるという珍事が起きた。こんなことも思い出される。

前にも述べたように父親は昭和二、三十年代、新宿高校で長年、夜学の教師をつとめていたが、夜学に通っていた学生たちの話などもよく聞かせてくれた。井沢八郎の名曲「ああ上野駅」的な戦後がそこであり、日本の貧しかった時代がかすかな記憶として思い出される。

(『新宿・渋谷・原宿 盛り場の歴史 散歩地図』は定価二二〇〇円、草思社から発売中)

(草思社顧問)

## 府立六中園芸場その後

小早川 輝夫(一八回)



ほくは杉並区立富士見ヶ丘小学校の出身である。小学校の最後に小田急の生田に引っ越して世田谷区に寄留した。それで新宿高校に入っただのである。

富士見ヶ丘の駅から井の頭線の踏切を渡り神田川まで少し下る。今の神田川のように巨大なドブではなく、川沿いの自転車屋さんが茶碗を洗ったように澄んだ小川だった。そこからかなりの坂を上り、七、八分歩くと学校だ。学校の手前にまた川があつて、これは橋は小さいが川底が遥か下にあるコバルトブルーの急流だった。川岸の両側は濃い植込みで川面は橋からしか見えな。誰が言ったか、以前不埒な作家が女と心中したらしいと子供でも知っていた。これが玉川上水で、道をはさんで向こうが母校である。

思えば当時の子供は遠出をした。学校の先まで遊びに出て、烏山にも芦花公園にも集まった。だから家に帰ると陽はどっぷりと暮れている。学校と烏

山の間に日曜学校があった。十円の献金をするとイエス様のカードがもらえる。でも献金をしなくてもじっと座っていればよかった。後で分かったことだが、英語の澤先生はその日曜学校の牧師だった。他にも数学の田地先生は、神田川のほとりにお住まいだった。ぼくはこれは偶然ではなく、かつて新宿高校の烏山演習場が北烏山にあった縁だと思う。

府立六中園芸場は府下千歳村烏山に昭和十年（一九三五年）にできた生徒の実習用の農場である。ぼくは朝陽創立七十周年記念号で初めてその存在を知った。記念号には三千坪の配置図と叩心寮の写真が掲載されている。しかしそれは広い烏山地域のどこにあったのか。生まれる前のことで何の記憶もない。多くの小学校時代にも農場があったのか。ネットで検索しても全く分からない。しかし忘れかけた記憶の底から一つのヒントが浮かび上がった。五年生の頃、小学校のすぐ近くにくきた朝顔園である。野っ原みたいなどころに急にそんな花園ができて子供たちは寄りつかなかった。しかし富士見ヶ丘の商店街をはじめバスが通ったのだ。朝顔園行きのバス、覚えてい

ないはずがない。朝顔園の所在地はネットで推理されている。世田谷区北烏山一―五八。国土地理院の航空写真で一九三六年頃の画像を見て驚いた。朝顔園こそが我が六中園芸場の後継地なのである。道の凸凹が朝陽記念号と全く重なる。そしてその場所は多くの小学校のほとんど隣といってよい。



さて新宿である。玉川上水は新宿駅の小田急線の下を凹字型の水路でくぐって、新宿高校の正門前を流れてい

たはずである。暗渠になっていたせいもあって、高校時代に一度も気づかなかった。気づかなかったと言えどもひとつ。正面の手前であった雷電神社と天龍寺である。その路地が安宿とかベッドハウスなどの悪場所だったとは分かっていった。一度その小道に葬儀の花輪があふればかりに並んでいたから、自分たちはやくざの親分が亡くなったのかと思ったが、それ以上興味がなかった。

ぼくたち高齢者にとってもう新宿は自分たちの街ではない。ただ過去に向かって歴史を知ると、街はもう一度自分たちのものになる。登亭のうなぎ、ACBの人だかり、追分を走っていた京王線の線路、先生たちが溜まっていたポロン亭、その先の喫茶店青蛾。純情な十五才に少しづつ悪の華を教えた学校である。第二校庭から堀越しに真っ赤な下着が干してある。そればパンティだと誰かが告げる。ボールを投げ込んで確かめに行こう。玉川上水が我が小学校の脇を流れ、淀橋浄水場から地下に潜ったことが何か象徴的に思える。

（学習塾数学教師）

朝陽USA支部だより 第六回

令和初の朝陽USA総会・同窓会は、令和二年二月十五日に常夏のサンディエゴで開催されました二年ごと場所を変えての同窓会も、全米を一周して（ロス、ラスベガス、サンフランシスコ、シカゴ、ニューヨーク）、再びカリフォルニアに戻ってきました。

サンディエゴのダウンタウン近くのパーティ会場には、アメリカ各地から総勢十名が集まり、食事はフィッシュマーケットで買った、新鮮な生牡蠣やウニ、お刺身、そしてメインの海鮮鍋を存分に楽しみました。歓談、自己紹介、それから今回の総会では、サンディエゴ在住の保科さん（27）によるプレゼンテーション「米墨国境貿易とメキシコ国境都市の有効利用」と続きました。中南米の歴史的背景、政策や政治を踏まえたビジネスのお話は、とても興味深いものでした。二次会は近くの居酒屋で、日本の雰囲気を楽しみながら、尽きない話に花を咲かせました。

二日目は、同窓会オプショナル



アールとして、サンディエゴから国境を超え、メキシコ、ティファナへの旅が実現しました。サンディエゴ在住保科さんのガイドのもと、大人の修学旅行と呈して、総勢九名で、ティファナ観光と、プエルト・ヌエボという海沿いの町で、豪華なロブスターランチに舌鼓を打ちました。

新宿から遠く離れた異国の地で、こうして同窓会が開催されるのも、新宿高校生の行動力、好奇心、探究心、そして柔軟な発想がベースになっているのではないのでしょうか。世代も環境も異なる同士が、同窓生という絆で結ばれるのも何かの縁だと思っています。改めて、新宿高校生で良かったと感じる貴重な週末でした。

二年後の二〇二二年第七回総会・同窓会はロサンゼルスです。新宿高校百周年記念の年でもあります。まだお会いしていない同窓生の皆様にもお会いできることを楽しみにしております。

（在ニューヨーク 寺尾裕子 四四回）



## 北海道朝陽会支部便り

令和元年七月六日一七時から札幌グランドホテル十七階「層雲」で二〇一九年度北海道朝陽会が開催されました。関東の梅雨空とは異なり綺麗な晴天の下、最年長の小島さん、外川さん(4)から最年少の川橋さん、佐藤さん、白戸さん(38)まで1/3世紀に渡る十六名が集いました。

今日になって突然に言われたという永瀬さん(27)の司会で会は始まり、年功序列で学年の順に近況を伺いました。そして小島さんと外川さんとお話頂いたのに続いて外川さんの御発声で乾杯が行われました。その乾杯を挟んで石原さん(9)から順に近況をお話頂きました。

皆、お話しになりたいことが沢山お有りの様で最低でも五分はお話しにしましたので、曾根さん(28)のお話を伺ったところで休憩を挟み、しばらくの歓談の後に池田さん(30)から再び近況報告が始まりました。そして今回の幹事をされた江本さん(31)の後に小野(34)より自己紹介を行いました。続けて母校と同窓会との近況をお話しました。

その後で三八回のお三方に近況をお話し頂き、それが終わった時には既に外は暗くなっていました。そして再び歓談に移行し、食事も終わりとなったところで恒例ということで録音の伴奏に合わせて全員で六中健児の歌を一番から四番まで通して合唱し、記念写真



を撮影して一次会はお開きとなりました。

その後、四回生のお二方はお帰りになりましたが、石原さん(9)を筆頭に十四名で札幌の町を少し南下して曾根さんのお店へと移動し、二次会となりました。食事は済ませていたので、こちらでは殆ど飲み物のみで再び歓談を楽しみました。気づいたら一次会の開始から既に五時間半ほどが過ぎており、二次会の始まりから二時間ほどが経過したところで名残は尽きぬながらも散会となりました。

(副会長 三四回 小野 瑞城)

### 宮城朝陽会支部便り

― 米本新会長が就任! ―

当会は、宮城県内に在住する府立六中・都立新宿高校出身者の集いであり、実業界をすでに卒業されたOBのほか、現役社会人や学生からも広く参加を募り、活動しています。年代を問わない交流とアットホームな雰囲気が創立以来のDNAとして引き継がれています。昨年は九月二一日、十名が参集し、和気藹々と愉しく懇親会を開催しました(於・ホテル法華クラブ仙台)。

今回をもって、会長が10田上八朗さ



んから20米本行範さんにバトンタッチ。米本新会長より、全力を傾注して当会を一層盛り立てていく旨の決意が述べられ、満場の拍手をもって迎えられました。

本部からは、寺澤事務局長が駆けつけて下さり、母校での現役後輩諸氏の奮闘振りや新宿界限の変遷など、貴重な情報をプレゼン下さいました。

これは東京を離れ生活する我々にとり、毎年恒例の人気コーナーであり、後輩諸氏の元気な様子を拝聴し、一同、新たな勇気が湧いて参りました。

また、転勤で宮城県を離れてもなお会員に名を連ねて下さり、会を支えて下さる方が多数いらっしゃるのも当会の特徴の一つです。今回も、いわき市から39吉田元さんご参加下さいました。毎年本当にありがとうございます。当会にとって大切な応援団、誠に心強い限りです！

会員諸氏から近況やご活躍ぶりの報告がなされた後、シメは恒例の「六中健児の歌」。吉田元さんの名指揮のもと、全員で高歌放吟。「また元気に頑張ろう！」とお互いの肩を叩き合い散会いたしました。

今回も嬉しいことに、昨年に引続き、学生会員として東北大学大学院66太田明海さんご参加下さいました。諸先輩方と世代を超えたエールの交歓が夜更けまでなされていきました。

このように学生会員を大切にすることも当会の伝統です。在仙大学にご入学の方のお越しも心よりお待ちいたしております！ (三八回 小田島 肇)

群馬朝陽会 支部だより  
 昨年は休会でしたが  
 今年二〇二〇は総会の年です

令和元年の群馬朝陽会の総会は隔年開催と致しております関係で、休会とさせていただきますました。今年令和二年(二〇二〇年)は一月に総会を開催いたしました。計画に入っているとありますが、詳細につきましては、九月ごろ案内状を発送させていただきます。

群馬朝陽会では群馬に関係のある方の参加をお願いしたく考えております。群馬と銘打っておりますが、北関東また長野県、新潟県の方の参加も歓迎いたします。

総会開催は高崎駅周辺を予定しております。地方都市の利点で駅近辺に会場を設定することが可能ですので、ご参加いただければと思っております。興味のある方は左記世話人までご連絡ください。

世話人 浅原 寛人(二五回)  
 連絡先 メールアドレス  
 Kanto107@jcom.home.ne.jp

## 第十七回多摩朝陽会 総会

恒例の多摩朝陽会第十七回総会は、二〇一九年七月六日（土）に、京王プラザホテル多摩にて今回もにぎやかに開催されました。一年に一回ではありますが、懐かしいお顔が受付に現れ始めますと、なんとも和やかな雰囲気広がっていきます。定刻の十八時三十分には二十名のご参加者のほぼ全員がお揃いになり、開会となりました。

この会では、食べ物やビュッフェスタイルとしており、お品物をお取りいただいた後、好きな円卓で自由にご自由に語り寛いでいただく方式をとっております。メニューにつきましても、前年のメニューの掛け具合などを参考に、皆さんによく召し上げていただけるものをホテルにお願いしています。更にドリンクですが、従来は入れていなかった美味しい日本酒を今回は導入してみたところ、皆さんのピッチが速い（笑）。日本酒だけ早々に無くなってしまいました。

既に何度も足を運んでくださっている方々がいらっしゃる一方、今回初めてご参加をいただいた方も四名いらっしゃいました。その方々には、それぞ

れから短い自己紹介をいただきましたが、そこで改めて新宿高校の多士済々



ぶりを感しました。

旧師岩波裕治先生の乾杯から始まり朝陽同窓会寺澤事務局長からのご挨拶、写真撮影、そして健児の歌の斉唱に次いで、朝陽同窓会の垂水前会長によるお開きの言葉まで、約二時間半はとても楽しくあつという間でした。

次回第十八回多摩朝陽会総会は、オリンピックの直前、二〇二〇年七月十一日（土）に開催予定です。どうぞ皆さん、奮ってご参加ください。お待ちしております。（三三三回 大内）

## 東海朝陽会便り

二〇一九年四月六日（土）名古屋マリオットアソシアホテル五一階レストランで三年ぶりの東海朝陽会を開催した。

新十二回卒の小宮山亭（写真前列右端）さんの紹介で東海地区では噂の上級レストラン一室を借り切ったの「ランチ同窓会」となった。

東京朝陽会事務局の西出紀久（15）さんが駆けつけて、最近の母校新宿高校の現状をスライドで紹介。出席者十三名が各々たっぷり時間をとってそれぞれユニークな自己紹介。最長老は六中二十回卒の野々田博（前列左から三



番目)さん。最も若い佐野(後列右端)さんは最近商事会社から名古屋大学に異動となった方か：申し訳ないが手元に記録がなくちゃんとした氏名、卒業年など記せなくごめんなさい。

あっちこっちでグループや○○会が開催しにくくなっている現状は東海朝陽会においても明確になっている。今

回は百通ほど案内通知して返信があったのが五六通。その内出席が十二名であった。欠席者の返信の近況報告に亡くなられた方が三名、「今後連絡不要」が二名、腰痛、リハビリなどで、外出不可といった今日の社会世相を実感する。そうした現実をふまえ、野田さん他数名の方から具体的な今後の活性化に向けての提案もあり、次回開催に望みを託して、二次会に繋がったのはよかった。(新十五回 古川秀昭)

東海朝陽会連絡先

小宮山亨(12)

080 5107 3896

古川秀昭(15)

090 2136 0947

山川悦子(20)

090 2342 1377

関西支部便り

令和元年度総会(同窓会)報告

関西朝陽会総会は令和元年十一月二十四日(日)十二時三十分～十四時三十分迄の二時間、大阪ガーデンパレス「楓」で開催された。参加会員は十七名、

本部から西出幹事長代行(15)が出席されました。会は岡田華織氏(53)の司会で進行。渡辺信久支部長(34)

の挨拶、吉田努氏(4)の音頭による乾杯でスタート。歓談をはさんで、西出幹事長代行(当時)より母校の近況について、配布資料も使いながらご紹介していただきました。その後数名に



よるフリースピーチをはさみ、全員で校歌を斉唱し、世話人代表である青柳司氏（6）による閉会の挨拶、最後に集合写真を撮影して散会しました。次年度（令和二年度）についても現在のところ十一月中下旬の日曜日開催を予定しております。決定しましたら朝陽同窓会のホームページにてお知らせいたします。（四四回 西島健太郎）



九州朝陽会総会

令和元年十一月十日、例年と同じ天神・福新楼にて開催されました。出席者は石井会長はじめ、同窓会事務局長の寺澤氏を迎え、総勢二十名。安武氏の司会のもと、石井会長の挨拶で始まり、お話は、長崎新幹線の経路を、すでに飽和状態にある福岡空港に加え、佐賀空港を利用しやすくできるような変更する案にもおよびました。寺澤氏からは母校や同窓会の現況について、また、長年、太宰府で活動されている島松氏には新元号にまつわる歴史についてお話しいただきました。



写真の五月一日、約千五百名で描かれた「令和」の文字です。（朝日新聞デジタル版より）  
 最年長の小代氏（中21）の乾杯の発声に続き、美酒、美味に舌鼓を打ちつ



つ、楽しい歓談の時は限りなく…。その間には、恒例となった野中氏、野上氏のフルート演奏、芝原夫人の美声、八十の手習いという豊田氏のギター演奏、小代氏のシャンソン、ト리는小林幹事長（九州交響楽団）のオーボエ演奏と続きます。最後に、朝陽水泳会のお三方からは、台風被害甚大な館山寮再建のための寄付の呼びかけがありました。



岡本氏による閉会の辞まで、あつという間の四時間でした。母校愛、日々への愛、そして、線路は続くよどこまでも いつまでも。



出張、ご旅行の皆さまも大歓迎です。次回の参加を楽しみにしつつ

（域外会員 二五回 小山 春美）

## サークル活動・同期会便り

### 六新会（二回生）米寿祝いで幕引

本年（令和元年）は会員の大半の方が、数え年で米寿を迎えたお目出度い年です。また母校卒業七十周年という節目の年でもあります、そこで事前に幹事諸兄とご相談し、この第一九回を花道として有終の美を飾ることを決めて頂きました。

七月下旬会員七四名（前回八八名）に案内状を送付した結果、九月二八日当日の出席は二四名（前回二七名）幕引きの会ということで五年以上出でない方が数名参加されたにもかかわらず参加者の減少は高齢化という自然の摂理でやむを得ないと感じた次第です。当日配布の資料についてですが、

①六新会住所録最新版故者のスペースが増えましたが逝去の日も記載されて、故人を偲ぶ手がかりとなります。

②六新会会員の近況返信の数量減少で生じた余白を利用し、過去の記念写真三葉と六新会三四年の歩みを掲載しました。

代表幹事挨拶のなかで、本会終了後、

六新会に約十萬円の繰越剰余金が残る見込みですが全額母校の「百周年記念募金」に寄付すること提案し全員の拍手で承認を頂きました。

食事の内容ですが、従来はフリードリンク付きのランチコースでしたが、

六新会34年の歩み

回	開催日	記念等	旧師ご招待	会場	参加	会費@
1	1985/11/16	夕	6名	小田急豪華	105	12000
2	1988/11/5	夕	4名	京王プラザH	84	15000
3	1991/9/28	夕 還暦	3名	京王プラザH	102	15000
4	1995/3/18	夕 入学50周年	4名	京王プラザH	84	16000
5	1998/9/12	夕	7名	小田急センチュリH	74	15000
6	2001/10/13	夕	3名	小田急センチュリH	64	12000
7	2004/9/25	夕	3名	小田急センチュリH	61	10000
8	2007/9/22	夕		喜寿小田急センチュリH	55	8000
9	2009/7/4	昼 卒業60周年		厚生年金ホール	44	8000
10	2010/9/18	昼 傘寿		新宿中村屋	55	8000
11	2011/9/17	昼		新宿中村屋	48	7000
12	2012/10/6	昼		新宿プリンスH	45	7000
13	2013/9/28	昼		新宿プリンスH	35	6000
14	2014/9/27	昼 入学70周		年新宿プリンスH	39	6000
15	2015/9/26	昼 六新会発足30周		年新宿プリンスH	40	6000
16	2016/9/24	昼		新宿プリンスH	28	6000
17	2017/9/30	昼		新宿中村屋	28	6000
18	2018/9/29	昼		新宿中村屋	27	5000
19	2019/9/28	昼 米寿・卒業70周年		新宿中村屋	24	5000

今回お酒は乾杯用ビール一人一本とどめ、かわりに米寿祝いの新宿中村屋名物の月餅のお土産を用意してもらいました。

今回も前回同様、全員参加の三分スピーチに挑戦、皆さんのご協力が無事達成することができました。

それでは六新会の皆さん、長い間のお付き合い有難うございました。朝陽同窓会の行事などで再会の機会があるかもしれないですが、それぞれの余生を願わくは平穩にお過ごし下さい。

当日配布資料の一つ「六新会三十四年の歩み」を上掲いたします。私共の後に続く年次の幹事さんの参考になれば幸いです。

（代表幹事 加藤 善三郎・宇野正二）



### 六回生、六十五周年に集う

私たちはサンフランシスコ講和条約が発効して日本が主権を回復した年の二年後の一九五四年に卒業したので、今年一九九九年は六十五周年です。大方の同期生が八十四歳。

秋晴れの九月二十六日に、いつものクルーズクルーズ新宿に四〇人が集まりました。女性は八人。二年前の八十二歳記念の会は約六十人で、傘寿記念が約八十人。どういうわけでしょうか、一年に一〇人の割合で出席者数が減っています。加齢による体力の衰えは、やはり避けられないですね。世話焼き十人組も今回は七人での対応です。二年ぶりに顔を合わせたクラスメイト達は、互いに久闊を叙し、そしてオシャベリの花を咲かせました。

仲間たちの歓談の腰を折らないようにとの配慮から、今回は開会の辞、乾杯だけ。閉会の時までは、誰かが演壇で語る行事は一寸無し。校歌斉唱の野暮も無く只管談話の二時間半でした。閉会の後は、世話焼き編集の最新の同期生名簿を手にして散会しました。

今後の同期会の机上の予定は次のとおりです。

二一年 卒業六十七周年記念

二三年 米寿記念

二四年 卒業七十周年記念

二五年 卒寿記念

白寿記念までを考えましたが、神を恐れぬ所業との誹りを受けかねず、公

表は控えることにしました。

世話焼き十人組も九人となり、さらに仲間内で体調不良の気味もあるので、今回は最後ということもあり得ます。東京五輪を前にして娑婆が騒然としている中ですが、世話焼き一同で近く談合して進退を決めたいと思っています。同期の皆さん、どうかご理解願います。上げます。

高校六回生世話焼き九人組  
(文責 山岸 哲男)



### 八回生同期会（新八会）の懇親会

我々、昭和三十一年（一九五六年）卒の八回生は卒業六十年の同期会、傘寿記念の同期会を終え、次は米寿記念の同期会（二〇二六年）と決めています。それでは長すぎるという事で、その後、毎年ミニ同期会のような集まり（懇親会）を開催する事にしました。（毎年

一二月の第一木曜日）

今回も二〇一九年十二月五日（木）

十二時からクルーズクルーズ新宿で開催しました。前回メンバーに前回、

前々回の同期会に出席した方を加えて一一〇名の方にご案内し、四一名の方が出席しました。

会の始めは遠方から参加の森本英樹さんに乾杯の音頭を取ってもらいました。しばしの歓談の後、幹事から同窓会と母校の状況（百周年記念行事、館山寮の被害状況等）を報告しました。特に、台風十五号の影響で館山寮が甚大な被害を受けたことを伝え、募金へのご協力をお願いしました。また、話題提供として以前に「朝陽」に投稿した「卒業五十年および卒業六十年の特集記事」をコピーして回し読みしてもらいました。最後に、一人三十秒（で終わらなかつたが）での近況報告等をしてもらった後、一四時三十分過ぎに閉会としました。

ご出席の皆さんから「有意義で楽しかった」と言う声もあった一方で「人数の割に会場が狭く移動し難かったので、充分に懇親を深める事が出来なかつた」と言う声もありました。次回

は改善する積りです。

今回の懇親会は二〇二〇年一二月三日（木）一二時からクルーズクルーズ

新宿で開催する予定です。夏過ぎに、これまでの同期会に出席された方お

びメールアドレスをお持ちの方にご案内する予定です。皆さんのご出席をお待ちしております。

また、新八会の現状は次の通りです。卒業生四三二名中、消息が分かっている人…二四八名（五七・四％）、亡くなった人…二二六名（二九・二％）、消息不明の人…五八名（一三・四％）。また、消息が分かっている人のうちメールで連絡が出来る人…一三八名（五五・六％）。

（代表幹事 小林 暁生）



### 十回生「新樹会」の集い

私共、十回生は昭和三三年に卒業致しました。「新樹会」の名は、二十余年前、還暦を前にした当時の故中山幹事長以下が、会名、会歌、会旗を作り上げたもので、当校に隣接した新宿御苑の豊かな緑を象徴した会名であると、全会員が賛同し、且つ、会歌「春秋の歌」も同期興津誠氏による作詞と、田端（足立）和子氏作曲のもので、今尚、当会開催時には常に歌い込まれています。

さて、新元号「令和」元年十日目に

当たる五月十日（金）、新宿西口近くのホテル、ハイアットリージェンシー東京二七階の宴会場で、当会総会が開催されました。今回は九一名のご参加で、前回は百五名でしたので、幾分減少気味ではありますが、全員傘寿を前にした年齢でもありますので、出席率は良かったと考えております。

今回からは、前回、前々回から懸案となっていました八クラスから二名の幹事に出て頂き運営を進める方式から、クラスに拘ることなく任意に可能な方々に世話人となって頂き臨機応変に対応していく方式に切り替えました。更に、今迄の二年に一回開催の原則を、お互い元気なうちに会う機会は増やしておこうとのことで、一年毎の開催を決めました。

総会次第は、この一年間にお亡くなりになった九名の追悼に次いで、世話人紹介、藤岡代表から開会挨拶があり、朝陽同窓会十回生代表幹事大高氏の当校名上昇中、女子生徒の活発な動き等の現状報告の後、名古屋から参加の太田氏（E組）の乾杯御発声で、歓談に入りました。年齢も考慮して全員着席、配膳型とゆつくりと語り合える様

にしました。

その間、一年、二年、三年の頃の同級生との会話に加え、お互いの近況報告、健康、病、家族、趣味等々、右に左に話題は飛び回り、あっという間に時間となりました。

恒例の校歌と「新樹会」会歌を、興津氏指導の下で斉唱し、中島（公）氏の手締めでお開きとなり、その後、三々五々、ビアホールやカラオケでの二次会に参加されたと聞いております。令和二年度も、五月十一日（月）十二時から十四時半まで、時間を延長して同じ会場で開催を予定しております。皆様の出席をお待ちしております。

（世話人代表 藤岡庄衛）

### 傘寿の新樹会女子会

八十歳女性の団体つてすごい、とメールをいただいた。女子会を終えての感想だ。

晩秋の十一月八日、新宿中村屋で十期生（新樹会）女子会を開いた。隔年開催だったのを、会える時に会ったとき



ましよう、毎年開くようになってからも十年になる。

今回は、二十四人が参加した。

近頃、古き良き時代とノスタルジックに語られることの多い昭和三十年代、その最初の年に私たちは新宿高校に入学した。学生時代に六十年安保闘争を体験し、社会人となってからは日本経済の高度成長を担った世代である。

起伏のある社会を生きてきたせいか、おつとりと、物事に動じずやりぬいていく気質に富んでいるように感じられる。

大学教員、研究者、実業家、開業医など、現役で活躍しているメンバーも少なくないし、多様な分野のボランティア活動に勤しんでいる人は多い。絵画に音楽、焼き物、書と多彩な趣味に取り組んで、成果を見せてくれるのも嬉しい。

そして、毎日七千歩歩いていますが、週三回太極拳で汗を流しています、富士山に登ってきましたなど、元気でスポーツに励んでいる人は枚挙にいとまがない。

この一年間は女子十期生の一人も欠けることなく過ごせた。

そんなハツラツ八十歳の女性が集

まっつの会合である。当日がお誕生日にあたるNさんの乾杯の音頭で始まった会は、にぎやかにはなやいで、高校時代のさまざまなお出や、今だから暴露してしまおうとばかりの恩師のエピソードが語られ、笑いが絶えない。久しぶりにお見えになったお一人がシャンソンを披露してくれた。

おたがい元気を送りあい、いただきあいのひとときである。

八十歳代も九十歳代もこの会を続けましょうの声もあちこちから出る。

お土産に傘寿をお祝いして、紅白の最中が配られた。古希の時も紅白の饅頭が用意されたこともあわせて考えると、さて卒寿の紅白饅頭の手配もすることになるのかしら。向こう三年間は、毎年十一月に集うことが決められた。

(十回 坂梨 成子)

#### 第四十回「ミニいちご会」開催

我々十五回生同期会は語呂合わせから「いちご会」と称している。その「いちご会」が初めて開催されたのは、卒業二五年を迎えた昭和六三年。当時母校数学教師を務めていたF組秋山君を中心とする幹事団の尽力で、一五〇名が参集して同期会の発足を祝った。その後回を重ねて第十一回「いちご会」は平成三十年に開催された卒業五五年。古稀を超えてなお元気な一〇〇名が再会を楽しんだ。

節目節目に行う上記「総会」に、年数回四十〜五十名ほどが集う「ミニいちご会」が加わったのは、全員が六十歳に達した平成十七年。「ミニいちご会」では、飲んで歓談するだけでなく、才能豊かな同期友人の知的好奇心に満ちた話に耳を傾けた後、舌鼓を打ちながらの歓談で有益な半日を楽しむ会となっている。

この「ミニいちご会」の記念すべき第四十回は本年二月八日。H組松井利忠君が会社生活終了後に学び、深く傾倒している「インド哲学とブツダの教え」をテーマに講演し、多くの友人の共感を呼んだ。



紫綬褒章受章者三名を生むと言う、長い新宿高校の歴史でも稀有な世代である十五回生は、母校思い、同期思いの多くの有能な友人を持つ幸運を余すところなく享受してきたが、後期高齢者になったこれからもまだまだ、我々の人生に潤いを与えてくれるに違いない。

同窓会会費納入率、百周年記念募金人数ともトップを維持しているのも、同窓会長を務めた青柳、垂水両君に報いる気持ちは勿論、「いちご会」行事等を通じて同期の絆が強いことが背景であろう。

(西出記)



### 卒業四五周年同期会 (二六回生)

令和元年十月二六日(土) に二六回

生四五周年同期会を開催。会場は一年生の時に合唱コンクールの会場だった日本青年館。二〇一七年に三代目として開館したばかりのきれいな宴会場に前回四十周年の一二五名を大幅に上回る一四五名の盛大な集いとなりました。

司会は今回初登場の今泉君(G)とお馴染みの三矢さん(D)。代表幹事金杉(H)の、台風十五号による館山寮の被害報告と同窓会百周年記念募金のお願いなどの挨拶のあと、物故者(同期生十八名・恩師三十名)への黙とうをささげました。今回は恩師の方々をお招きしませんでしたので、代わりに代表幹事岩本君(B)の音頭で乾杯し、歓談開始。初めて同期会に参加する同期生も数人いて、大いに旧交を温めました。歓談の半ばには、あの懐かしの業間体操を朝陽同窓会制作の動画を見ながらどうにかやり遂げ、還暦を過ぎた体にはちょっときつくて息ゼイゼイ。今回のメイン・イベントは、前回好評だった「思い出のミニライブ」改め、「みんなの歌合唱」。今回も前回同様、小室君(D)森嶋君(E)、大原



君(F)、内山君(H)の生バンドで、「なごり雪」「学生街の喫茶店」など五曲を全員で熱唱!! 引き続き、六中健児と校歌斉唱。最後は代表幹事の横内(高山)さん(D)の「五十周年同期会乞うご期待」という締め言葉で閉会となりました。

ただき、収支トントンとなりました。今までの余剰金が十八万円ほどありますので、クラス幹事全員の賛同により、三月五日に朝陽同窓会の館山寮再建募金へ十五万円を寄付させていただきましたことをご報告させていただきます。

(代表幹事 金杉 一朗)

### 十七回 同期会



いつもの飲み会なら参加したくないと女子幹事が一斉に宣言。何か違う会に! また皆で新宿御苑に行ってみていね! 穴から第三グラウンドに入ったね。思い出が次々とわいてきました。

しかし御苑は禁酒。同期会で酒なめられない! との女子幹事の声にプッチーニのオペラ「ラ・ボエーム」のボヘミアンの様に自由な発想で行こうと決めて一時から新宿御苑散策。二時から大木戸門近くの一軒家イタリアン カフェ・ラ・ボエームでの開催を決定。(映画のモデルになったレストランで、今でも「君の名は」詣での方々の聖地とか)。

多くの同期の方々に良い時間を過ごして頂ければと、半年前の事前メール、葉書の正式案内とメール併用、リマインダー、十七回のメールリングリスト、朝陽同窓会HP、各クラブのOB会等十七回生への連絡の他、専用ホームページを開設、新宿御苑と散策コースやラ・ボエームの紹介、等々。

五月十六日 同期会当日 好天に恵まれ、一人二人と懐かしい顔が新宿御苑の新宿門に向かってくる。吉藤正道、原田(塚本)あや子、村越文理、芳賀元、小幡博、他が受付でお出迎え。

新緑がとてもさわやかでした。雪の日も晴れの日もコース設定に通った福田(井上)由子リーダーと、新宿が地元で詳しい阿比留(吉岡)みどりさん、鶴木(桜内)篤子さんのガイドで五月の花々とバラ、プラタナス並木と大温室コース、花木と巨木、新宿高校から通った穴はどこコースを散策。泰山木、大銀杏、鈴かけの木、ヒマラヤ杉、メタセコイヤの巨木や呼吸根の落羽松も健在。ゆりのきが甘い花を咲かせ、バラ園も花盛り。大木戸門を出てすぐのカフェ・ラ・ボエームで直行組と合流。



七十六名（内女子二十三名）が六十年代のBGMの中、早速ウエルカムドリソング。司会の山越博君のスケジュール説明。亀岡康雄の開会挨拶、六声会の乾杯の歌+阿比留みどりさんの発声で乾杯。一年次の組でテーブルを囲みパーティ開始。岡部（玉野井）佳代さん撮影の御苑散策ビデオを即上映。しばし歓談後、松島（氏家）真美、目加田康雄、嶋田（廣瀬）恵子、田中俊郎、長澤（志岐）ちづ、岡良樹、小西克彦 各氏の一分スピーチは七十余年の人生の一端に感じ入る時間でした。

六声会（石坂廬、渡邊莊逸、柏木真一）各氏のアカペラで「いざ起て戦人よ、遙かな友へ」と校歌一番がホールに響き渡り、続いて校歌斉唱。HPとメール担当の岡部佳代さんの次回D組幹事の紹介と閉会挨拶。多くの方々の明るい笑顔で散会。

写真担当の綿谷由純君、高野尚志君他、ご協力・ご支援頂いた田中会長他朝陽同窓会事務局の方々、大変有難うございました。

その後、岡部さんと綿谷君のご尽力で新HPを開設。ご参照ください。

<https://shin17.sakurane.jp>

（C）組幹事長 亀岡 康雄

## 二二回生卒業五十周年同期会

二一回生の卒業五十年記念同期会は令和元年六月二二日（土）午後三時から「クルーズクルーズ新宿」で開催された。参集した同期生は一二三名、恩師の北地節夫先生、岩波裕治先生、幸田（水野）操先生、そして朝陽同窓会田中俊郎会長（17回）にもご出席頂いた。

前年十月から幹事団が四回の会合を持ち諸々打ち合わせて準備を進めて行った。幹事が熱心に各組の名簿を充実させてくれたお陰で、遠くはアメリカからの参加もあり、賑やかな会となった。また、卒業五十年に際して同窓会会報に各組一名にご寄稿頂き、同窓会総会では小池洋次氏に記念講演をして頂いた。この場をお借りして各位に深く感謝申し上げます。

会は芝山仁氏が名司会者ぶりを発揮、素面の内に次期幹事の選出を提案、決まったクラスから写真撮影、乾杯、来賓挨拶、歓談と和やかに進化した。多士済々の二二回は多くのエンターテナーを擁するが、まずは浅田啓子氏のソプラノ独唱「アベマリア」で鬼籍に入られた先生方と四十余名の仲間達を



偲び、彼女オリジナルの新宿高校バージョン「この道」に耳を傾けた。続いて3日有志合唱団の「民衆の歌」「エーデルワイス」、中村勉氏のピアノと共に本村真澄氏が「ほほにかかる涙」、

竹内元一氏が「栄光の架け橋」を熱唱、彼らのリードで「六中健児の歌」を全員で合唱して名残惜しいがお開きとなった。新宿名物の抽選会もあり、また会場には三輪猛氏作の木のおもちやが展示されて目を楽しませてくれた。学生運動真つ盛りの時代のあの緊迫感漂う卒業式から五十年、十年毎に、プレ還暦同期会からは五年毎に同期会を重ねて来られたのは有難いことである。皆さん、お互いに元気で、五年後にまた会いましょう。

(幹事 花沢 紀子)



### 三一回卒業四十周年同期会

二〇一九年十一月十六日、卒業四十周年同期会を開催しました。場所は同窓会では定番のクルーズ・クルーズ新宿店。午後四時スタートという中途半端な時刻でしたが、七九名が参加、盛

会となりました。

今回の同期会はフェイスブックでの告知と口コミでの展開のみ、はがきも出さずに参加者を募ってみました。二〇二〇年には還暦を迎える同期ですから、今後とも考慮して幹事に極力負担を掛けないで運営するという試みです。参加表明も一般のサイトを活用して省力化しました。思ったより盛会となり、今後もこのやり方で開催できると感じています。

海外在住の同期の参加もあり、同期の結びつきの強さを感じました。二時間はあるという間に過ぎ、記念写真を撮って一次会は閉会となりました。

二次会は同期では定番のほどご亭三階を貸し切り三二名が参加、そのまま三次会に突入、その後もグループに分かれ、翌朝まで懇親していた強者もいたようです。

会場との交渉により出た余剰金は、繰り越しせず、館山寮の再建に向けて、同窓会に寄付しました。

今度の同期会の最新情報はフェイスブックを中心に進めていこうと思っております。「都立新宿高等学校第三二回」というプライベートグループを作っています。是非参加しておいてください。



次回の同期会はいつになるか未定ですが、還暦を過ぎても元気に騒げる体調で臨んでください。再会を楽しみにしています。

(三二回 荒木 正直)



朝陽硬式テニス部会  
第四回総会懇親会

二〇一九年十月二十日(日)東京ガス四谷クラブに於いて、朝陽硬式テニス部会第四回総会懇親会が開催されました。十五回生から七一回生まで四名の部会会員が参加し、年代を超え和気あいあいと楽しい会になりました。

二〇一六年九月に部会が発足し早四年、一七〇余名の会員の方と連絡できる状況となりました。部会の活動は、硬式テニス部への練習ボールの支給、夏合宿への飲料の差し入れ、合宿コーチとして参加する卒業生に、交通費の



援助などを行っております。

ただ、一五回生から三十回生代と合宿コーチとして参加した新卒者が会員の中心で、四十回生から六十回生代の会員がほとんどいないので、硬式テニス部出身者は、是非幹事までご一報いただければ幸いです。

(朝陽硬式テニス部会幹事

二五回 吉安 俊介)



### 第二七回東京校歌祭



第二七回東京校歌祭は、杉並公会堂大ホールにて二〇一九年十月二十七日(日)十二時二十分から行われました。

歌唱指導と伴奏は今年も母校音楽教師の小峰先生、指揮は山本俊次郎(5回)さんをお願いしました。



三曲をご披露していただきました。次回第二八回は二〇二〇年十月二十五日(日)杉並公会堂大ホールで行うことが決まっています。

(事務局)



<p><b>坪井・岡部法律事務所</b></p> <p>弁護士 坪井 昌造 (26回)</p> <p>〒107-0062 港区南青山1-10-4 南青山NKビル 4階 TEL : 03-5771-8041, FAX : 03-5771-8042 e-mail: tsuboi-lawoffice@muh.biglobe.ne.jp</p>	<p><b>やまぶき法律事務所</b></p> <p>弁護士 佐藤 貴則 (27回)</p> <p>〒101-0052 千代田区神田小川町2-1 シンコー・ミュージック・プラザ 5階イーストウイング TEL : 03-5577-6901, FAX : 03-5577-6902 e-mail : sato@yamabuki-law.jp</p>
<p>(医) 社団 赤坂まつの矯正歯科</p> <p>院長 松野 功 (27回)</p> <p>〒107-6102 港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル 2F TEL : 03-5573-8893, FAX : 03-5573-8892 <a href="http://www.ak-matsuno.com/">http://www.ak-matsuno.com/</a></p>	<p>税理士法人 アドヴァンス会計</p> <p>副代表社員税理士 松野 (平田) 淳子 (27回)</p> <p>〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-39-7F TEL : 03-5787-3255, FAX : 03-3413-6255 e-mail: j-matsuno@advance-tax.com</p>
<p><b>山本会計事務所</b></p> <p>税理士 山本 展也 (27回)</p> <p>〒150-0042 渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ508 TEL : 03-5459-3411, FAX : 03-5459-3413 e-mail: LDZ00547@nifty.com</p>	<p>いわさき眼科医院 都立新宿高等学校校医 (眼科)</p> <p>医学博士・眼科専門医 院長 岩崎 寿子 (35回)</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿3-32-5 日原ビル3F TEL : 03-5367-5455 <a href="http://www.iwasakieyeclinic.com/">http://www.iwasakieyeclinic.com/</a></p>
<p><b>島崎会計事務所</b></p> <p>公認会計士・税理士 島崎 主税 (28回)</p> <p>〒160-0023 新宿区西新宿7-1-7 A310 TEL : 03-3361-4793 e-mail: cpashima@ace.ocn.ne.jp</p>	<p><b>登坂法律事務所</b></p> <p>弁護士 登坂 真人 (29回)</p> <p>〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目2番10号 ライオンズプラザ池尻大橋706号室 TEL : 03-6712-7773, FAX : 03-6712-7774 E-mail: cxn02345@nifty.com</p>
<p><b>矢島税務会計事務所</b></p> <p>税理士 矢島 守 (34回)</p> <p>〒190-0002 東京都立川市幸町1-14-12 SHOEIビル301 TEL : 042-537-9660, FAX : 042-537-9661 e-mail : yajima115417@jcom.zaq.ne.jp</p>	<p><b>中村・木原法律事務所</b></p> <p>弁護士 中村 悦朗 (35回)</p> <p>〒160-0004 新宿区四谷1丁目10番地 第2上野ビル2階 TEL : 03-6384-1230, FAX : 03-6384-1231 e-mail: nakamura@law-nk.jp</p>

## 医療法人社団恵比寿会 淳クリニック

・内科（呼吸器内科・消化器内科・気管食道内科）  
・小児科・放射線科

理事長 院長 内藤 淳 (28回)

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西1-14-2 ツムラビル2F

TEL・FAX：03-5489-0463

<https://www.ebisukai.server-shared.com>

ジュク！ファースト！！

弁護士 木村 眞一 (16回)

〒100-0004

東京都千代田区丸の内3-4-2

新日石ビルディング9階

高橋法律事務所

電話：03-3213-5771, FAX：03-3213-5774

e-mail: s-kimura@abox3.so-net.ne.jp

## 石東 (いしづか) クリニック

精神科・心療内科 (もの忘れ外来・睡眠外来)

院長 石東 嘉和 (24回)

〒157-0067

世田谷区喜多見8-18-12 コーポ真木4階

小田急線喜多見駅徒歩30秒

TEL：03-6411-8739

e-mail: ishizukaclinic@yahoo.co.jp

<http://ishizuka-cli.byoinnavi.jp/>

百周年募金を応援しましょう

27回3年K組 (幹事クラス) 一同

3A 大槻・若菜 3B 小池・高瀬・宮坂

3C 佐藤・長 3D 熊谷・小林・菊沢

3E 内田・榊原・山本

3F 秋山・梶村\*

3G 折井・神藤・立花

3H 北島\*・後藤・平田

(全て旧姓表示 \*印は代表幹事)



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ  
感じてください。



## 京王フラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL.(03)3344-0111

<http://www.keioplaza.co.jp>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」 「西新宿駅」より徒歩5分  
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ

## 母校便り

### 学校長ご挨拶

校長 加藤 隆



今年度、引き続き校長を務めます加藤でございます。2点報告させていただきます。2点、挨拶といたしま

### 一、臨海教室について

昨年度末、今年度の臨海教室の実施を見送ることとなりました。これは昨年の館山寮の台風被害により宿泊施設を確保することが困難となったことによります。どうぞご理解ください。

この結論に至るまで、学校でも検討を重ねましたが、同窓会の皆様には代替宿泊施設について多方面への問い合わせや視察の上、ご助言をいただきました。皆様の臨海教室への思いに心を打たれました。本当にありがとうございます。来年度は昨年度同様の実施を計画してまいります。

### 二、進学指導の成果

本校では学校経営計画の中期的目標を「『進学指導特別推進校』から『進学指導重点校』へ」として、教職員一丸で進学指導の充実に努めてまいりました。

進学指導重点校の指定では3つの選定基準、①センター試験5教科7科目受験者が概ね6割以上、②同受験者中の得点率概ね8割以上の者が概ね1割以上、③難関国立大学等現役合格者数15名以上、があります。新宿高校では基準②は例年達成されており、基準①も71回生から達成されています。この度、72回生において東京大2名、一橋大7名、東工大7名が現役合格して基準③も達成し、初めて全ての選定基準を満たすことが出来ました。教育庁担当課ともこの達成状況を確認しており、今後重点校への追加指定の検討を依頼してまいります。

これも同窓会の皆様からのご寄稿や各種講師をお務めいただくなど、進路指導へのご支援あつてのものとお感じしております。

引き続き新型コロナウイルスへの感染が心配されます。会員の皆様のご健勝をお祈りしながら、現役生徒への同窓生なればこそのご支援に深く感謝申し上げます。今後ともよろしく

### 母校便り

本校の新型コロナウイルス対応

について

副校長 内海 秀一



同窓会の皆さまには、日頃より本校の教育活動にひとかたならぬご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

うございます。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府から「緊急事態宣言」が発令されました。未曾有の事態において、本校の対応についてご報告いたします。



(一) 臨時休業について

令和二年三月二日から五月三一日まで、都立学校は臨時休業となりました。この間生徒は、修了式と始業式のみ、時差通学で登校してまいりました。在校時間も必要最小時間といたしました。六月一日からは、時差、分散登校により徐々に生徒が登校を始めております。六月三日には、七五回生が登校いたしました。入学式こそ開催できませんでしたが、威風堂々のBGMに迎えられて、校長先生の講話、新入生誓いの言葉等、ビデオで実施いたしました。六月五日にはセミナー講習を実施いたしました。

(二) 教育活動について

各教科から学年団を通じて課題を定期的に発信するとともに、学習支援クラウドサービスを最大限に活用して、担任との連絡、相談体制を構築してまいります。また、YouTubeに各教科からの動画配信を行っています。さらには、ZOOMを活用して、オンラインによるホームルーム、合格速報会等を行っています。

行事については、入学式・進路講演会・遠足・運動会・中間考査・戸山

戦・球技大会・東京工業大学模擬講義・臨海教室(臨海代替行事を含む)等は中止いたしました。朝陽祭も従来通りの開催はできません。高体連主催の大会や発表会等も相次いで中止と決定され、在校生、とりわけ七三回生にとっては残念なことになってしまいました。が、次の目標へと意識を切り替えて、邁進してほしいと切に願っています。

(三) 感染防止対策について

生徒の登校に際して、毎朝の検温実施とともに、健康調査票を提出しています。校内には、アルコール除菌剤をおいてあり、密を避けるためのソーシャルディスタンス目印も廊下等にはつてあります。非接触型体温計、フェースシールド、アクリル板等を調達して、必要に応じて可能な限りの感染防止対策を行っています。今後は、東京都からサーモグラフィ等が配置される予定となっており、新しい生活に向けた準備を進めております。

最後になりますが、皆さまの安全とご健康をお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。

2019年度主な行事

始業式	4月8日(月)			
入学式(73回生)	4月9日(火)	男子141	女子177	合計318
セミナー合宿(1年次生)	4月10日(水)	国立オリンピック記念青少年総合センター		
運動会	5月7日(火)	駒沢オリンピック公園総合運動場		
戸山戦	6月6日(木)	駒沢オリンピック公園総合運動場		
臨海教室	7月27日(土)～8月7日(水)	館山		
宿泊防災訓練	9月28日(土)～9月29日(日)	73回生対象		
朝陽祭	9月7日(土)～9月8日(日)	両日で、5859名ご来場		
勉強合宿	10月1日(火)～10月3日(木)	BumB 東京スポーツ文化館		
修学旅行	1月9日(木)～1月11日(土)	沖縄本島		
合唱コンクール	12月24日(火)	杉並公会堂		
マラソン大会	1月31日(金)	昭和記念公園		
卒業式	3月17日(火)	男子152	女子165	合計317
修了式	3月25日(水)			

# 2019年度 母 校 行 事 ア ル バ ム



5月 運動会  
駒沢オリンピック公園総合運動場



4月 入学式



9月 朝陽祭



7～8月 臨海教室  
館山



1月 修学旅行  
沖縄

## 令和2年度教員異動

<p><b>【退職者】</b>                  佐藤由紀夫 (生物) 町田高校 非常勤教員                  宮田智子 (英語) 日比谷高校 非常勤教員                  春山珠衣 (英語)</p> <p><b>【転出者】</b>                  田村智恵 (国語) 武蔵野北高校                  辻井伸江 (国語) 大泉高校兼中学校                  毛利 哲 (数学) 白鷗高校兼中学校                  上松樹宏 (化学) 浅草高校                  室井裕介 (保体) 桐ヶ丘高校                  桑波田悟 (英語) 戸山高校                  井慎一郎 (英語) 墨田川高校                  仲松知子 (養護) 世田谷総合高校</p>	<p><b>【転入者】</b>                  菅原絵理 (国語) 桐ヶ丘高校                  高橋伸明 (国語) 田柄高校                  松本葉子 (数学) 駒場高校                  天海創 (生物) 城東高校                  川原井康夫 (化学) 南多摩中等                  佐藤拓 (保体) 大江戸高校                  杉山学 (英語) 小松川高校                  宇田川和弘 (英語) 戸山高校                  田中利美 (英語) 立川高校                  新妻裕樹 (英語) 城東高校                  益富てるほ (養護) 橋高校</p>
---	--

### 2020年入試 72回生・既卒生 合格状況 (2020.4.8現在 判明分)

国立大学合格状況

	合計	現役	既卒
難関国立	21	16	5
東京大	3	2	1
京都大			
東京工業大	10	7	3
一橋大	8	7	1

旧帝大等	合計	現役	既卒
北海道大	2	1	1
東北大	7	5	2
名古屋大			
大阪大	1	1	
神戸大	1		1
九州大			

国立大	合計	現役	既卒
岩手大	62	52	10
宮城教育大	1		1
山形大			
茨城大	1	1	
筑波大	7	5	2
埼玉大	1	1	
千葉大	8	8	
お茶の水女子大	2	2	
電気通信大	3	3	
東京医科歯科	2	1	1
東京外国語大	2	2	
東京海洋大	1		1
東京学芸大	6	6	
東京芸術大			
東京農工大	10	9	1
横浜国立大	11	9	2
信州大	2	1	1
山梨大	1	1	
静岡大			
金沢大			
福井大			
岐阜大			
京都教育大			
奈良女子大	1	1	
三重大			
香川大	1		1
徳島大	1	1	
九州工業大	1	1	

公立大	合計	現役	既卒
東京都立大	13	12	1
前橋工科大	11	10	1
埼玉県立大			
埼玉県立大	1	1	
横浜市立大			
都留文科大			
京都府立大			
大阪府立大			
大阪市立大			

大専校	合計	現役	既卒
防衛大専校	4	4	0
気象大専校	1	1	
国立看護大専校	3	3	

国立大等合計	111	91	20
--------	-----	----	----

私立大学合格状況

私立大 (難関)	合計	現役	既卒
早稲田大	201	139	62
慶応大	84	63	21
上智大	31	23	8
東京理科大	26	16	10
	60	37	23

私立大 (GMARCH)	合計	現役	既卒
学習院大	403	326	77
明治大	12	10	2
明治大	116	92	24
青山学院大	37	36	1
立教大	67	54	13
中央大	76	58	18
法政大	95	76	19

私立大	合計	現役	既卒
成蹊大	66	59	7
成城大	23	20	3
成城大	7	7	
武蔵大	15	13	2
明治学院大	21	19	2

私立大 (日東駒専)	合計	現役	既卒
日本大	135	116	19
東洋大	50	38	12
駒澤大	67	61	6
駒澤大	12	11	1
専修大	6	6	

私立大 (女子大)	合計	現役	既卒
跡見女子大	66	65	1
大妻女子大	1	1	
大妻女子大	3	3	
学習院女子大	4	4	
共立女子大	1	1	
胸沢女子大			
実践女子大	2	2	
昭和女子大	6	6	
女子栄養大	1	1	
聖心女子大	2	2	
津田塾大	6	6	
東京女子大	17	17	
同志社女子大	1	1	
日本女子大	22	21	1
和洋女子大			

専門学校・その他合格状況

専門学校	合計	現役	既卒
都立広尾看護専門学校	2	2	0
武蔵野調理師専門学校	1	1	
武蔵野調理師専門学校	1	1	

その他	合計	現役	既卒
航空自衛隊	1	1	0
航空自衛隊	1	1	

私立大	合計	現役	既卒
亜細亜大	243	192	51
亜細亜大	4	4	
桜美林大	2	1	1
神田外語大	0		
北里大	15	9	6
杏林大	7	5	2
工学院大	9	9	
國學院大	9	9	
国際基督教大	1	1	
国士館大	0		
埼玉医大	1		1
芝浦工大	51	39	12
順天堂大	3	3	
城西大	1	1	
昭和医大	1		1
昭和薬大	3	3	
聖路加国際大	0		
創価大	2	2	
大正大	1	1	
大東文化大	2	2	
拓殖大	0		
玉川大	8	8	
多摩美術大	0		
千葉工業大	4	4	
帝京大	3	2	1
帝京平成大	2	2	
東海大	2	2	
東海大	2		2
東京医療保健大	1	1	
東京家政大	0		
東京経済大	1	1	
東京工科大	1	1	
東京工芸大	3	3	
東京慈恵医科大	0		
東京女子医大	1		1
東京造形大	2	2	
東京電機大	6	5	1
東京都市大	7	4	3
東京農大	23	22	1
東京薬科大	3	3	
東邦大	7	5	2
日赤看護大	4	4	
日本社会事業大	0		
日本獣医生命大	1	1	
日本薬科大	1	1	
文教大	2	2	
文京学院大	1	1	
星薬科大	8	6	2
武蔵野音楽大	0		
武蔵野大	12	12	
武蔵野美大	0		
明治薬科大	1	1	
明星大	3	3	
白百大	2	2	
横浜薬科大	0		
酪農学院大	2		2
立正大	0		
関西大	0		
関西学院大	3		3
同志社大	4	1	3
立命館大	6	4	2
立命館アジア太平洋大	5		5

私立大等合計	1114	897	217
--------	------	-----	-----

## 創立百周年記念特集

全員集合！

大コンサートがはじまります！  
「ホームカミングデー」「音楽会」

朝陽合唱団であなたとハーモニ

朝陽合唱団指揮者 小峰和則

百周年記念事業の一環としてこの合唱団が結成されてから何年かを経て、多少のメンバーの入れ替わりもありましたが安定期を迎えております。毎回練習には多くのメンバーにご参加頂いております。私自身は結成時から指揮者を務めさせて頂いておりますが、ホームカミングデーに参加するのは前回に引き続き二回目です。今回は三分もの演奏枠をいただきましたが、この合唱団ではこれだけの時間を歌い続けた経験がありません。スタミナの不安がありました。何とか歌い切れてほっとしております。

日頃から合唱団の技術的・芸術的向上と、団員の皆様が本当にご満足頂けるのは本格的な合唱曲作品をきっちりやる事だと固く信じており、皆様のよくご存じの曲がレパートリーを中心に

はなりません。そのあたり総会のアトラクション等でもご批判を受けるところなのですが、御理解頂けますと幸いです。是非私たちと共に、人の声で作るハーモニを体験してみてください。あなたも必ず病み付きになることを保証いたします。



管弦楽部でも引き継がれる

大家族主義

新宿高校管弦楽部顧問 毛利哲

「五九代」「六十年代」。管弦楽部顧問の拜命直後は、部員達がこう呼び合う姿を不思議に思ったものでした。これは、作曲家の池辺晋一郎先生（十五回）が初代となって設立されたことが由来で、二〇二一年には創部六十周年を迎えます。

この長い歴史を誇る当部の先輩方をお迎えし、ホームカミングデーにて現役部員と合同で演奏する機会をいただ

きました。当日はプロ・アマオケにてご活躍中の方や、久々に楽器を手にした方など、様々な先輩方が駆けつけて下さり、管・打楽器や弦楽アンサンブル、そして七十余名の大編成による演奏を行いました。先輩方との楽しい演奏を通して、初心者が多い部員たちも将来にわたり音楽を愛し、そして伝統を引き継ぐ励みとなりました。

最後には部員の指揮で「ふるさと」「校歌」を演奏し、会場の皆様に合唱していただきました。生徒ホールを揺るがす六中健児たちの演奏と歌声で、部員たちは改めて「大家族主義」を実感したことと思います。この度の演奏にあたり、調整役をご快諾いただきました小林悦子様（三五回）をはじめ、管弦楽部の先輩方や朝陽同窓会の関係各位に厚く御礼申し上げます。今後とも管弦楽部へのご指導、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



伝統と新しい世代

新宿高校軽音楽部顧問 春山珠衣

はじめまして、新宿高等学校軽音楽

部顧問の春山と申します。昨秋ホームカミングデーにて、軽音楽部の生徒が先輩方の前で演奏する機会をいただきました。生徒は当日非常に緊張している様子で、ステージに上りました。最初の曲は、「六中健児の歌」。先輩たちと盛り上がるためにどんな曲を演奏するといいか、自分たちで一生懸命考えて持ってきた曲でした。普段は積極的によりジナル曲を演奏しているバンドであるということを知っていたからこそ、敢えて選曲については一切口出しをしませんでした。その中で、ホームカミングデーの意義を考え、先輩たちにも楽しんでいただける曲を選びつつ、自分たちの色を出すことができるようにアレンジを加えて本番に臨んだ生徒の姿を見て、生徒の成長を感じ嬉しく思いました。普段の大会やライブとは異なる、ホームカミングデーでの演奏という貴重な機会をいただけたことで、生徒のこのような成長があったとありがたく感じています。重ね重ね、本当にありがとうございます。



青春を捧げたあのクラブの  
復活を願う

青春に刻まれたラグビー

竹内光介（十五回）

昨年のラグビーW杯では日本チームの大活躍で国中が熱狂したが、私も準々決勝では高校の後輩と一緒にビール片手に熱く日本チームに声援を送った一人であった。

私とラグビーとの縁は新宿高校で始まったが、入学時にはラグビー部は存在しておらず、陸上部に入ったもののラグビーへの愛着は抑え難く、2学年になって同好の数人と図ってクラブを立ち上げた。数人とはまさしく数人で5人位だったと記憶しているが、学校非公認なので他部の白い眼を背に感じながら自腹で購入した楕円球のボールを細々とグラウンドの片隅で追いかけていた。その内に後輩も加わりクラブとしての形態はある程度整いつつあったが、それでも試合が出来る十五人には程遠く、ひたすら当てのない練習に明け暮れる日々であった。部員が増え試合が出来る日が必ずや来ると皆信じて辛い練習に耐えていたが、これはラグビーへの熱い情熱故であったと思う。

最終学年になり卒業するまでには試



夏合宿で後輩部員と共に  
(1966年新潟県苗場)

合を実現したいとの皆の強い希望もあって体格の良い山岳部と水泳部、足の速い陸上部の人数を誘い込み簡単なルー止という奇妙な指示だけで俄か部員に仕立て上げ、何とか十五人揃えて他校との試合にこぎつけた。結果は言わずもがなであったが、当日は生憎の雨で試合後に付近の銭湯で試合相手と一緒に仲良く体にこびり付いた泥を洗い落としてノーサイド精神を大いに実感した。

卒業後は度々指導に訪れて多くの後輩に巡り会え、現在も続いているその時代の仲間との定期的なゴルフと会合が楽しみの一つになっている。残念なことに廃部になって久しいが、いつの日かラグビーに情熱を持った若者達がグラウンドを駆け回る姿をもう一度見たいものである。

## 柔道部OB・OG会統合へ

椎名孝雄 (十五回)

今春発行される「朝陽六九号」百周年記念特集に柔道部を取り上げていただけるとのこと、大変有難いお話なのですが、残念ながら新宿高校にはもう柔道部はありません。廃部になってから十年以上経つようです。長年に亘りライバルだった戸山高校にも柔道部は現在無いとか。競技柔道は別にしてアマチュアの学校柔道は衰退する一方で、私のように小学校から大学まで同好会的な雰囲気です。楽しんできた者には寂しいかぎりです。

私が関わってきた十五〜十七回生の柔道部とその後のOB会については数年前の朝陽で触れましたので今回は最近の大変うれしいトピックである柔道部OB・OG会の統合について書かせていただきます。私は全く知らなかったのですが、同窓会事務局のお陰で私達より若い世代のOB会が二つあり、計三つのOB会がそれぞれ活動していることが分かりました。一番年長が私たちのグループで十五〜十七回生、二番目が主に二四〜二八回生、三番目がOGを含む主に三一〜三五回生です。更に若手の四八、四九回生のOBも二番目、三番目の会に顔を出しているよ

うです。昨年六月に開催された二四〜三一回生のOB会に十五〜十七回生の数名が招待されたことをきっかけに、夏ごろから統合OB・OG会を結成すべく準備を始めました。十五回生から四九回生までを網羅した名簿も最近作成されましたが、何と人数は九十名を超えていました。今年六月には卒業年度の差が三十年以上に亘る大OB・OG会を開催する予定です。何人の方が出席してくれるか今から楽しみにしています。また各OB会と連絡が取れないOBの方がいらしたら是非小生宛てご連絡をお願いします。



### わがクラブ、体操部の思い出

体操部OB 吉澤剛士 (三一回)

私が体操部に入るきっかけは、高校に入学して間もなく体育館の前を通った時に先輩らに声をかけられたことだったと記憶しています。私は中学生の時は陸上の短距離をやっておりましたが、器械体操は全くの未経験でした。バク転やバク宙など全くできませんで

した。でも木に登ったり、細い塀の上を歩いたりするのは好きだったので、素質はあったのかもしれない。先輩方に誘われるままに入部したのですが、同期は皆、中学生の時に体操をやっていた経験者で、バク転やバク宙などは軽々とこなしていました。その時の劣等感は今でも覚えています。何としても追いつきたい、自分も同じような技ができるようになりたいと強く思ったことを覚えております。練習は週三日、二年生、三年生の先輩方の他に、卒業され大学生だった先輩方が毎日のように指導に来て下さっていたのがとても印象的でした。今思うとどうしてそんなに先輩方には時間があつたのか不思議でなりません。その先輩方のご指導のおかげで、メキメキと力を付け、技を習得していったことを感謝しております。またご指導して頂いた体操顧問の松崎先生の存在も大きかったと思います。その当時の先生は本当におっかなかったです。先生が体育館に来るだけで、空気がピンと張りつめたように変わつたことを今でも覚えております。そして現代であつたら、間違いなくパウハラやモラハラ、アカハラで訴えられていたような厳しい練習、罵声の嵐の毎日でした。でもあれだけ酷いことをされたにも関わらず恨みは全くござ

いません。他のOB達も皆同じ気持ちだと思えます。その証拠に体操部のOB会は年に一〜二回、松崎先生を囲んで新年会や親睦会を今でも続けて行っております。もし本当に憎んでいたり恨んでいれば誰も集まらないのではと思えますが毎年大勢のOB達が集まります。皆集まると私と同じような厳しい仕打ちをされた時のことや苦しかった時、厳しかった時の思い出を楽しくその時に話し合います。今の時代はちよつとでも何か暴力的なことがあれば、直ぐに訴えられたりするご時世ですが、その人の能力を伸ばしたいという愛情のある厳しさや怒号は人を成長させるために必要なものではないでしょう。そういう意味で私は新宿高校体操部に入部して本当に良かったと感じております。あの厳しかった練習や新しい技ができるようになった時に感じた感動は一生の宝物だと思っています。



### 新研時代は青春の始まりだった

仲倉重郎（十二回）

新聞記者になろうと思っていたので、入学すると迷わず新聞研究部（新研）に入った。正門を入ると左側に朝陽会館があり、幾つかの部室があった。新研の部室は二階で外階段から上がった。同期生は、男九人、女五人。一九五七年である。「朝陽時報」というタブロイド判四頁の新聞を発行していた。第一号は一九四八年（昭和二三）の都立第六高校時代。新宿高校発行となるのは一九五〇年（昭和二五）の第一六号からである。

ぼくが部長だったのは、二年生の第七八号〜八九号。一年上に佐竹義一、佐藤礼次。二年上に高橋一修、池田泰子。一年下に大羽宏一、寺尾方孝、三宅康司。二年下に佐竹修身、山形真史。大先輩に白鳥令がいた（敬称略）。紙面をいろいろ改革した。教師の「私の学生時代」をやめ、「こんなことあんなこと」を新設、作家の佐多稲子さん、音楽評論家の吉田秀和氏等、いろんな活動をしている父兄に書いて貰った。前からの「変わり種先輩訪問」には、逆に力を入れた。

当時盛り上がったのは、フォークダンスである。有志が第一グラウンド

で昼休みにやっていた。だけど、学校側が、外から見えない所でやれとか週一回にしるとか色々いうので揉めていた。また都高連のことも紙面を賑わしていた。高校生の自主的な活動が盛んだった。

朝陽時報には広告を載せていた。主に出版社の広告だったが、なんと予備校もあった。もちろん映画も。新東地下、日活名画座、新宿セントラルなどで、映画館の広告料は招待券だったので、部員で分けて映画館に通った。だがそれが生徒会で問題になって広告の掲載は禁止になり、七九号から広告は一切なくなつた。

同期生は、女五人（高山貞子、二瓶治子、西本茜、早川凱子、松井裕子）と男五人が最後までいた。卒業間際に男たちは小説を書いて、ガリ版刷りの小説集を作った。題して「憶ひ人」。好きな人に贈ろうと、一人十部ずつ五十部印刷した。そのせいか、そろって浪人した。だが大学は無事に四年で卒業して、それぞれの道に進んだ。新聞委員長だった高橋康夫はNHKドラマ部のプロデューサー、内山晟は動物写真家、島松尚宏は日本旅行、山形真功は中央公論社、ぼくは松竹で映画監督。誰も新聞記者になつた者はいない。

新研時代は、ぼくの青春の始まり



新研時代の風巻顧問先生と仲間達



だった。だが、今の新宿高校には新聞研究部はないという。「新研」は、いつでもどうしてなくなってしまうのだろうか。…。

＊朝陽時報は一九六五年（昭和四〇）一月二八日発行の第一二七号までの縮刷版がある。この原稿もそのお世話になった。編集者に心からお礼をいいたい。

## 広告

21回生 竹内元一 著  
**桶狭間の戦い前夜の真実**

出版社：甲子園出版

電子本 900円＋税

印刷本 2400円＋税

アマゾンで注文して下さい  
(書店にはありません)

「アマゾン 竹内元一  
桶狭間」で検索

## 桶狭間の戦い 前夜の真実

竹内元一 著



**300年来の定説が、いま覆る！**

戦い前夜、今川義元は、「沓掛」ではなく「大高」にいた。

甲子園出版

### 桶狭間の戦いの真相究明が進まなかった理由

永禄三年（1560）の桶狭間の戦いは、460年たっても真相究明に至っていない。その理由は「戦い前夜、義元は沓掛に居たはず」という江戸時代の間違った定説に「迂回奇襲説」や「正面攻撃説」等ほとんどの先行研究が囚われていたからであった。戦い前夜の義元の居場所が間違っていたため、真相究明が進まなかったのだ。

### 戦い前夜、義元は（沓掛ではなく）大高に居た

一方、一級史料の『信長公記』天理本などの書写時期が古い写本類は「戦い前夜、義元は大高に居た」と読めることを、著者が初めて解明した。これが史実であった。

### 移動のため後退をやめない義元を、信長は追撃した

桶狭間の戦いは、織田軍二千が、今川軍三千以上の首を取る圧勝であった。なぜ、このようなワンサイドゲームが起こったのか。それは、漆山から池鯉鮒（知立）に移動・後退中だった今川軍を、織田軍が追撃したからだった。撤退戦・追撃戦の形になったのである。

なお、この新説「後退追撃説」の発案者はかぎや散人氏であり、著者は、新説名を命名したのと、新説が正しいことを歴史学的に証明した。（著者は、工学部出身で、高校時代、古文が苦手科目だった。歴史の本を出すと云ったら、古文の小島先生は腰を抜かすことだろう）

## 『六声会合唱団』では団員を募集しています

私たちは新宿高校OBによって結成された男声合唱団ですが、今年で結成70周年を迎えるのを機に、指揮者に「東京混声合唱団」理事で指揮者の山田茂さんをお迎えしました。つきましては、『六声会』のさらなる発展のために合唱団員を大募集いたします。

OBはもちろん、OGの旦那様も大歓迎ですので、私たちとご一緒に楽しく歌っていただけたら大変嬉しく思います。OGの方々には音楽好きの旦那様へのお声がけと週一回の練習場への送り出しを宜しくお願いいたします。家庭円満のために。

男声合唱のジャンルについて：

男声合唱のジャンルは合唱組曲、民謡、オペラ合唱曲、黒人霊歌、宗教曲、現代曲、ポピュラー曲など多岐にわたり、それぞれのジャンルには歌ってみたい曲が無尽蔵にあり、男声合唱は合唱音楽の宝庫となっています。

合唱コンクールでは自由曲の多くが現代曲で、軽業のようなテクニックで火花を散らし優劣を競う傾向にありますが、私たちは思わず口ずさみたくなる旋律や歌詞のある従来からの伝統的な音楽を楽しむことに重点を置いています。

最近の練習曲：

一昨年は多田武彦の男声合唱組曲「柳河風俗詩」、昨年はイタリアの「トスティ歌曲集」を中心に、シベリウスの「フィンランディア」、ロイド・ウェッバーのミュージカル曲「キャッツ」から、その他の愛唱曲に取り組みました。

これからの練習曲：

今年は『旅』をテーマに、「遠くへ行きたい」（福永陽一郎編曲）、「いい日旅立ち」（宇田川安明編曲）、「芭蕉布」（西岡瞳編曲）、「北帰行」（磯部俣編曲）、「青葉城恋唄」（石川浩編曲）、「川の流れるように」（西岡瞳編曲）の六曲を練習する予定です。

これら六曲は日本人の誰もが聞き覚えのあるポピュラーの名曲ですが、西岡瞳さん（東京芸大作曲科卒）が早大グリーンクラブOB合唱団のために優しさと芸術性を備えた間奏曲でつなぎ男声合唱曲集として編集したもので、初心者の方もすぐに歌える曲です。

今後の演奏予定：

毎年、春秋2回の新宿区音楽祭、2022年母校百周年記念音楽会等に出演予定。

練習場所、時間、その他：

場所：新宿区百人町1-15-25 サール・ムジカ（JR山手線「新大久保駅」改札より西へ徒歩2分、皆中稲荷神社前）

時間：毎週月曜日 午後6：30～8：30

会費：月5000円（入団より3か月間は会費不要）

お問い合わせ先：

何でも結構ですので、興味ある方は下記のメールアドレスへお問い合わせ下さい。

e-mail：kistatsu@gmail.com 岸田（25）stoneslope2012@gmail.com 石坂（17）

なお、六声会合唱団ホームページより過去の演奏を試聴できます。

## ◆————— 平成31年度朝陽同窓会総会議事 —————◆

1. 平成30年度活動報告と決算
    - 平成30年3月末募金実績 5,540万円 2,479名
    - 全8支部で総会開催、戸山交流戦、東京校歌祭、朝陽クラブなど同窓会活動を展開
    - 100周年記念事業
      - 第3回朝陽奨学金支給：学年奨学金7名、あい奨学金5名
      - 集いの場創設：100周年記念準備室賃借
      - 記念祝賀会・記念音楽会準備委員会及び100周年誌編集室の発足
    - 母校キャリア教育支援：進路部通信への寄稿、キャリアガイダンス講師派遣
  2. 平成31年度活動計画と予算
    - 役員人事：西出紀久幹事長代行兼副会長就任
    - 100周年記念募金第三期：目標5,000万円 31度目標2,500万円
    - 100周年記念事業：記念祝賀会・記念音楽会、100年誌編集室の継続
    - 母校キャリア教育を引き続き支援：進路部通信への寄稿、キャリアガイダンス講師派遣、特別講義
    - 全国7支部で総会開催、戸山交流戦、東京校歌祭、朝陽クラブなど同窓会活動を展開
    - 第5回ホームカミングデー開催（音楽を中心に）
    - 組織強化活動開始
- 各議案とも吉村幹事長より報告・提案があり、異議なく承認
3. 総会記念講演は次々ページ「あるジャーナリストの回想」をご覧ください

## 母 校 支 援

### 平成31年度母校キャリア教育支援

母校は平成27年度からキャリア教育充実のため新たな取り組みを始めました。同窓会ではこれを重要な母校支援の一つととらえ全面的に支援してきました。平成31年度も母校の要望に応え、各界で活躍する同窓生の協力を得て、講師の派遣、体験談の寄稿など、母校を支援してきました。

#### (1) キャリアガイダンスへの講師派遣

キャリアガイダンスは、1年生の文理選択の参考に母校が開催する先輩の体験談講演会です。平成31年度キャリアガイダンスは令和2年2月12日(水)の午後、1年次教室等16教室を使って実施され、下記の16名の方々が講師を務めて下さいました。

卒業回	氏名	現職・主たる経歴等
15	馬場 悠男	元 国立科学博物館人類研究部長
21	清川 清一	国際機関勤務 40年
23	太田 正行	元新宿高校教師(社会科)
24	佐野 良雄	三井物産定年退職後 元名古屋大学大学院教授(経済学)
24	酒井 邦彦	弁護士・元広島高検検事長
25	篠原 厚子	清泉女子大人文科学研究所教授(健康科学)
25	竹迫 和美	医療通訳、(現在)米国大学大学院生
26	植田 益朗	アニメプロデューサー

26	三矢 恵子	NHK 放送文化研究所メディア研究部
31	中越 一統	公認会計士 理系から公認会計士に
34	潮 智史	朝日新聞スポーツ部（専門はサッカー）
34	細矢 剛	国立科学博物館植物研究部
38	福山 知子	カルビー(株) 元執行役員
43	西村 雄一	日本サッカー協会プロフェッショナルレフェリー・元サッカー国際審判員
48	原田 将史	一級建築士・設計事務所代表
48	須田健太郎	(株)電通クリエイティブディレクター

過去の実施内容は同窓会ホームページ下記サイトでご覧になれます。

## (2) 月刊紙『進路部通信』“先輩からの言葉”への寄稿

母校進路指導部が平成27年度に創刊した月刊紙『進路部通信』(A4サイズ4ページ)に毎月1ページ、各界第一線で活躍する同窓生が、現役生徒の進路選択の参考となり、励みとなる原稿を寄稿しています。平成31年度発行の45～55号で下記の方々執筆者されました。

発行号	氏名	卒回	寄稿タイトル
45 (2019.4)	佐野良雄	24	新宿高校から始まった私の「グローバル体験」
46 (2019.5)	関根 聡	35	「夢を持たずにここまで来た」
47 (2019.6)	村田靖子	14	美術史研究者として
48 (2019.7)	卜部栄明	23	「歓喜の瞬間を経験する…インターハイに優勝して」
49 (2019.9)	福山知子	38	働くって最高！！?
50 (2019.10)	金築誠志	15	裁判官の仕事
51 (2019.11)	関井 隆	32	ワガママのススメ
52 (2019.12)	小池洋次	21	アウトプットなければインプットなし
53 (2020.1)	山口紀生	23	「出合った現実の中にすべてがある」
54 (2020.2)	北村岳子	31	焦らず努力していれば 必ず花が咲く
55 (2020.3)	小清水 漸	15	悩むことは大切だよ

寄稿内容は同窓会ホームページでご覧になれます。

## (3) 各種母校支援

この他にも、①各部活 OBOG 会による現役支援、②奨学金支給、③定期健康診断への医師応援、④財団法人朝陽会による臨海教室支援、インターンシップ受入れほか、様々な場面で母校への熱い思いを持った様々な組織、同窓会員が母校支援を繰り広げています。

### 朝陽同窓会会員諸氏の寄贈著書紹介

平成31年度にも多くの卒業生から以下の著書の寄贈をいただきました。

著者名	卒回	書名	出版社	本体価格
古川 秀昭	15	目に見えないものを 熊谷守一	ミネルバ書房	¥3,200
間野 暢興	21	観光と文学に学ぶドイツ語・イタリア語・フランス語	星雲社	¥1,800
遠藤 誉	13	米中貿易戦争の裏側	毎日新聞出版	¥1,700
		激突！遠藤 VS 田原「日中と習近平国賓」	実業之日本社	¥1,600
木谷 東男	21	新宿 渋谷 原宿 盛り場の歴史散歩地図(著者 赤岩州五)	草思社	¥2,000
		中世史講義	ちくま新書	¥860
阿部 浩一	38	「生存」の歴史と復興の現在 3・11分断をつなぎ直す	大月出版	¥3,400
		歴史を未来につなぐ「3.11からの歴史学」の射程	東京大学出版会	¥1,400



新聞記者を三五年、大学教員を十年務めました。主な対象は国際情勢や国際関係です。記者時代は国際報道を担い、大学に移ってから米国の政策を中心に研究や教育に携わってきました。掲載した写真は日本経済新聞のワシントン支局長だった一九九三年、クリントン米大統領を専用機エアフォース・ワン内でインタビューした時の様子です。



この三十年間は日本では平成と括られる時代ですが、国際関係では大きな構造変化が起きました。一九八九年には東欧で民主化が進み、ドイツ分断の象徴と言えるベルリンの壁が崩れ、そして冷戦の終結が宣言されました。それから三十年、『冷戦後』の終わりや「新冷戦」が議論になっています。

この三十年間を振り返って、つくづく思うのは、「よもやの事態は起こりうる」ということです。ベルリンの壁の崩壊やその二年後のソ連の解体を予測した専門家はいませんでした。専門家の予測が外れるのは、過去の延長線上に未来をとらえるからでしょう。ところが、質的な変化が起きたときには、そうした単線的予測は通用しないのです。

経験から言えるのは、草の根の変化を観察することの重要性です。国際関係の変化も人々の意識や生活と無縁ではありません。むしろ民衆のエネルギーが国際関係を変えてきたのです。ソ連が崩壊する前、シベリア鉄道の列車内で当時のゴルバチョフ書記長を批判するざれ歌を人々が公然と口にしていたことを思い起こします。

故サミュエル・ハンチントン・ハーバード大教授は一九九九年に発表した論文「孤独な超大国」で世界の政治構造の変化を振りかえり、二一世紀は多極の時代になると予測しました。米国は「唯一の超大国」ですが、やがて他の大国と同じような存在になるといいます。米国は「世界の警察官」では

ありえない、そんな時代になりました。日本にとって最も重要な同盟国が世界的な役割を縮小しているということです。

日本にとって何より大事なものは、指導者が強い危機意識とグローバル感度を持つことです。グローバル感度とは造語ですが、世界で何が起きているかを正確に理解し、迅速に対応できる能力です。この点、我々はシンガポールから多くを学べるのではないのでしょうか。

この国にはかつて駐在し、建国の父、リー・クアンユー氏（元首相）に何度かインタビューする機会もあって、強い関心を持つようになりました。同氏は「日本に学べ」という国民的運動を展開し、その結果一人当たり国内総生産（GDP）など世界の様々なランキングで同国は日本を大きく引き離すようになっていきます。その要因はいろいろありますが、危機感とグローバル感度が重要であったことは間違いありません。『リー・クアンユー 未来への提言』（小池監訳）をぜひお読みください。

代表・関西学院大学フェロー

卒業年次別会費納入状況 - 会費納入にご協力をお願いします -

同窓会活動は皆様からの会費が唯一の収入源です。同窓会報「朝陽」の発行、母校支援など、同窓会活動はすべて皆様からの会費で運営しています。2018年度の会費納入状況は下表の通り17%の低率にとどまっており、このままでは今後の運営に支障が出かねません。年会費は2,000円です。同窓会維持・発展のために、一層のご協力をお願いします。

会費卒業年次別納入者分布表 2,209名 (内、長期 1,878名) 2018年度

卒業年月	卒業回	年会費	長期会費	合計	0	20	40	60	80	100	120	140
1959年3月	11回生	20	58	78	20	58	78					
1960年3月	12回生	18	57	75	18	57	75					
1961年3月	13回生	14	66	80	14	66	80					
1962年3月	14回生	21	82	103	21	82	103					
1963年3月	15回生	8	123	131	8	123	131					
1964年3月	16回生	21	64	85	21	64	85					
1965年3月	17回生	13	70	83	13	70	83					
1966年3月	18回生	15	86	101	15	86	101					
1967年3月	19回生	17	89	106	17	89	106					
1968年3月	20回生	19	83	102	19	83	102					
1969年3月	21回生	9	56	65	9	56	65					
1970年3月	22回生	20	49	69	20	49	69					
1971年3月	23回生	14	57	71	14	57	71					
1972年3月	24回生	11	85	96	11	85	96					
1973年3月	25回生	7	72	79	7	72	79					
1974年3月	26回生	7	72	79	7	72	79					
1975年3月	27回生	8	54	62	8	54	62					
1976年3月	28回生	8	46	54	8	46	54					
1977年3月	29回生	5	41	46	5	41	46					
1978年3月	30回生	10	57	67	10	57	67					
1979年3月	31回生	3	42	45	3	42	45					
1980年3月	32回生	2	30	32	2	30	32					
1981年3月	33回生	6	32	38	6	32	38					
1982年3月	34回生	9	36	45	9	36	45					
1983年3月	35回生	4	37	41	4	37	41					
1984年3月	36回生	2	23	25	2	23	25					
1985年3月	37回生	7	40	47	7	40	47					
1986年3月	38回生	4	34	38	4	34	38					
1987年3月	39回生	3	21	24	3	21	24					
1988年3月	40回生	2	23	25	2	23	25					
1989年3月	41回生	2	24	26	2	24	26					
1990年3月	42回生	1	18	19	1	18	19					
1991年3月	43回生	2	13	15	2	13	15					
1992年3月	44回生	1	11	12	1	11	12					
1993年3月	45回生	0	15	15	0	15	15					
1994年3月	46回生	0	7	7	0	7	7					
1995年3月	47回生	1	10	11	1	10	11					
1996年3月	48回生	1	9	10	1	9	10					
1997年3月	49回生	0	3	3	0	3	3					
1998年3月	50回生	0	5	5	0	5	5					
1999年3月	51回生	1	6	7	1	6	7					
2000年3月	52回生	0	6	6	0	6	6					
2001年3月	53回生	2	7	9	2	7	9					
2002年3月	54回生	0	3	3	0	3	3					
2003年3月	55回生	2	6	8	2	6	8					
2004年3月	56回生	0	4	4	0	4	4					
2005年3月	57回生	0	4	4	0	4	4					
2006年3月	58回生	1	5	6	1	5	6					
2007年3月	59回生	2	2	4	2	2	4					
2008年3月	60回生	2	6	8	2	6	8					
2009年3月	61回生	0	8	8	0	8	8					
2010年3月	62回生	1	7	8	1	7	8					
2011年3月	63回生	0	4	4	0	4	4					
2012年3月	64回生	2	5	7	2	5	7					
2013年3月	65回生	3	5	8	3	5	8					
2014年3月	66回生	0	0	0	0	0	0					
合計		331	1,878	2,209								

**2018年度実績**  
 年会費 331名 668千円  
 長期会費 1,878名 3,129千円  
 合計 2,209名 3,797千円  
 対象人数 12,705名\*  
 納入率 17%  
 \*「朝陽」発送者数の内、卒業5年目まで及び寿会員（80歳以上）を除く人数

## 事務局より会費納入のお願い

同窓会の活動は、会員の皆様からの会費でまかなわれておりますが、会費納入状況は依然として低迷していることに加え、母校100周年記念事業関連費用も逐次発生してきたことで、同窓会の収支状況は大変厳しいものとなっております。

経費削減などに努めておりますが、このままでは近い将来、財政的に同窓会の運営が難しくなることさえ予想されます。このため、今年度も改めて同窓会員皆様方に会費納入をお願い申し上げる次第です。

また、会費を納入してくださる会員数増のために、代表幹事会では、寿会員制度の廃止につき合意しております。正式には総会等での規約改正を経ることとなりますが、ご賛同くださいます寿会員の方々には、会費の納入のほどお願い申し上げます。

### ☆会費の種類

- ① 年会費… 2,000円
- ② 長期会費…10,000円（6年間有効）

①、②のいずれかをお選びいただけます。毎年の納入が煩わしい方には長期会費をお勧めいたします。いずれも本誌に同封の振込用紙をご利用下さい。

### ☆会費納入の免除

- ・卒業時又は入学時に入会された会員は入会金を納めておりますので、卒業後5年間は納入免除です。今年は68～72回生の方々該当いたします。
- ・現・旧職員〔名誉会員〕と80歳以上〔寿会員〕は納入免除です。今年の寿会員は中1～新11回生の方々ですが、上記致しましたように、引き続き会費の納入いただければありがた

く存じます。

### ☆期間

- ・会計年度は4月～翌年3月で、会費は納入した年度から起算いたします。
- ・重複した期間があった場合には、有効期間が重ならないよう連続期間として扱います。
- ・寿会員から納入された場合は、総会での既約変更を待って、会費の納入がなされたとして処理します。

### ☆寄付金

- ・昨年も多くの方々からご寄付を頂きました。今年度もご寄付頂ければまことにありがたく存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

(事務局長 15 西出 紀久)

## 会費納入・寄付に銀行振込・クレジットカード支払いをご利用ください

この度会費・寄付金の払込方法について、旧来からの「郵便局払込書」に加えて、「銀行振込」、「クレジット決済」による払込が出来る様にしました。具体手続き方法、振込用紙の書き方などにつきましては、同窓会HP ([http://www.nchouyou.net/kaihi\\_kifu.html](http://www.nchouyou.net/kaihi_kifu.html)) をご覧ください。

### (1) 郵便局払い込みの場合

振込先口座番号 00170-8-147510

加入者名 都立新宿高等学校朝陽同窓会

### (2) 銀行振込の場合の振込先口座

三菱UFJ銀行新宿通支店(支店番号050) 普通 2699254 朝陽同窓会

### (3) クレジット決済をご利用の場合は、前記同窓会HPから手続きをしてください。

ご利用可能なカードはVISA MasterCardの2種類です。

なお、振込に際しましては、同姓同名の方の混同避けるため、振込依頼人のお名前に、卒業回を附記して下さいますようお願いしております。そのため、ATM・銀行カードを使ってお振り込みの場合、振込依頼人をカード名義人とはせずに、卒回を付加して手入力ください。具体的には上記HPに記載の説明をご覧ください。

## 2020年度朝陽同窓会総会紙上開催と賛否表明のお願い

新型コロナウイルス感染の終息が見通せず、学校内での感染拡大防止の観点から、従来のような母校視聴覚室にお集まり頂いての総会開催が不可能となりました。

このような事情で、本年は残念ながら対面開催ではなく本誌紙面を使っての紙上開催とさせていただきます。規約には紙上開催の規定がないため、通常の総会と同様、出席者（本誌発送数）の3分の2以上の賛成をもって可決とみなします。

お諮りする議案は次ページ以降に記載の通りです。それぞれの議案の内容をご検討のうえ、賛否ご意見を本誌送付の封筒に同封の賛否表明用紙にて郵送、FAX、またはメールにて12月15日（木）までに朝陽同窓会事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。

なお15日（木）までに賛否ご意見を頂けなかった場合は、賛成頂いたものとみなさせていただきます。

### 賛否表明の方法

#### (A) 郵送の場合

(1) それぞれの議案につき、同封の「賛否表明用紙」に、賛成、反対のいずれか一方に必ずチェックマークを付けてください。

(2) 賛否の他に、議案に対するご意見を伝えたい場合は、意見欄にご意見を書いてください。

(3) 氏名と卒回（あるいは卒業年）を必ず記入してください。氏名が空欄の賛否表明は無効です。

(4) 上記(1)～(3)を済ませた「賛否表明用紙」を封筒に入れて、朝陽同窓会事務局宛てお送りください。宛先は、〒160-0014 東京都新宿区内藤町11-4

都立新宿高等学校内 朝陽同窓会 です。封筒表書きに「賛否表明用紙在中」と朱記してください。恐縮ですが、切手代等ご負担ください。12月15日消印まで有効とします。

#### (B) FAXの場合

郵送の場合と同様に、(1)～(3)を済ませてください。

(4) 上記(1)～(3)を済ませた「賛否表明用紙」をFAXにて、朝陽同窓会事務局宛てお送りください。FAX送り先は、050-3730-0138 です。

#### (C) メールの場合

同窓会HPから、表紙ページ「朝陽同窓会からのお知らせ」欄にある「2020年度総会紙上開催」をクリックして表示される説明に従って、賛否表明フォームに記入のうえ、送信ボタンを押して送信ください。

**・氏名記入のない「賛否表明」は無効です。必ずお名前を書いて下さい。**

なお、皆様からお寄せ頂いた賛否表明は2021年1月15日以降に議事録にてホームページに開示します。個別の意見表明結果を開示する必要があった場合は氏名を伏せて開示します。

## 議案 1 規約改定案（下線部が変更箇所）

### ◆主な改正点（詳細は下記逐条改定案を参照）

- \*現旧教職員の呼称を名誉会員から特別会員に変更
- \*寿会員制度の廃止
- \*副会長の定員数を9名から15名以内に変更
- \*名誉会長を廃止して顧問に統一し、任務も規定
- \*代表幹事を役員から削除し別途規定
- \*会長の職務に役員会の招集と、総会・役員会・代表幹事会の議長を務めることを明記
- \*役員の仕事内容を明記

## 朝陽同窓会規約（逐条 改定案）

### 第1条（名称）

本会は朝陽同窓会という。

### 第2条（本部・支部）

本会は本部を東京都新宿区内藤町11-4都立新宿高等学校内に置き、適宜支部を設ける。

### 第3条（目的）

本会は会員の親睦と向上を図り、母校と緊密な関係を保つことを目的とする。

### 第4条（事業）

本会は前条の目的達成のために次の事業を行う。

1. 会員名簿の作成
2. 会報の発行
3. 総会の開催
4. その他総会において決定した事項

### 第5条（会員）

本会は次の者よりなる。（注1 字句修正）

1. 普通会員 府立第六中学校、都立第六中学校、都立第六新制高等学校、都立新宿高等学校全日制卒業者

並びに前記以外でかつて在学し入会を希望する者の内、代表幹事会が認めた者

2. 特別会員 前記学校現旧教職員（注2「名誉会員」から「特別会員」に変更）

### 第6条（入会金）

普通会員は入会に当り、入会金15,000円を納入する

### 第7条（会費）

普通会員は年会費2,000円、または長期

会費10,000円（年会費6年分に相当）を納入する。但し入会后5年間と特別会員は会費を免除する。（注3「名誉会員」を「特別会員」に変更）

（注4「寿会員（80歳以上）の会費免除」規定を削除

### 第8条（運営）

本会の運営は入会金、会費、寄付金、臨時会費をもってこれに充てる。

### 第9条（総会）

本会は毎年1回定期総会を、必要な場合には臨時総会を開催する。

### 第10条（総会の議決事項）

総会は次のことを議決する。

1. 本会の規約の変更
2. 予算と決算
3. 会長・副会長の選出
4. 監事の選出
5. その他重要な事項

### 第11条（総会の議決）

前条の議決には総会出席者の3分の2以上の賛成を要する。

### 第12条（役員）

本会には次の役員をおく。

会長1名、副会長15名以内、監事2名、幹事長1名。

（注5 副会長を9名から15名以内<sup>に</sup>増員、代表幹事を役員から削除）

第13条（役員と代表幹事の選出）（注6 代表幹事を追加）

会長は普通会員中より、副会長は普通会員および特別会員（注7 特別会員を追加）中より、代表幹事会の推薦により総

会において（注 8 「代表幹事会において」を変更）選出する。

監事は代表幹事以外の普通会員中より総会において（注 9 「代表幹事会において」を変更）選出する。

幹事長は代表幹事会の推薦により会長が代表幹事中より委嘱する。

代表幹事は各卒業年度の会員の中から互選する。

第 14 条（役員の任期）

役員の任期は 2 年とし、重任を妨げない。但し、連続して 5 期（10 年）を超えないものとする。

（注 10 追加）

第 15 条（顧問）（注 11 「顧問」を新設し「名誉会長」を削除）

本会に顧問をおくことが出来る。

顧問は会長の求めにより会務に助言する。

第 16 条（会長・副会長）

会長は本会を代表し会務を総理し、総会、役員会（注 12 19 条新設）および代表幹事会を招集しそれぞれの議長となる。（注 13 追加）

副会長は会長を補佐する。

第 17 条（監事）

監事は会務を監査する。

第 18 条（幹事長）

幹事長は会務を処理する。

第 19 条（代表幹事会と役員会）（注 14 役員会を追加）

代表幹事は代表幹事会を組織し、次の事項を議決する。

1. 総会の開催

2. 会員名簿の作成

3. 会務の遂行

4. 予算案案および決算案（注 15 字句追加）

5. 役員の推薦（注 16 追加）

6. 幹事長処理事項

7. その他必要事項

役員は役員会を組織し、代表幹事会に提出する議案の審議・調整を行う。（注 17 新設）

第 20 条（事務局）

本会は本部内に事務局をおく。事務局には事務局長 1 名、事務局員若干名を置く。事務局長、事務局員の任免は幹事長が行う。

第 21 条（事務局内規）

本会の事務処理のため事務局内規を別に定める。

第 22 条（会計年度）

本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 23 条（発効）（注 18 新設）

この規約は 2020 年 12 月 15 日をもって発効する。

## 議案 2 役員改選案

### ◆新役員候補

#### \* 会長

橋本健一 S19 新

#### \* 副会長

小林暁生 S08 新 01～10 回から選出

西出紀久 S15 再 11～20 回から選出  
（幹事長兼務）

柴田眞樹 S18 新 同上

西尾信子 S24 新 旧教職員から選出

渡辺康隆 S25 新 21～30 回から選出

宮坂雅子 S27 再 同上

高橋 寛 S32 新 31～40 回から選出

小野瑞城 S34 再 同上

渡辺信久 S34 再 支部朝陽会から選出

鈴木仁志 S38 新 運動部 OB 会から  
選出

楠木綿太 S60 新 41 回以降から選出

\* 監事

中越一統 S31 新 公認会計士

廣田勝彦 S44 新 税理士

\* 前記にて新は新任を、再は再任を示  
す。

\* 改選日は本総会（紙上開催）議決日と  
する。

\* 任期は 2 年とし、重任を妨げない。但  
し、連続して 5 期（10 年）を超えな  
いこととする。

\* 副会長は 2019 年 7 月の代表幹事会の

決議により各選出母体から推薦。

◆ 役員退任

大変長い間ありがとうございました。  
厚く感謝申し上げます。

\* 会長

田中俊郎 S17

\* 副会長

龍岡直道 S24

龍岡友子 S24

\* 監事

山本展也 S27

島崎主税 S28

朝陽同窓会会長候補 橋本 健一さん（19 回）略歴



1967 年  
新宿高校卒業、  
東京学芸大学入  
学  
（理科・生物学  
専攻）

1973 年  
同 修士課程修  
了・教育学修士

1973 年  
東京都立千歳丘高校教諭（生物）

1978 年  
東京都立新宿高校教諭（生物）  
\* 石川太郎先生後任

1984 年  
東京学芸大学附属高校文部教官教諭

1987 年  
千葉県立衛生短期大学講師  
（90 年助教授，98 年教授）

2009 年～2014 年  
千葉県立保健医療大学健康科学部教授  
（兼任）

1987 年～2009 年  
東京学芸大学教育学部非常勤講師  
2010 年～2017 年  
青山学院大学教育人間科学部兼任講師  
2012～2018 年  
早稲田大学教育学部非常勤講師

2019 年  
千葉県立保健医療大学名誉教授

（朝陽同窓会関係）  
2007 年：19 回代表幹事  
2014 年：朝陽同窓会副会長就任  
現在に至る

その他：  
• 新宿高校生物部 OB・OG 会世話役  
• 一般財団法人朝陽会 業務執行理事  
（2014 年～2017 年）  
• 渋谷区立笹塚小学校学校運営協議会委  
員長（2019 年 4 月～）

### 議案 3 2019 年度事業報告と決算

#### ◆ 昨年の主な出来事

- 何と云っても昨年台風 15 号により 9 月 8 日に男子棟が全壊したことにある
- 全面復旧を代表幹事会で決議して募金の呼びかけを開始
- 財団内に館山寮再建委員会を編成し、現地調査や再建のための計画を立案
- 第一期工事は男子棟トイレ、風呂の修復および男子棟の解体・撤去のみとし、2020 年度内に実施することを決定
- 第二期工事は男子棟の再建工事（管理人室の修復を含む）とし、2021 年上期実施を計画
- 1 月に保険金 8,659 万円を受け取り完了

#### ◆ 事業報告

- 幹事長交代 吉村悟 S7 から西出紀久 S15 へ 1 月
- 事務局員退職 前田文子 S31 11 月  
小出富江 S7 3 月
- 朝陽募金
  - 100 周年記念募金 6,741 万円 3 月
  - 館山寮再建募金 2,144 万円 3 月
- 朝陽奨学金 13 名に給付
  - 学年奨学金 9 名、就学援助金 1 名、あい基金 3 名 年間
- 第 4 回ホームカミングデー 「音楽会」をテーマ 11 月  
200 名超参加
- 100 年誌編集
  - 編集委員会を編成し、「100 年通史」と「100 年誌」に分冊を決定
- 組織強化委員会発足 小野瑞城 S34 副会長に委員長委嘱 7 月
- 副会長選出方法変更 7 月
- 寿会員制度廃止
  - 会費増収のため 代表幹事会で決定 10 月
- 「朝陽」68 号発行 5 月
- 総会開催
  - 130 名参加 記念講演 小池洋次 S21 5 月
- 支部朝陽会開催
  - 4 月東海、7 月多摩、北海道、9 月宮城、11 月関西、九州、3 月 USA
- 第 30 回朝陽クラブ
  - 「スパコン 富岳」 S30 石川裕 7 月

#### ◆ 決算

- 今回から一般事業と 100 周年記念事業に区分して決算案を表示
- 一般事業収支では年間 510 万円の赤字となっている、会費の増収を加速させ、かつ経費の大幅削減が必要である
- 決算数値は監事承認済み、監事による監査報告は別途同窓会ホームページに掲載予定。具体数値については次ページおよび次々ページをご覧ください。

以上

2019年度決算案  
2019年4月1日より2020年3月31日まで

△印は予算に対して実績が少なかったことを示す

勘定科目	予算	実績	差異	差異理由(予算→実績)
<b>●一般事業</b>				
＜収益の部＞				
入会金	4,050,000	4,085,000	35,000	
年会費	810,000	570,000	△ 240,000	405名⇒285名
長期会費	3,732,000	4,062,348	330,348	2240名⇒2439名
朝陽広告料収入	597,000	587,000	△ 10,000	
預金受取利息	11,000	6,999	△ 4,001	
収益小計	9,200,000	9,311,347	111,347	
＜費用の部＞				
事務局手当	6,676,000	6,946,206	270,206	吉村・小出分退職手当
通勤交通費	564,000	502,556	△ 61,444	
会議費	258,000	238,573	△ 19,427	
通信費	310,000	398,494	88,494	
光熱費	210,000	191,300	△ 18,700	
消耗品費	870,000	932,834	62,834	
記念品・慶弔費	40,000	3,300	△ 36,700	
銀行郵貯手数料	135,000	235,000	100,000	館山寮再建募金手数料増加
出張旅費	232,000	205,199	△ 26,801	
名簿印刷発行費	125,000	127,050	2,050	
朝陽発行費	3,055,000	3,203,494	148,494	「朝陽」67号印刷費・発送費値上
総会費	683,000	672,740	△ 10,260	
支部助成金	260,000	200,000	△ 60,000	
校歌祭費用	65,000	89,468	24,468	
朝陽クラブ運営費用	180,000	45,600	△ 134,400	3回のところ1回しか開催せず
朝陽祭参加費用	50,000	0	△ 50,000	
活動助成金	80,000	20,000	△ 60,000	
母校支援費	750,000	403,280	△ 346,720	テアリーディング部補助発生せず
予備費	600,000	0	△ 600,000	
費用小計	15,143,000	14,415,094	△ 727,906	
一般事業収支	△ 5,943,000	△ 5,103,747	839,253	
<b>●100周年記念事業</b>				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	25,000,000	12,010,910	△ 12,989,090	当初予想に届かず
館山寮再建募金	0	21,441,073	21,441,073	新規発生
収益小計	25,000,000	33,451,983	8,451,983	
＜費用の部＞				
朝陽奨学金	1,500,000	1,300,000	△ 200,000	就学援助金減
館山寮再建引当金	0	21,441,073	21,441,073	新規発生
事業準備室	2,700,000	2,381,233	△ 318,767	維持経費節減
朝陽秋川荘	1,300,000	0	△ 1,300,000	寄贈を受けず
ホームカミングディ	570,000	295,570	△ 274,430	懇親会費節減
記念音楽会	630,000	0	△ 630,000	2019年度は実費発生せず
記念ロゴ	250,000	250,000	0	
100年誌	280,000	0	△ 280,000	2019年度は実費発生せず
水上寮再生	30,000	0	△ 30,000	
朝陽合唱団	30,000	30,000	0	
募金趣意書印刷	640,000	601,236	△ 38,764	
費用小計	7,930,000	26,299,112	18,369,112	
100周年記念事業収支	17,070,000	7,152,871	△ 9,917,129	
当期経常増減額	11,127,000	2,049,124	△ 9,077,876	

今回から一般事業と100周年記念事業を分けて決算案を表示しました。

財産目録 2020年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
<b>&lt;資産の部&gt;</b>		<b>&lt;負債の部&gt;</b>	
現金	217,878	源泉徴収所得税預かり	123,472
(募金等引当預金)		予納会費-73、74回生	4,075,000
定期預金	30,002,538	預り金-館山寮再建募金	21,441,073
定額貯金	13,000,000	長期会費未経過分引当金	10,612,420
普通預金	13,574,579	計	36,251,965
(その他預金)			
普通預金	593,004	<b>&lt;繰越金&gt;</b>	
郵便貯金	17,434,185	100周年記念募金繰越金	35,136,044
差入敷金	420,000	一般繰越金	7,586,739
未収入金	3,732,564	計	42,722,783
合計	78,974,748	合計	78,974,748

(註) 100周年記念募金繰越金

2015年度	17,341,200
2016年度	11,853,673
2017年度	16,357,407
2018年度	9,850,442
2019年度	12,010,910
募金累計	67,413,632
奨学金	△ 4,800,000
館山寮改修費用	△ 16,500,000
集いの場費用	△ 4,833,659
100周年記念事業費	△ 6,143,929
支出累計	△ 32,277,588
差引繰越金	35,136,044

剰余金処分案

1. 前年度繰越金	40,673,659
当期経常増減額	2,049,124
計	42,722,783

2. これを次の通り処分します	
次期繰越金	42,722,783

決算数値は監事承認済み、監事による監査報告は別途同窓会ホームページに掲載予定

# 新宿高校OBの焼肉店

新宿高校関係者御用達の新宿高校から徒歩9分にある、新宿生まれの焼肉店が美味しいんですが、



- 焼肉酒家 **李苑** タレで楽しむ昭和風本格焼肉  
新宿区新宿5-18-16 Shinjuku Five-1 B1F  
03-5292-9211
- ワインと燗酒牛を親子かで楽しむ **ROUTE ZERO**  
新宿区新宿3-36-2 新宿キリンビル B2F  
03-5937-6457
- 全品300円のハイコスバ焼肉 **Y300 焼肉**  
新宿区歌舞伎町1-12-1 KTビル1F  
03-5937-2065



# 食べますか？

株式会社ファクト 代表取締役 姜 在根 新50回卒業

## 議案 4 2020 年度事業計画と予算

### ◆今年度の主なポイント

- 新型コロナの感染拡大により、今年の前半は同窓会活動が殆ど出来なかった。
- しかし館山寮再建第二期工事計画作成など、急いで実施すべき活動が多々ある。

### ◆事業計画

- 規約改正 議案-1 として提案
- 役員人事 議案-2 として提案
- 朝陽募金目標額
  - 100 周年記念募金 当年度 1,000 万円 最終目標 10,000 万円
  - 館山寮再建募金 当年度 1,000 万円 最終目標 5,000 万円
- 朝陽奨学金 6 名分を追加し計 210 万円を予算に計上
- 館山寮再建
  - 第一期工事完了 男子棟トイレ、風呂などの修復と男子棟の解体 7 月
  - 第二期工事計画 立案中
- 事業準備室 利用頻度低迷のため賃借契約を解除 7 月
- 一般活動収支の改善
  - 会費の増収や経費の削減を目指し今年度予算を編成 年間
- テレワーク設備導入 在宅勤務開始に対応 5 月
- 「朝陽」69 号発行 11 月
- 総会 紙上開催 12 月
- 支部朝陽会 全支部中止または延期
- 各種イベント ホームカミングデー、戸山交流戦など中止

### ◆予算案

- 一般事業については前年の 510 万円の大幅赤字を挽回すべく、長期会費の 10% 増と財団法人朝陽会の事務受託収入の有料化を図る
- 総会後の懇親会の取り止めや進路部通信印刷の中止など費用の節減を行う
- また事務局員手当については週 1 日以上勤務はボランティア・ワークとし、かつ今年度は期末手当も支給を中止することとして前年実績の 60% 削減を行なう
- 100 周年記念事業についてもコロナの影響で「朝陽」の発行が大幅に遅れたことに依り、100 周年記念募金や館山再建募金が昨年実績を下まわることが懸念される
- そこで朝陽奨学金は 80 万円増額させるが、事業準備室を解約し、併せて当初予定していた 100 周年記念名簿の発行を 2021 年以降に延ばすことにした

具体予算数値については次ページをご覧ください。

## 2020年度予算案

2020年4月1日より2021年3月31日まで

△印は実績に対して予算が少なくなったことを示す

勘定科目	前年実績	予算	差異	差異理由(実績→予算)
●一般事業				
＜収益の部＞				
入会金	4,085,000	4,088,000	3,000	
年会費	570,000	570,000	0	
長期会費	4,062,348	4,470,000	407,652	前年実績の10%増
朝陽広告料収入	587,000	540,000	△ 47,000	
預金受取利息	6,999	7,000	1	
財団事務受託収入	0	360,000	360,000	無料⇒有料
収益小計	9,311,347	10,035,000	723,653	
＜費用の部＞				
事務局手当	6,946,206	2,904,000	△ 4,042,206	事務局員手当削減
通勤交通費	502,556	237,000	△ 265,556	テレワークによる削減
会議費	238,573	70,000	△ 168,573	
通信費	398,494	395,000	△ 3,494	
光熱費	191,300	192,000	700	
消耗品費	932,834	614,000	△ 318,834	費用節減
記念品・慶弔費	3,300	220,000	216,700	退任役員に対する饗別支払い
銀行郵貯手数料	235,000	147,000	△ 88,000	募金手数料減額
減価償却費	0	112,000	112,000	テレワーク設備導入
出張旅費	205,199	0	△ 205,199	出張全て取り止め
名簿印刷発行費	127,050	127,050	0	
朝陽発行費	3,203,494	3,260,000	56,506	
総会費	872,740	0	△ 872,740	総会は紙上開催とする
支部助成金	200,000	30,000	△ 170,000	
校歌祭費用	89,468	0	△ 89,468	開催取り止め
朝陽クラブ運営費用	45,600	0	△ 45,600	開催取り止め
朝陽祭参加費用	0	0	0	
活動助成金	20,000	50,000	30,000	
母校支援費	403,280	100,000	△ 303,280	進路部通信印刷取り止め
予備費	0	1,000,000	1,000,000	
費用小計	14,415,094	9,458,050	△ 4,957,044	
一般事業収支	△ 5,103,747	576,950	5,680,697	
●100周年記念事業				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	12,010,910	10,000,000	△ 2,010,910	コロナの影響で前年実績を下回る
館山寮再建募金	21,441,073	10,000,000	△ 11,441,073	コロナの影響で前年実績を下回る
収益小計	33,451,983	20,000,000	△ 13,451,983	
＜費用の部＞				
朝陽奨学金	1,300,000	2,100,000	800,000	家庭環境の悪化に備えて増額
館山寮再建引当金	21,441,073	10,000,000	△ 11,441,073	今期は朝陽再建募金減少
事業準備室	2,381,233	920,000	△ 1,461,233	レイフラットとの契約解除
ホームカミングディ	295,570	0	△ 295,570	
記念音楽会	0	100,000	100,000	練習場所借り賃補助
記念ロゴ	250,000	250,000	0	
100年誌	0	30,000	30,000	
水上寮再生	0	30,000	30,000	
朝陽合唱団	30,000	30,000	0	
募金趣意書印刷	601,236	633,000	31,764	
費用小計	26,299,112	14,093,000	△ 12,206,112	
100周年記念事業収支	7,152,871	5,907,000	△ 1,245,871	
当期経常増減額	2,049,124	6,483,950	4,434,826	

今回から一般事業と100周年記念事業を分けて表示しました。

## 財団朝陽会財務諸表

財団法人朝陽会は館山寮と旧水上寮の所有者であり、寮の運営管理、臨海教室の支援などの事業を行っています。組織としては、朝陽同窓会とは別組織ですが、その理事会及び評議員会メンバーは同窓会員、教師、PTA 役員で構成されていて、代表理事は朝陽同窓会長が務めています。

運営管理事務手続きは朝陽同窓会事務局が担当するなど、朝陽同窓会とは密接な関係にあり、同窓会を通じて行っている募金活動（100周年記念事業募金、館山寮再建募金など）の結果集まった寄付金も朝陽会の活動の用に供されます。特に、館山寮の再建などにつき財団朝陽会と朝陽同窓会は密接に連携して事業を進めて行く必要があり、以下に財団朝陽会の財務諸表を掲載します。

### ①令和元年度 貸借対照表総括表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	*6,974,294	5,721,651	1,252,643
その他流動資産	156,184	902,014	△ 745,830
流動資産合計	7,130,478	6,623,665	506,813
<b>2. 固定資産</b>			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	56,430,464	0
建物	28,236,212	36,534,564	△ 8,298,352
建設仮勘定	1,100,000	0	1,100,000
基本財産合計	85,766,676	92,965,028	△ 7,198,352
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	87,298,820	0	87,298,820
特定資産合計	87,298,820	0	87,298,820
固定資産合計	173,065,496	92,965,028	80,100,468
資産合計	180,195,974	99,588,693	80,607,281
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前受金	4,035,000	3,930,000	105,000
未払金	2,281,361	0	2,281,361
流動負債合計	6,316,361	3,930,000	2,386,361
負債合計	6,316,361	3,930,000	2,386,361
<b>III 正味財産</b>			
<b>1. 一般正味財産</b>	172,075,087	95,658,693	76,416,394
(うち基本財産への充当額)	(85,766,676)	(92,965,028)	(△7,198,352)
(うち特定資産への充当額)	(85,494,294)	(0)	(85,494,294)
<b>2. 指定正味財産</b>	1,804,526	0	1,804,526
(うち特定資産への充当額)	(1,804,526)	(0)	(1,804,526)
正味財産合計	173,879,613	95,658,693	78,220,920
負債および正味財産合計	180,195,974	99,588,693	80,607,281

\*注) 内 2,281,361 円は同窓生からの寄付金であり、朝陽同窓会に返還を要するものである。

②令和元年度 正味財産増減計算書総括表  
自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(基本財産運用益)	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
(受取会費)	3,975,000	3,990,000	△ 15,000
賛助会員受取会費	3,975,000	3,990,000	△ 15,000
(事業収益)	7,595,100	9,129,000	△ 1,533,900
館山寮運営事業収益	7,385,100	8,929,000	△ 1,543,900
寄付金収益	210,000	200,000	10,000
(雑収益)	27	13,541	△ 13,514
受取利息	27	41	△ 14
雑収益	0	13,500	△ 13,500
経常収益合計	11,570,127	13,132,541	△ 1,562,414
(2) 経常費用			
(事業費)	16,040,633	19,865,863	△ 3,825,230
給料手当	500,000	500,000	0
旅費交通費	37,080	54,720	△ 17,640
通信運搬費	69,793	48,169	21,624
減価償却費	4,915,157	6,494,706	△ 1,579,549
消耗什器備品費	0	100,000	△ 100,000
消耗品費	406,646	582,203	△ 175,557
修繕費	117,000	859,109	△ 742,109
燃料費	123,177	146,287	△ 23,110
光熱水料費	671,214	879,385	△ 208,171
賃借料	385,582	400,142	△ 14,560
保険料	429,140	401,660	27,480
支払負担金	68,270	68,270	0
支払助成金	399,820	215,700	184,120
委託費	7,710,034	9,086,062	△ 1,376,028
支払手数料	207,720	29,450	178,270
(管理費)	1,774,199	255,232	1,518,967
会議費	9,420	0	9,420
通信運搬費	1,670,002	83,801	1,586,201
消耗品費	698	92,016	△ 91,318
租税公課	31,884	450	31,434
雑支出	62,195	78,965	△ 16,770
経常費用合計	17,814,832	20,121,095	△ 2,306,263
当期経常増減額	△ 6,244,705	△ 6,988,554	743,849

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
保険金収入	86,594,294	0	86,594,294
経常外収益計	86,594,294	0	86,594,294
(2) 経常外費用			
災害損失	3,863,195	0	3,863,195
経常外費用計	3,863,195	0	3,863,195
当期経常外増減額	82,731,099	0	82,731,099
当期一般正味財産増減額	76,486,394	△ 6,988,554	83,474,948
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	76,416,394	△ 7,058,554	83,474,948
一般正味財産期首残高	95,658,693	102,717,247	△ 7,058,554
一般正味財産期末残高	172,075,087	95,658,693	76,416,394
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,804,526	0	1,804,526
当期指定正味財産増減額	1,804,526	0	1,804,526
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	1,804,526	0	1,804,526
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	173,879,613	95,658,693	78,220,920

TOKYO <http://www.gerbeaud.jp>BUDAPEST <http://www.gerbeaud.hu>

パナッシュジャパン(株) 代表取締役社長 宇井 雅人 (新22回生)

## 戸山 対 抗 戦

	第11回ゴルフ交流戦	第9回ブリッジ交流戦
日時	2019年11月1日	2019年6月22日
場所	武蔵ゴルフクラブ (埼玉県比企郡鳩山町)	四谷ブリッジセンター
参加者・新宿	20名(内女性2名) 新2～26回	10名
参加者・戸山	28名	10名
ルール	団体戦：各校上位10名のネット スコア合計	参加者少なくチーム戦ができず ペア戦に
勝敗	負け(14p差)、 通算1勝10敗	負け、 通算新宿の5勝4敗

### ゴルフ対抗戦

「第十一回 新宿・戸山高校同窓会  
交流ゴルフ大会」は、日和に恵まれ、  
好コンディションの下で盛大に行われ  
ました。(上表を参照)

団体戦は今回も僅差で戸山チームが  
勝利し、通算では新宿の一勝十敗とな  
りました。敗戦続きで大変残念ですが、  
それ以前に参加者数で戸山チームに圧  
倒されてしまったことを幹事として申  
し訳なく思っています。

グロスのスコアは、新宿が84、113、  
戸山が78、113でした。また個人戦は、  
2位、3位、女性1位他で11点の賞品  
を受賞しました。

交流戦の楽しみはプレイもさること  
ながら新宿・戸山2名ずつによる各組  
でのラウンド交流やプレイ後の懇親会  
にあります。表彰式や代表者のご挨拶、  
最後は各校の応援歌で締めとなります。  
す。勿論、新宿は「六中健児の歌」です。

今回は、二六回生など八名の方に初  
めてご参加いただき活躍していただき  
ました。今後も新しい参加者を増やし  
つつこの対抗戦を長く続けられること  
を願っています。ただ、今年は新型コ  
ロナウイルス禍の感染防止の観点から



	参加人数		
	戸山	新宿	合計
第1回	16	15	31
第2回	20	16	36
第3回	17	21	38
第4回	20	20	40
第5回	19	17	36
第6回	22	22	44
第7回	23	22	45
第8回	24	23	47
第9回	19	24	43
第10回	20	18	38
第11回	29	20	48

誠に残念ですが「開催中止」とさせていただきますことになりました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございません。来年の開催には是非ご参加をお願い致します。

(新幹事 大池 克幸(二四回))



## ブリッジ対抗戦

朝陽コントラクトブリッジ倶楽部は二〇一一年に発足し同年六月に戸山高校OB・OGと交流戦(チーム戦)を



行い現在まで対抗戦を続けています。対戦成績もほぼ拮抗しており、いつも熱戦を繰り広げています。しかし、残念ながら今回は参加者が少なくチーム戦ができず、ペア戦を行い、ペア別としては新宿ペアが優勝。なお、チーム戦としては順位を総合して僅差で戸山の優勝で、新宿の負けでした。

コントラクトブリッジに関心のある方は是非、左記の同窓会事務局までご連絡ください。

メール：jchouyou@estate.ocn.ne.jp

電話：03-5368-8366



## 囲碁対抗戦

二〇一九年の囲碁対抗戦は、会場となる高田馬場囲碁クラブが閉店となり、新宿側の参加者も減少に歯止めがかからず、残念ながら、今後の状況の変化があるまで中止(無期延期)ということになりました。

(事務局)

二木 順 先生（享年九七歳）

二〇一九年十二月三十一日ご逝去

教科・国語

在籍・昭和二十四年十月

（昭和三十八年三月

（十四年間）



追悼…二木 順 先生

高山（尾鍋）眞知子（十一回）

一九五六年の新宿高校で、私は入学早々、二木先生が担任でした。一番驚いたのは、「人生は下手な猿芝居だ」とおっしゃったこと。また、二年生のとき病気でもないのに一ヶ月程長期欠席して、先生に呼び出されて、日々の生活を報告したうえ、「でも、もう義務教育ではないし、時々登校して授業の進み具合は掴んでます」と申し上げたところ、「そんなんじゃない駄目だ、もっと徹底的に休まなくては」と言われたことです。

山好きで旧制三高の弊衣破帽の風格をお持ちの先生には、受持ちクラスの多くの生徒が強い印象を受けました。最近までの隔年同窓会には、先生のお

好きだった「琵琶湖周航の歌」を歌ってました。急変する当時の日本社会のムードの中で、国語・漢文をご担当されながら、本当は何をお考えでいらしたのか、ガキ乙女の私には推察することとは出来ませんでした。一年生の国語の宿題で泉鏡花の『高野聖』（無削除版？）や中島敦の『山月記』を読まされて、理解不能でしたが、後日読み返し、凄いレベルの思考を期待されていたのだということが、今では分かります。エリート未成年を大人扱い。

最近の同窓会でお目にかかったとき、「どこかで見た顔だ」などと仰るので、敢て名乗り出ませんでした。結局印象の薄い生徒だったのでしよう。でも、御転婆女生徒達の登山を引率して下さったり、生徒会立候補を応援して下さったりと、共学のスタートしたばかりの男子校で、居場所づくりのために、も暖かいご配慮を下さったことは、忘れられません。

甥御様から戴いたご経歴情報の一端をご紹介します。一九二二年荻窪生まれ、四三年旧制三高を繰上げ卒業、同年十二月横須賀第二海兵団二等兵、予

備学生、少尉、中尉で、四五年九月除隊。東京大学入学・卒業、新宿高校就職。六三年広尾高校、ご結婚。小平高校を経て、大島で教頭・校長を経てご退職です。

さて、先生はバンカラ学生風の手拭を愛用され、広げてお持ちの写真もあります。「天壤無窮」と染められ、オリジナルは新宿高校の同窓会室に飾られており、日露海戦の東郷平八郎の揮毫です。先生！本当は、東郷の揮毫としてではなく、『日本書紀』の漢文として、「天壤無窮」をお好きだったのでしよう？ それで大島に赴任されたのでしよう？ 仮名『万葉集』の「令和」もご覧になられて、とても嬉しいです。日本人の「下手な猿芝居」は少しは上手くなったと言えるのでしようか？

最近の先生は奥様と共に都内のシニア施設にお住まいで、甥御様によれば、お酒は召し上がるものの食欲の衰えていく、穏やかな九八歳目前の日々だったとのこと。

心からのご冥福をお祈りいたします。

合掌

（薄紅色の胡蝶蘭をお供えいたしました。）

本間 孝先生 (新宿高等学校教頭)

ご逝去…二〇一九年十二月十五日

享年…八五歳

在籍…平成四年四月～平成七年四月

成清 良孝先生

ご逝去…二〇一九年二月十日

教科…国語

在職…昭和五年四月～平成三年三月



### FACEBOOK をご活用ください

朝陽同窓会 FACEBOOK (FB) の友達になっていただければ、同期会や会合の案内等をFBにご自由に投稿頂ける他、コメント欄を通じて連絡を取り合うこともできます。

(1) FBの設定は以下の通りとなっております。

- ・タイムラインを読める人： 友達 (ただし一部記事は一般公開しています)
- ・タイムラインに書き込める人： 友達
- ・友達に書き込まれたタイムラインの共有範囲： 友達の友達

(2) 同窓会員のコミュニケーション活性化のためFBの活用をお願いします。同期会案内やクラス会のお知らせなどの書き込み歓迎です。

(3) FBに送られた友達リクエストは事務局にて同窓会名簿と照合のうえ承認しております。

(4) URL <https://www.facebook.com/jchouyou>

### 東京都立新宿高等学校朝陽同窓会 同窓会会報 朝陽 69号

発行日：2020年11月1日

発行人：東京都新宿区内藤町11番4  
東京都立新宿高校内  
朝陽同窓会長 田中 俊郎

表紙デザイン：草川 衛 (18回)

非売品

本文(写真、文章)の無断転用転載はお断りいたします

### 編集後記

全国を襲ったコロナ禍により、同窓会活動も総会の延期や各種行事の中止・延期と大きな影響を受けました。朝陽紙面も、予定していた記事を集めきれず、記事を楽しみにしていた読者の方々には申し訳ない次第となりました。編集部は力不足を心よりお詫び申し上げます。

記事内容の充実のため、ご寄稿の希望などぜひとも事務局へお寄せくださいますようお願い申し上げます。

(編集委員長 一八回 林 慶治郎)



オープンスペースでの会話も弾む



教室には明るい日差しが差し込む



安心して学び過ごせる



山間部の豊かな自然の中に誕生した校舎

## コスタリカ共和国 安心できる学びの場を そして 明るい未来を

ゼンショーは、南米コスタリカで2012年からフェアトレードコーヒーの取引を始め、コーヒー生産を支えるための人材育成などに協力しています。

2018年末、社会開発資金\*を活用し作成された設計図のもと、「学習棟」や「技術科教育棟」など5つの校舎が山間部にある中高一貫校に建設されました。

大地震(2012年・M7.6)で被災した校舎を再建するために始まったこの取り組みは現地で話題になり、コスタリカ政府の支援と米州開発銀行の投資を得て、鉄筋コンクリート製の耐震施設を生徒に届けることができました。

現在では、中高校生約70名が明るい教室やオープンスペースなどで安心して学び過ごせる環境を楽しんでいます。

\*社会開発資金：原料買取価格の中で現地の人々が必要とする様々な生活改善活動に充てられる金額のこと。

### 世界に広がる“ゼンショーフェアトレード”

世界18か国でコーヒー、紅茶のフェアトレードを行っています。



### ゼンショーフェアトレード商品のお買い求めはこちら



ゼンショーネットストア 検索

株式会社 ゼンショーホールディングス

代表取締役社長 小川 賢太郎 (19回卒)

〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル Tel: 03-6833-1600

ZENSHO

## 2020年度朝陽同窓会（紙上開催）参加のお願い

新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言が解除された6月1日から、母校は授業を再開し、校内に活気も戻ってきつつあります。しかし学内での感染防止の観点から、学外者が多数校内に入る行事（同窓会総会やホームカミングデー、あるいは代表幹事会など）は行えない状況が続いています。また、会員の皆様におかれましても、多人数が集まっての会合は、ウイルス感染のご心配もおりかと存じます。

例年5月に開催しておりました同窓会総会も、学校が閉鎖されたことなどにより、延期とご案内しておりましたが、上記のために、お集まりいただいての開催は不可能となりました。

しかしながら、総会は決算、予算や年度方針を決める大事な場ですので、朝陽紙上にて予算・年度方針などの議案をご紹介し、それぞれの議案につき、皆様から郵送、ファクスあるいはメールなどで、ご意見をいただくという「紙上開催」といたします。

まことに異例なことではございますが、状況ご理解のうえ、各議案への賛否意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

紙上開催で皆様にお諮りする議案は紙面66～73ページに記載してございます。65ページには、郵送、ファクス、メールそれぞれによる賛否ご意見の表明方法をご説明しております。

賛否ご意見は「朝陽」同封の賛否表明用紙にご記入の上、郵送またはファクスにて、同窓会事務局までお送りください。メールの場合は、同封の用紙は使わずHPの「事務局からのお知らせ」欄の「2020年度朝陽同窓会総会のご案内」をクリックして、表示されるご案内に沿って賛否の意思表示をしてください。

賛否のご意見は12月15日（木）までに朝陽同窓会事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。

百周年ロゴタイプはホームページからダウンロードできます



朝陽同窓会フェイスブック・ホームページをご活用ください

<https://facebook.com/jchouyou>

<http://www.nchoyou.net>

朝陽同窓会事務局 03-5368-8866